

社会実験の取組みに関する意向や影響等

社会実験の取組みに関する意向や影響等

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

- ・WEBアンケート&聞き取り調査における回答数(1,239件)や市外居住者からの回答数(345件)を見ると、**社会実験の取組みに対する関心を呼び起こすことができた。**

→仙台の顔である仙台駅前でのイベントの開催であったこと、多数メディアによる露出があったこと、メディアに限らずSNSによる情報発信の結果、多くの方の来訪およびアンケート回答につながったと考えられる。

- ・「若い世代」や「市外居住者」、市内居住者でも比較的「居住歴の新しい方」を中心に**7割を超える方から「良い取組みだと思う」との意見**が寄せられた。

※若い世代:10代~30代

→これまで仙台駅周辺にはなかった「子どもの遊び場」や「交流場所」、「まちなかの憩いの場」が創出された結果、来訪者に「楽しさ」や「嬉しさ」、「おどろき」を与えた。

→駅前を人中心の空間にすることで、街(仙台の顔として)の魅力向上やエリアに訪れる楽しみ(集客性)、快適性の増進が期待されていることが伺える。

→将来的な利活用空間の促進に向けたターゲット層として、若い世代(学生・親子連れ、会社員等)や市外からの来訪者が想定される。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

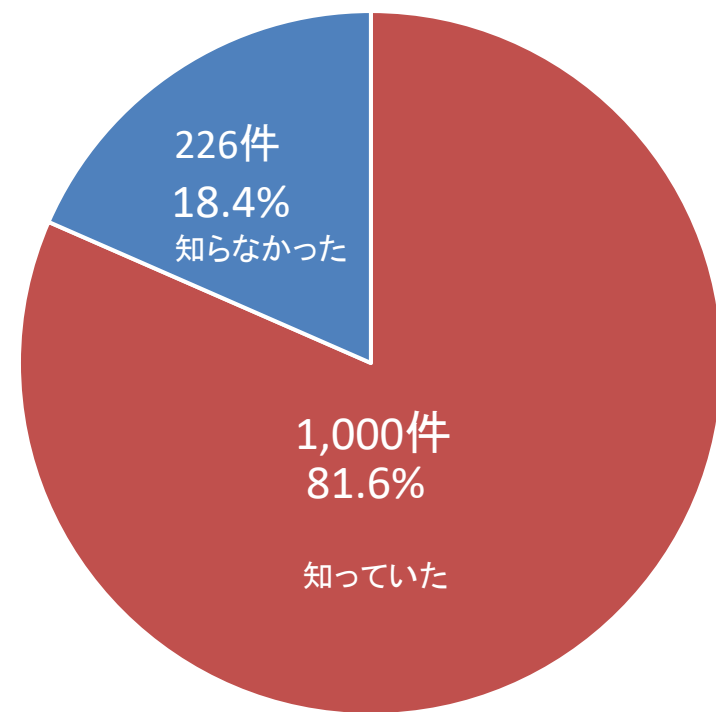
① 社会実験の取組み意義

目指す姿:〈通りの認知度〉青葉通の認知度を上げる

検証①社会実験の認知度を把握

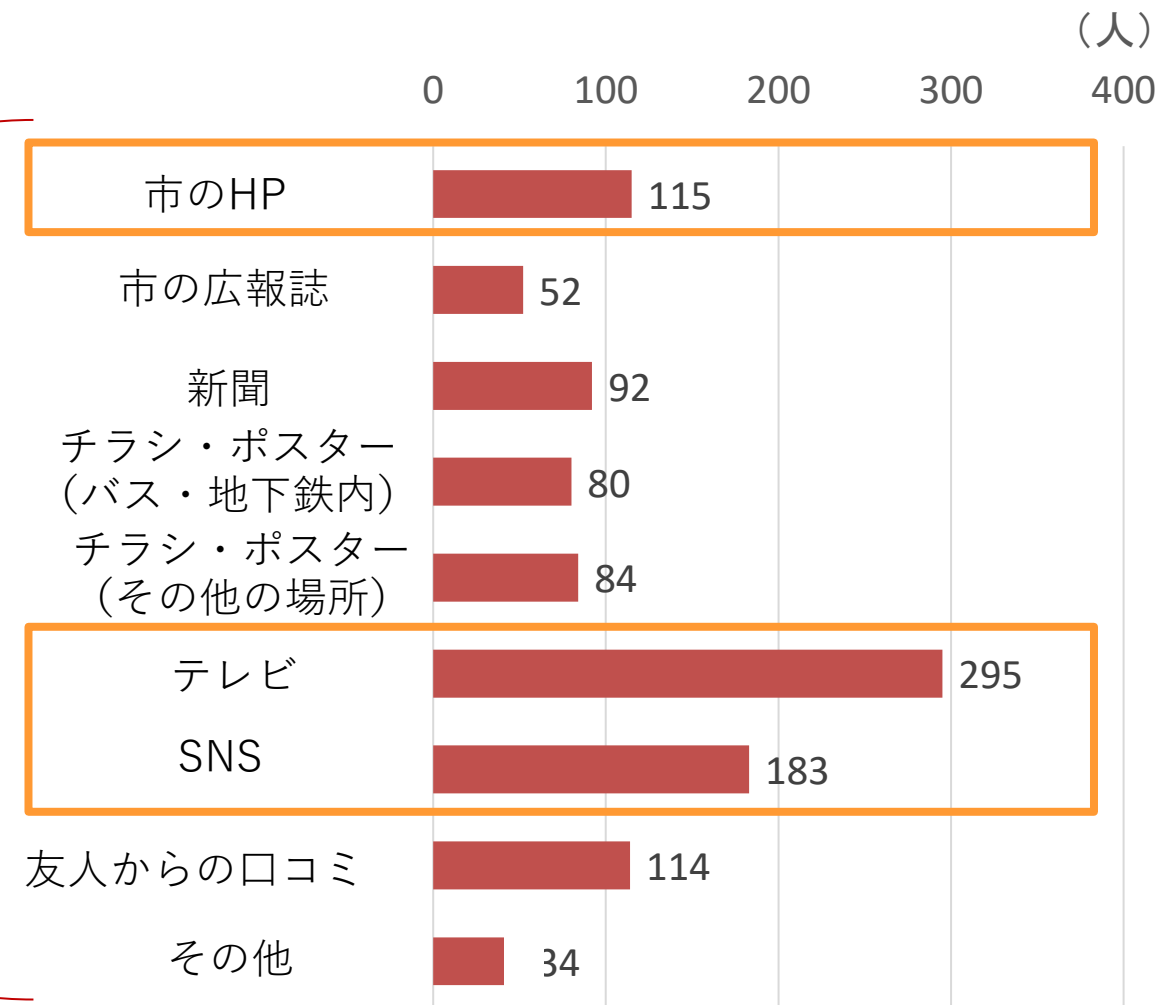
■社会実験を知っていたか／何で社会実験を知ったか

N = 1,226 (全回答者)



■ 知っていた ■ 知らなかった

N = 1,000 (社会実験を知っていた方)



※単数回答の設問 (紙アンケートで50件程度複数回答あり)

■メディア掲載

新聞記事	12件
TV放映	17件
ラジオ放送	1件
WEB記事	44件
ライブ配信	3件

・本社会実験は回答者のうち、**約8割**と高い割合で青葉通での社会実験を認知しており、**社会実験に関する関心の高さ**が伺える。また最も認知されたツールとしては、「テレビ」が最も高く、その他SNSや市のHPが挙げられる。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

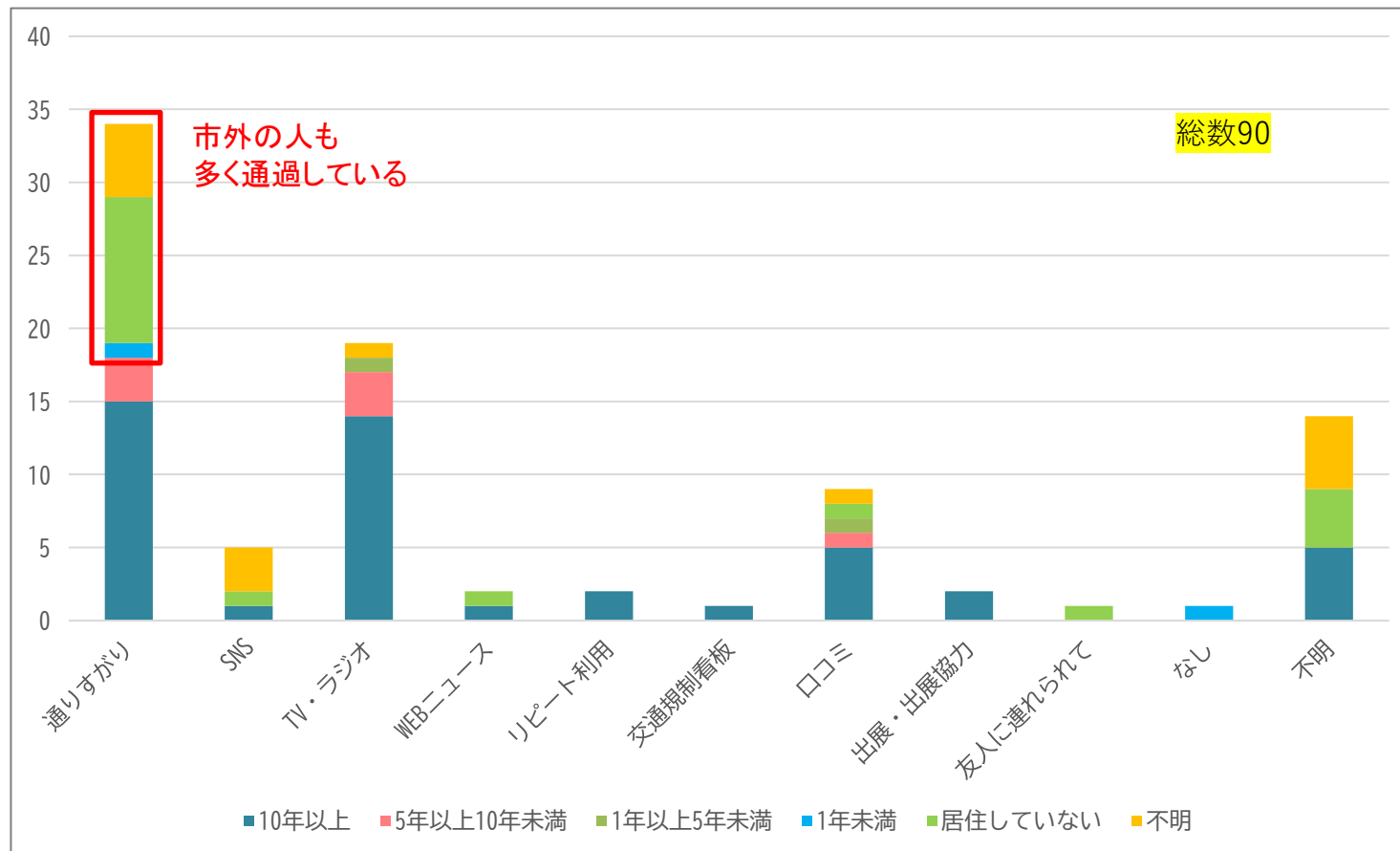
目指す姿:〈通りの認知度〉青葉通の認知度を上げる

検証①社会実験の認知度を把握

■利用者インタビュー調査 回答者の基本属性

今日はどのような理由で本エリアにいらっしゃいましたか

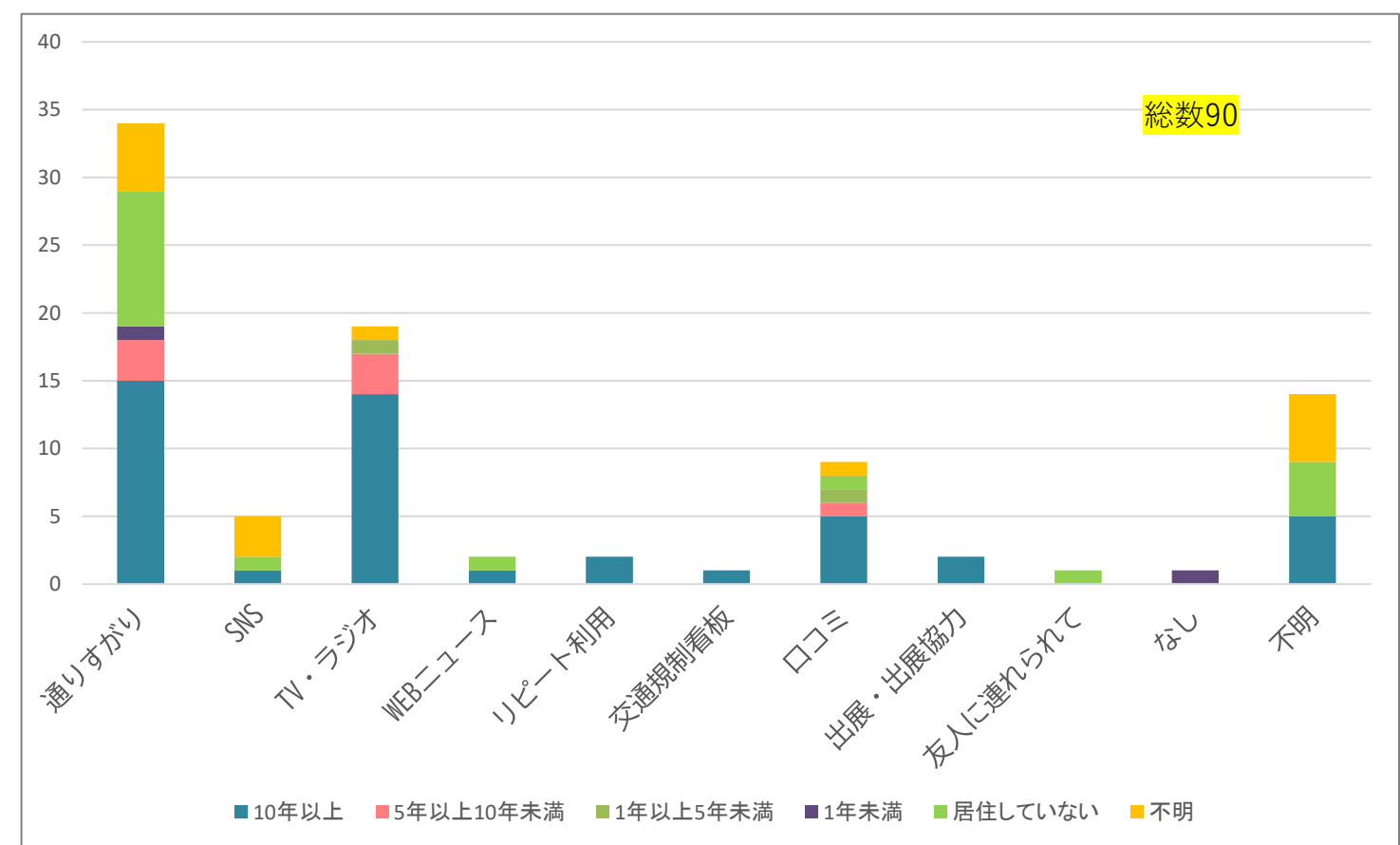
【居住地】 × 【きっかけ別】



・ほとんどのきっかけで「仙台市内」に居住している人が多いことがわかる。「仙台市内」に居住している人は、「通りすがり」について、「TV・ラジオ」がきっかけで訪れた人が多くなっている。仙台市内で放送されている「TV・ラジオ」で、効果的に宣伝できたのではないかと考えられる。

今日はどのような理由で本エリアにいらっしゃいましたか

【居住歴】 × 【きっかけ別】



・最も多い「通りすがり」の中でも、10年以上仙台に居住している人が最も多く、10年以上仙台に居住している人は、その次に「TV・ラジオ」を契機とした来場が多くなっている。5年以上10年未満仙台に居住している人も、「通りすがり」と「TV・ラジオ」が多くなっている。

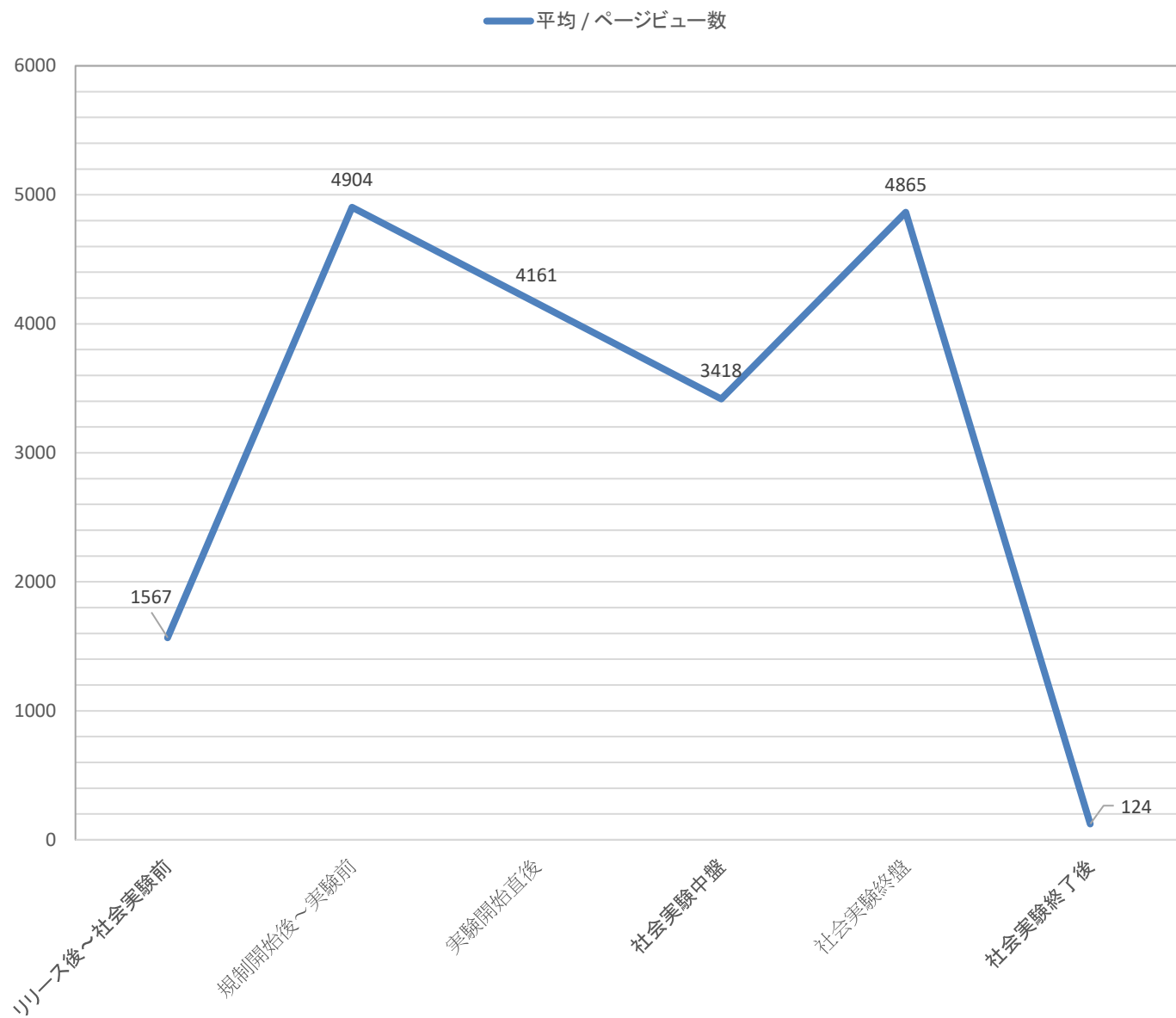
社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

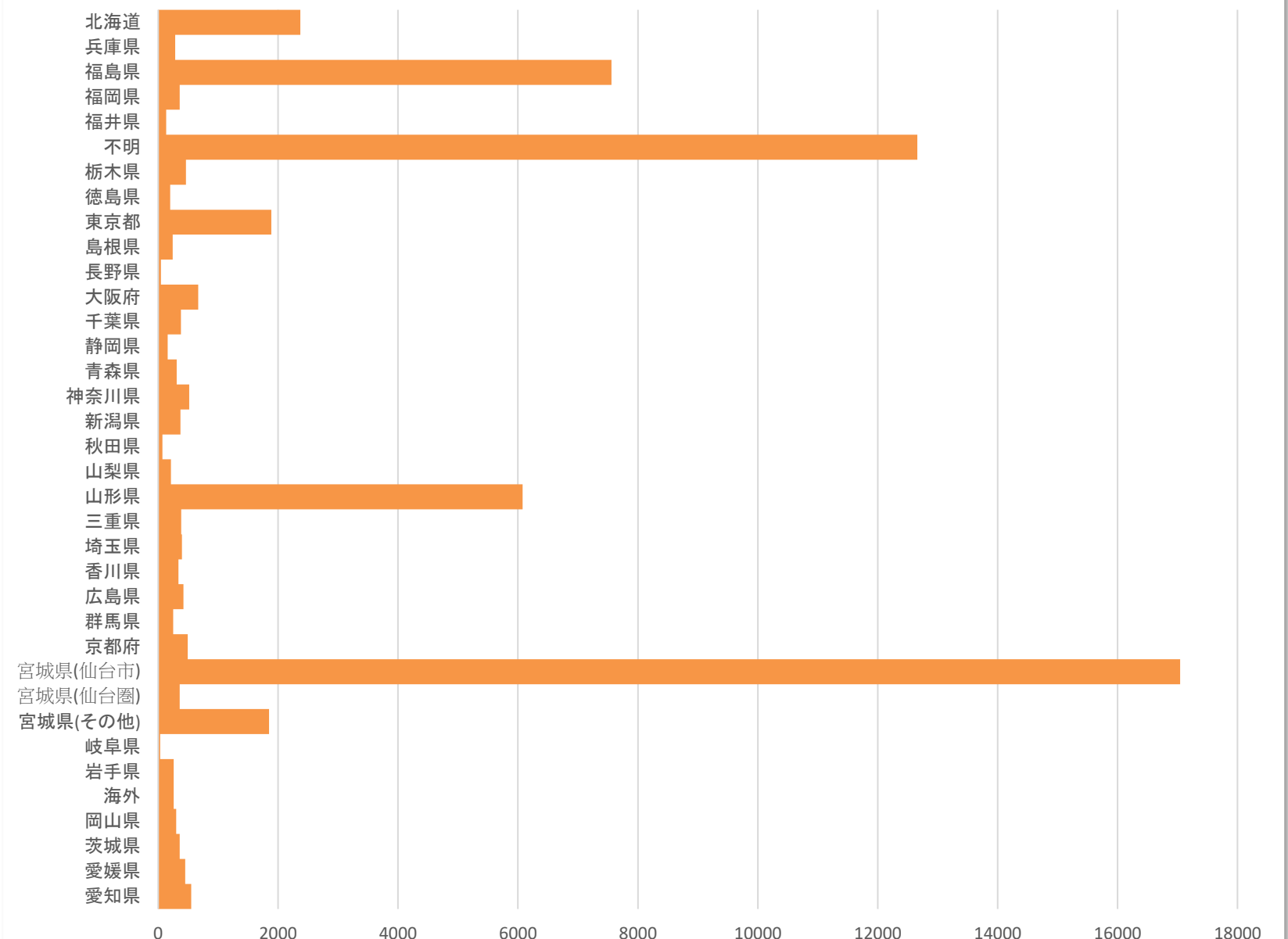
WEB・SNS上の影響(公式サイト等の集計)

・公式サイトでは、交通規制情報の他にイベントの告知宣伝・レポートを情報発信した。

公式サイト推移



エリア別新規ユーザー数



・公式サイトのPV平均は8月31日～10月10日までの期間中で1日2,944件。直帰率(1ページのみ閲覧してサイトを離れる率)の平均は78.66%。

・PVは社会実験開始直後から中盤にかけて下がっていき、終了に向けてまた上がっている。エリア別の新規ユーザー数を見ると、最多の仙台市に次いで福島県・山形県が多く、県外からも多くのアクセスがあった。

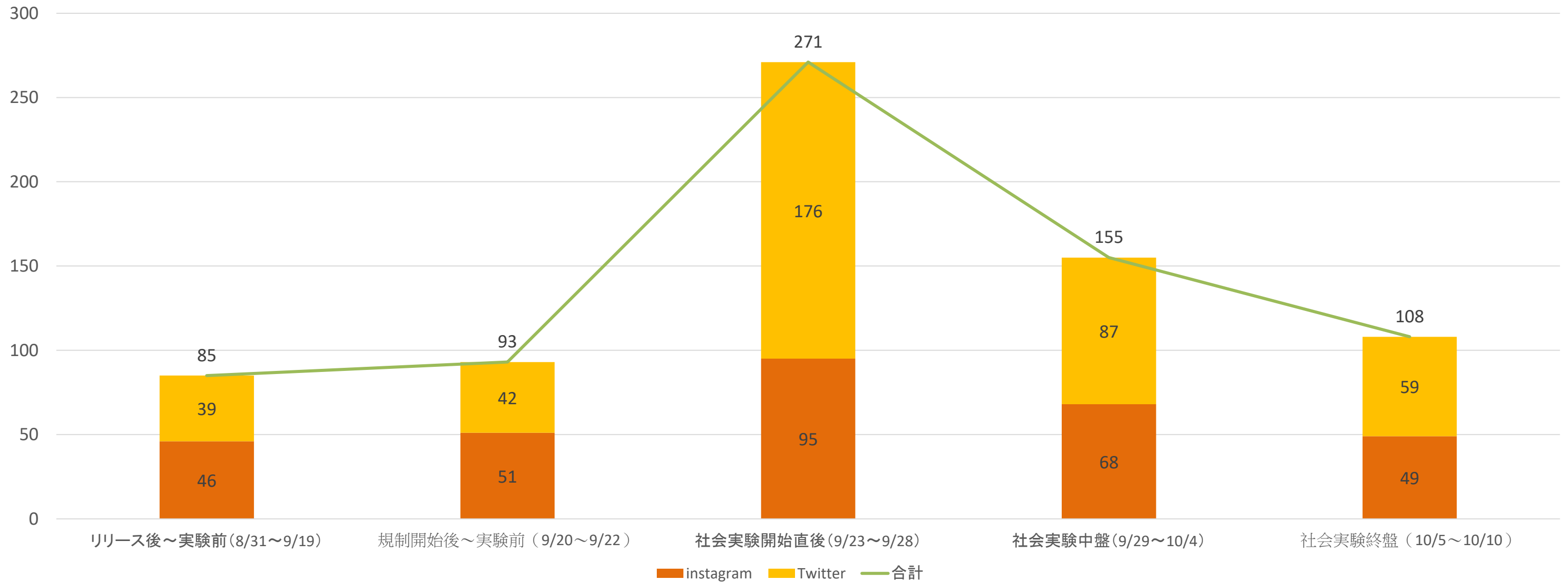
社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

WEB・SNS上の影響(公式ハッシュタグ集計)

・公式サイトのほか、SNS上では3つの公式ハッシュタグを設けた。

■「#仙台駅前らしさ」「#movemove」「#machito sendai」による周知宣伝を行った。



・公式ハッシュタグを利用したSNS上の投稿はTwitterで8月31日～10月10日の期間中の総数712件、instagramで総数309件(同投稿内の複数ハッシュタグ利用は1としてカウント)。

・期間による移り変わりをみると社会実験開始直後の投稿が最も多く、主に告知宣伝のために利用され、継続的利用にはつながらなかったことが分かる。

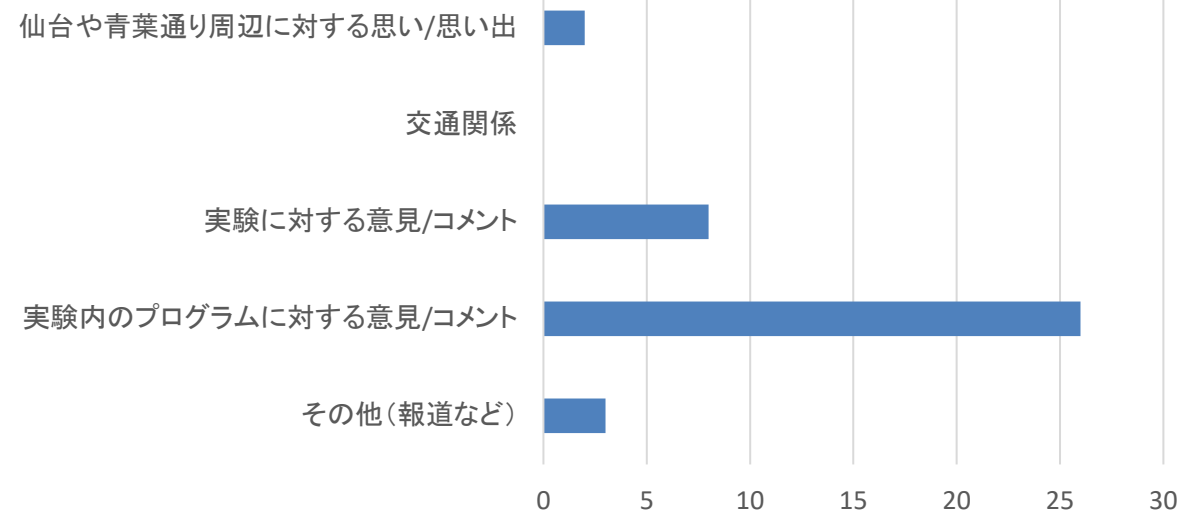
社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

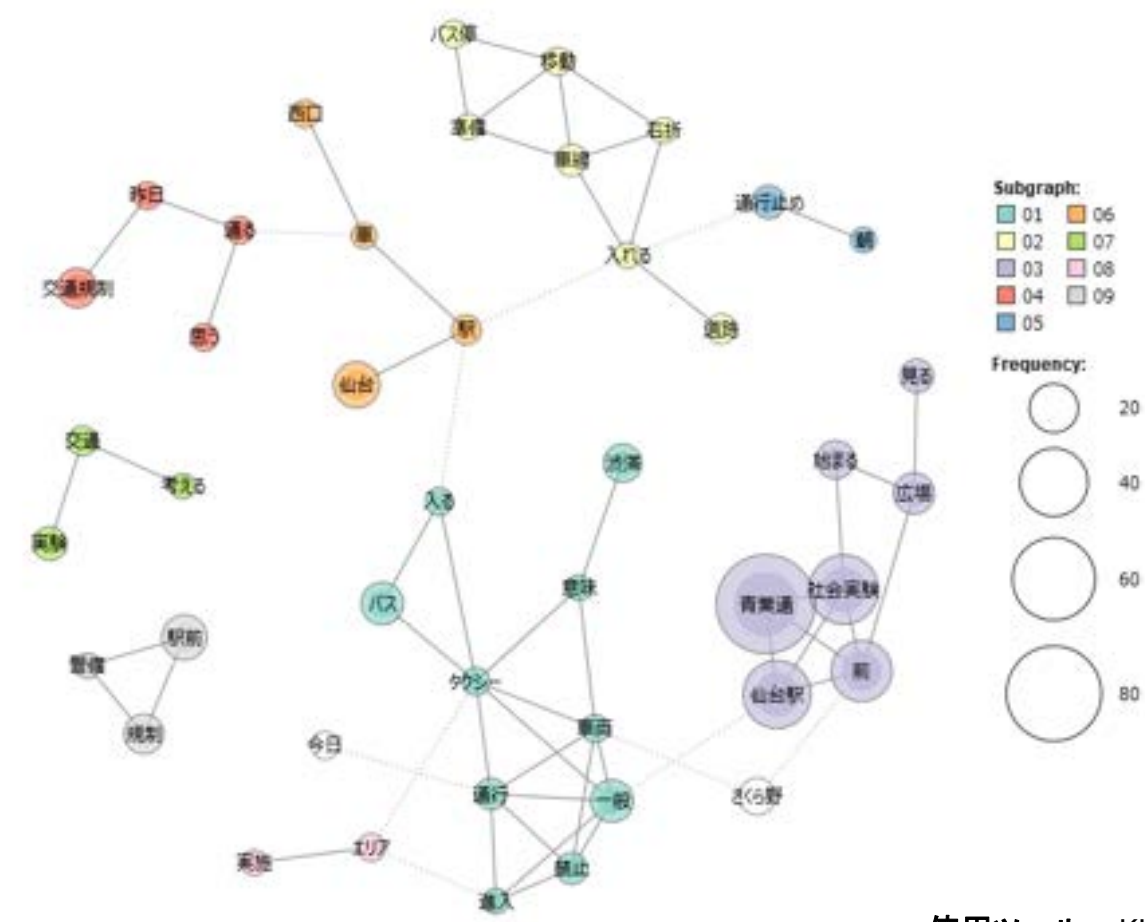
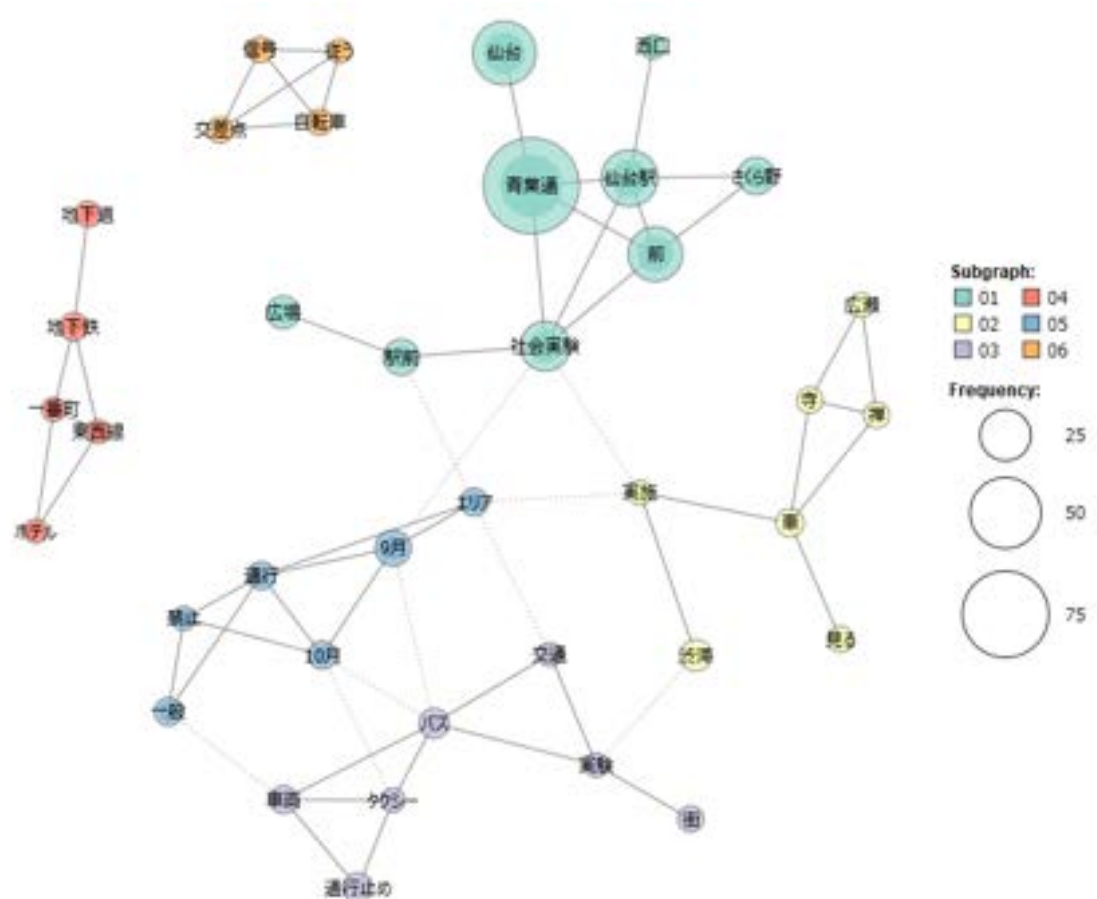
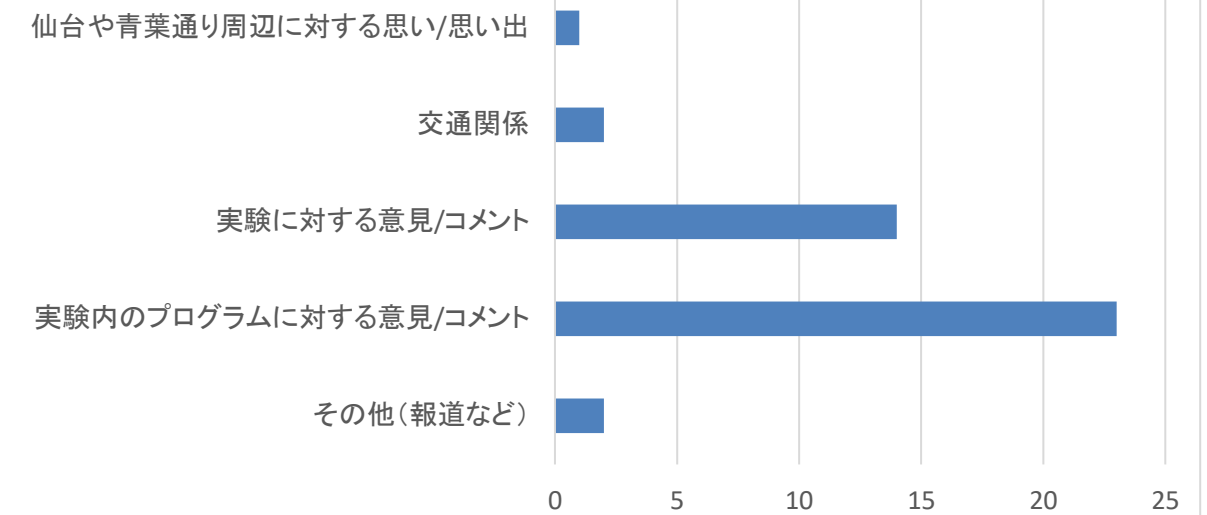
WEB・SNS上の影響(公式ハッシュタグ集計)

■ 公式ハッシュタグを利用した投稿の内容を時系列で見た変化 ※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

リリース後～規制開始前 (8/31～9/19)



規制開始後～実験前 (9/20～9/22)



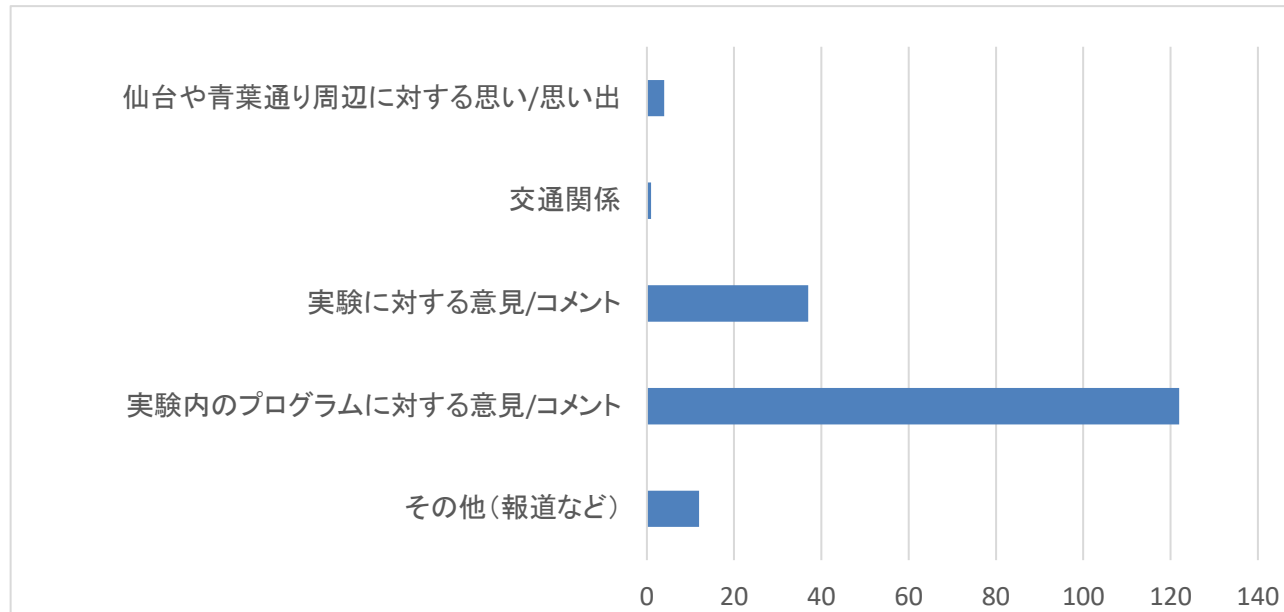
社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

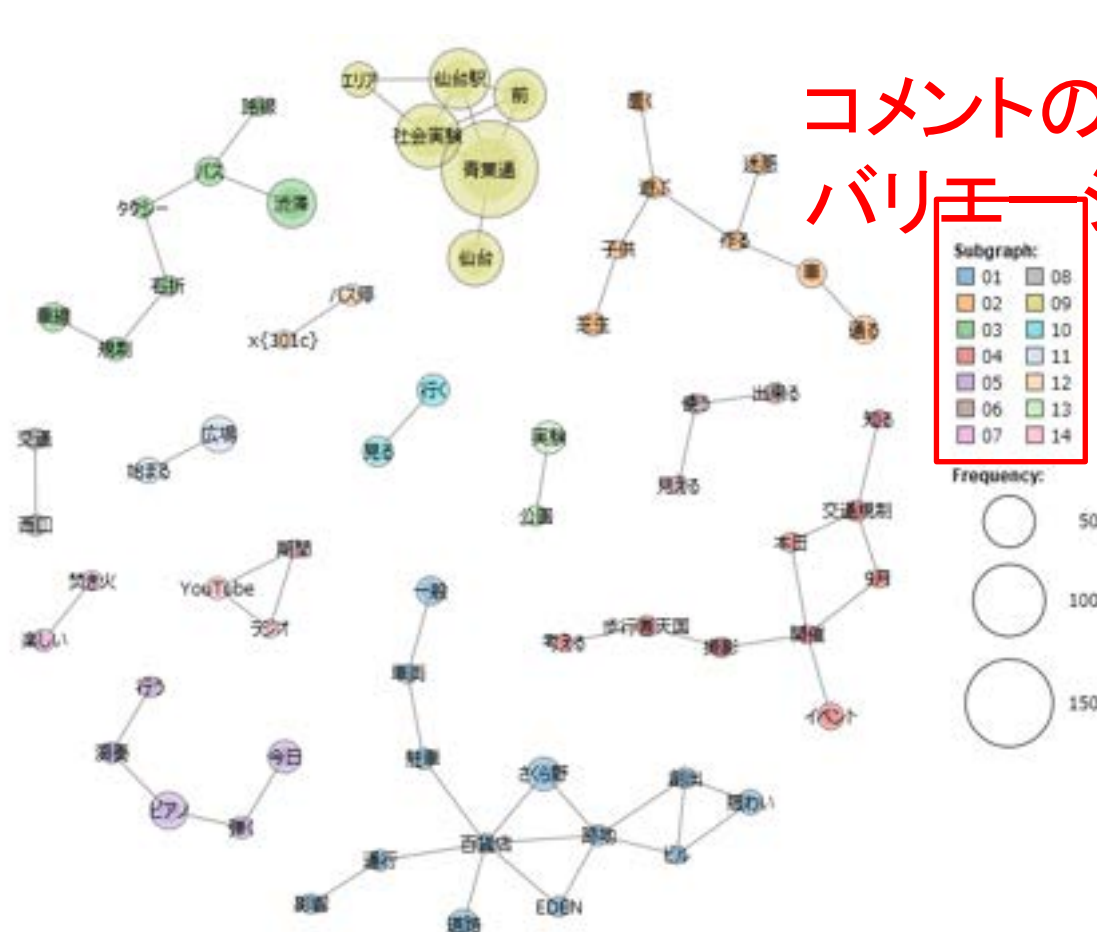
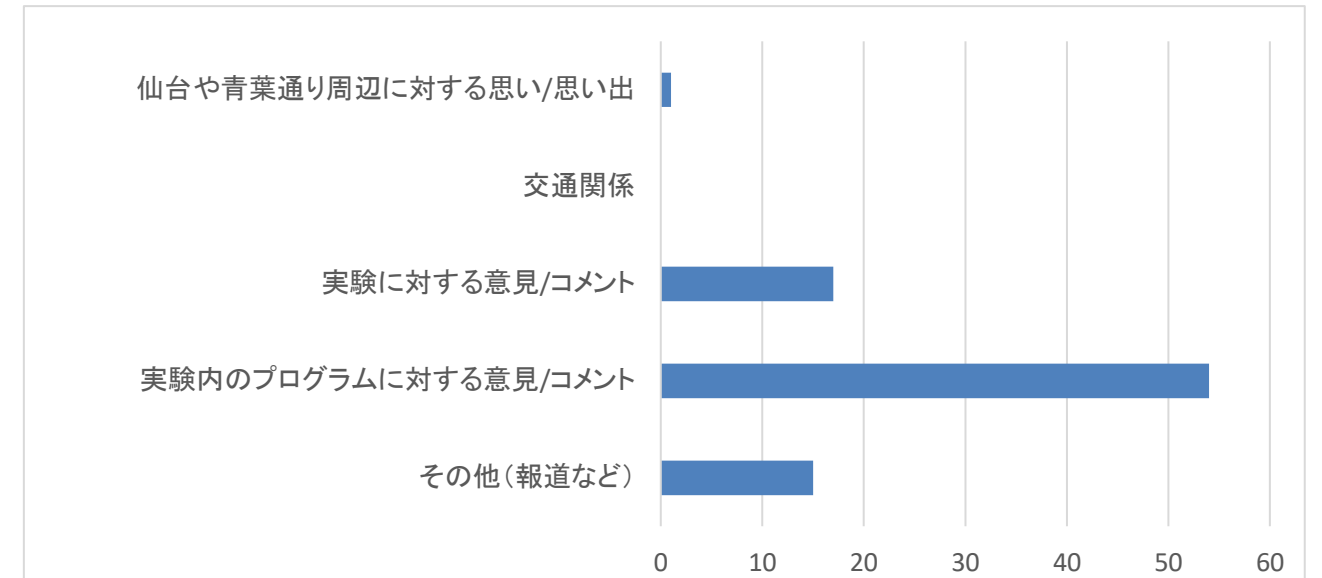
WEB・SNS上の影響(公式ハッシュタグ集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿の内容を時系列で見た変化 ※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

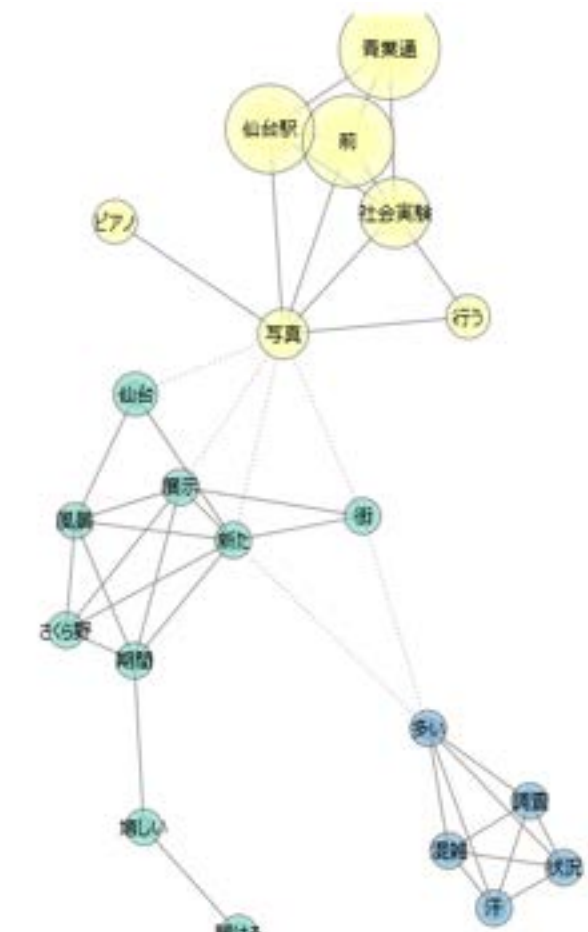
社会実験開始直後 (9/23~9/28)



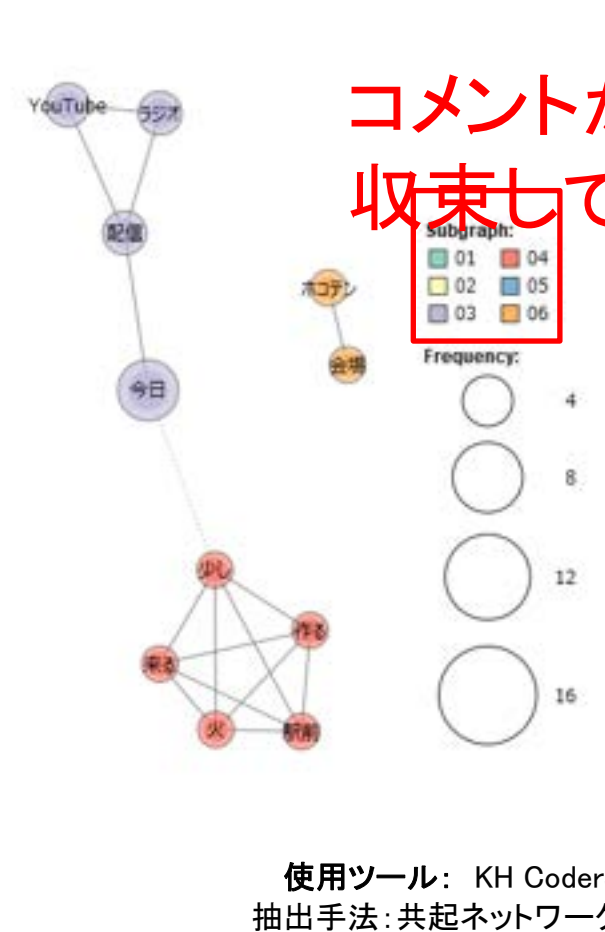
社会実験中盤 (9/29~10/4)



コメントのバリエーションが豊かな



コメントが収束している

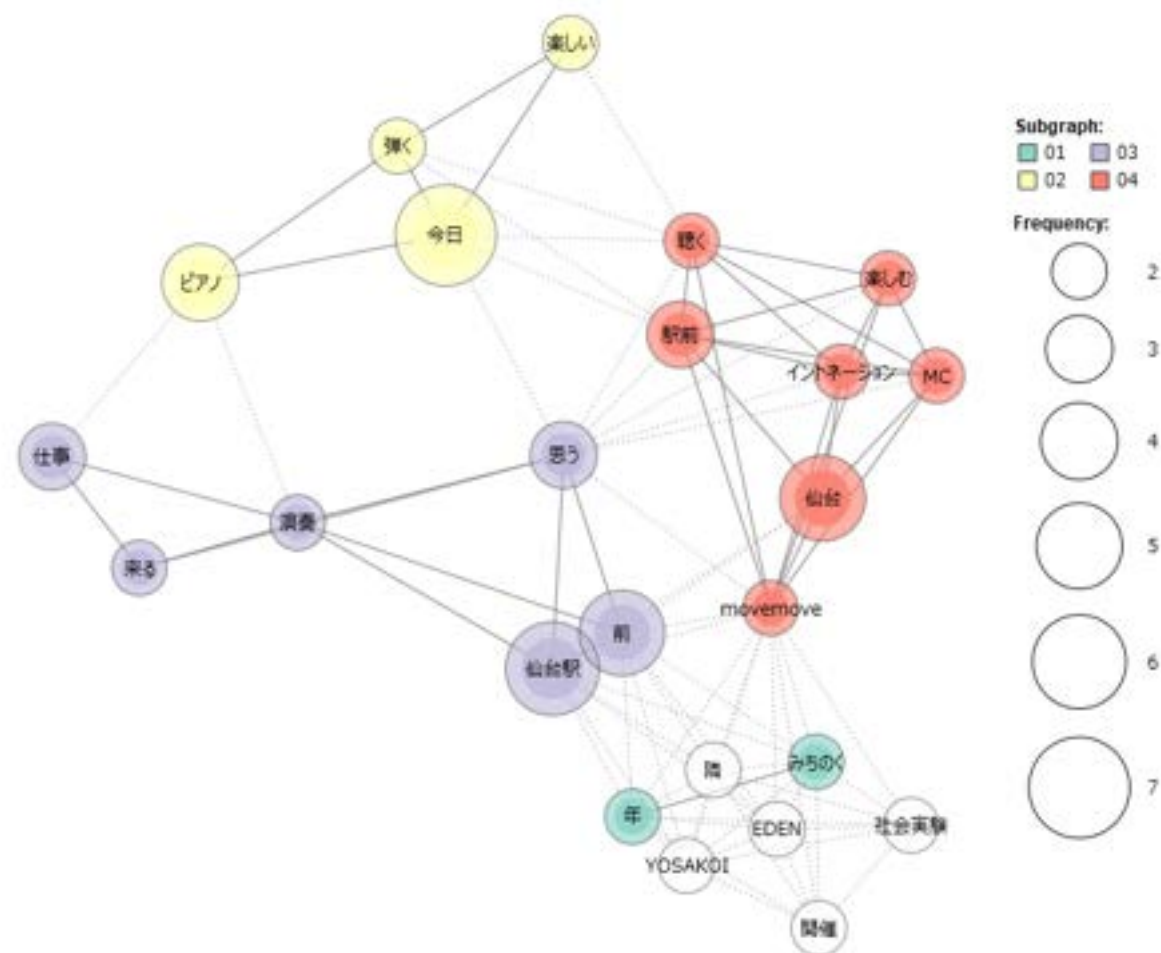
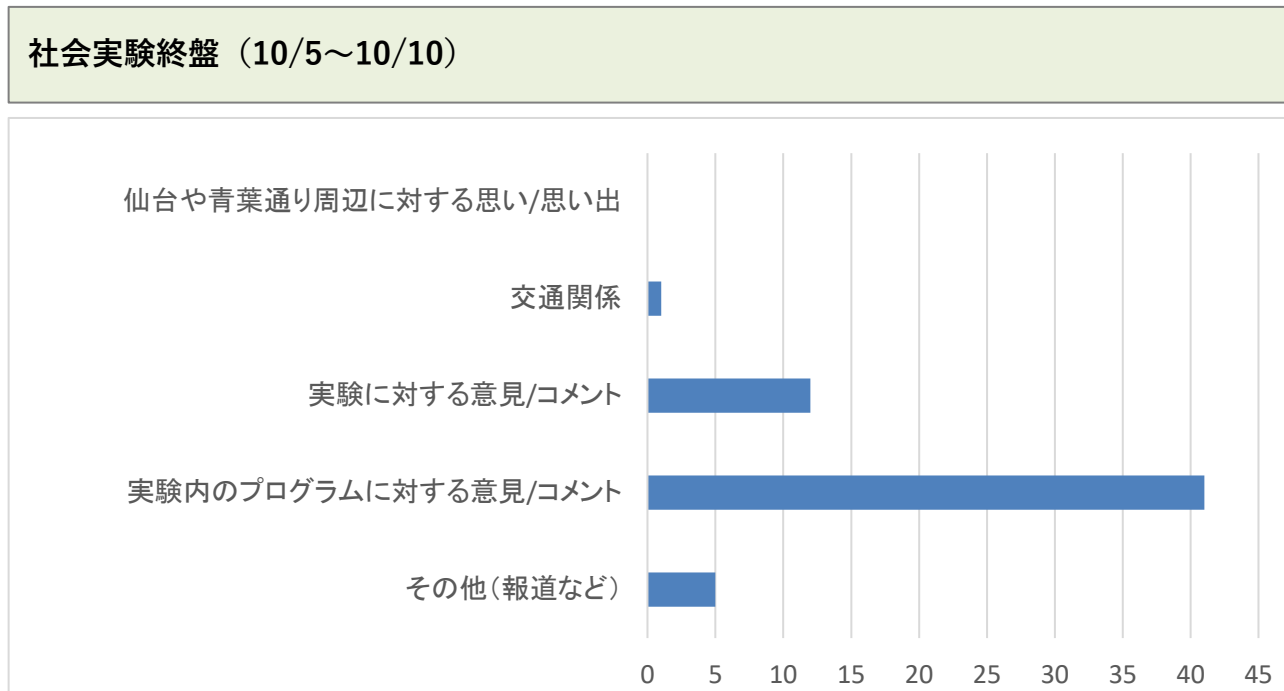


社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

WEB・SNS上の影響(公式ハッシュタグ集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿の内容を時系列で見た変化 ※instagramは写真のみの投稿が多いため除外



使用ツール: KH Coder3
抽出手法: 共起ネットワーク

社会実験の取組みに関する意向や影響等

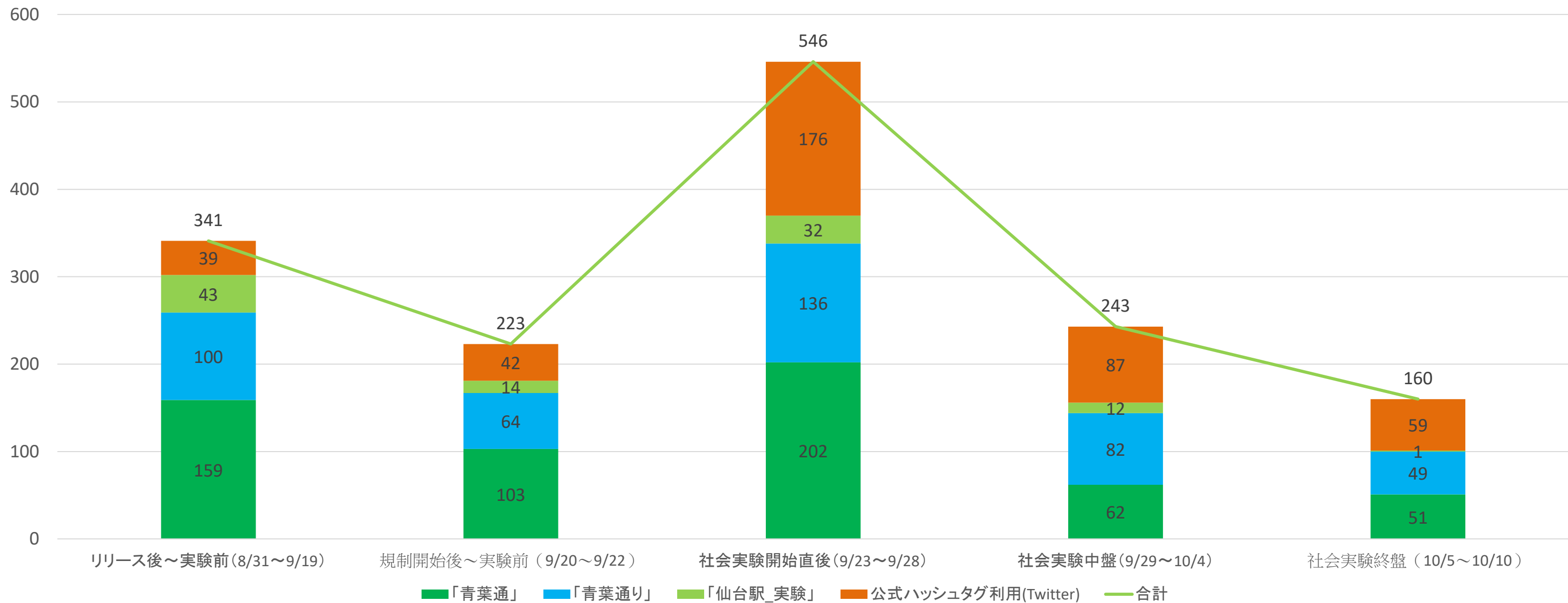
① 社会実験の取組み意義

WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

・公式ハッシュタグ以外での投稿も多く見られたため、下記も含め影響を分析した。

■「青葉通」「青葉通り」「仙台駅 実験」をTwitter検索し、公式タグを利用した投稿と合わせ分析。

※本社会実験に関連しない投稿、およびinstagramは除外(instagramにキーワードを指定した抽出機能がないため)



- ・8月31日～10月10日の期間中、関連する投稿は総数1,513件。
- ・うち、公式ハッシュタグを利用せずTwitter上で言及した投稿は1,110件。
- ・特にコメントをせずニュース記事のリツイートのみ・チェックインのみ行った投稿は123件あった。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

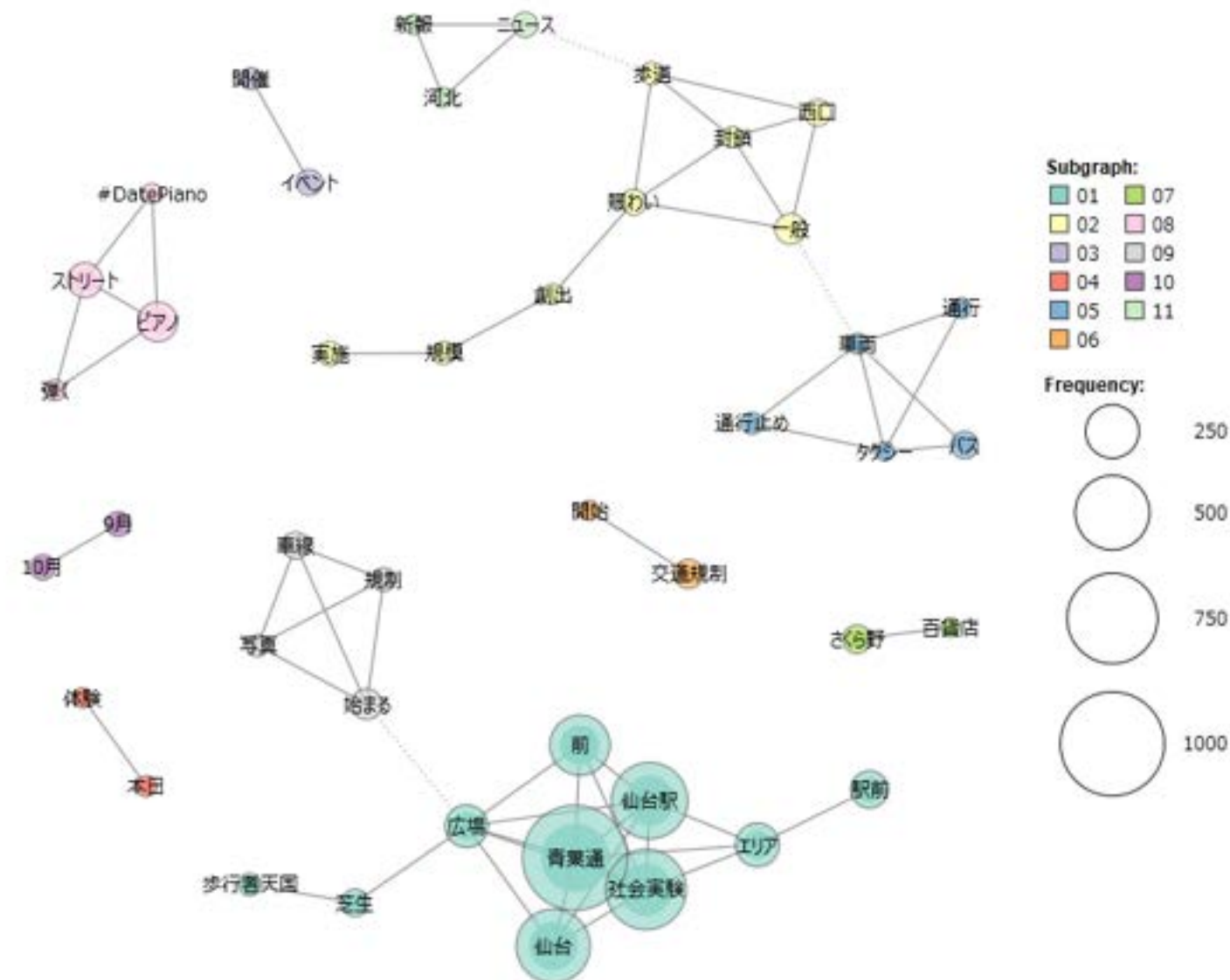
WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(8月31日～10月10日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

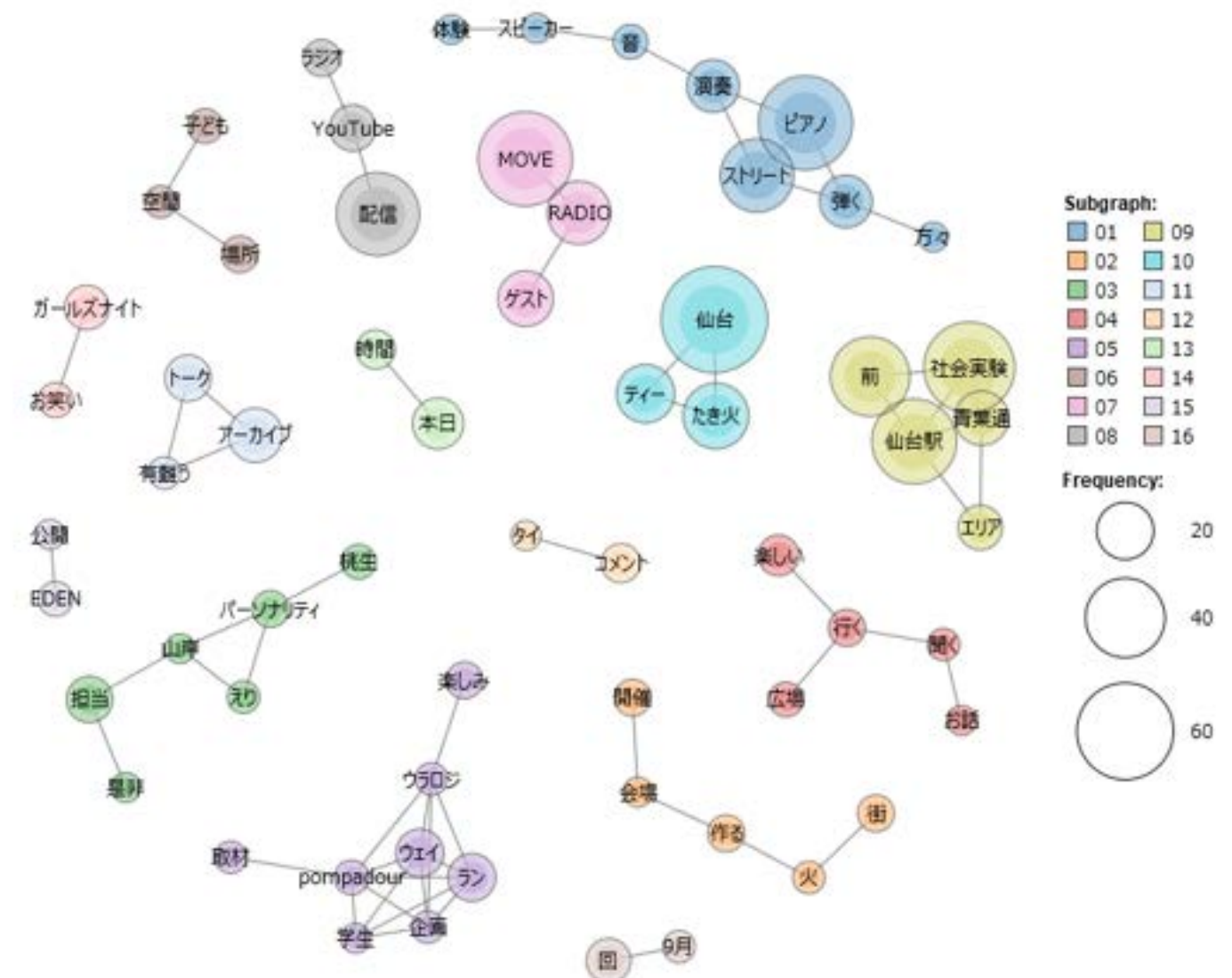
公式ハッシュタグを利用しない投稿

「交通規制」・「道路封鎖」・「さくら野百貨店」など、ネガティブな言葉が多く表れる。一方で、ピアノや芝生の反響は大きかったことが伺われる。



公式ハッシュタグを利用した投稿

発言のバリエーションが豊か。運営者の告知なども含まれるためと考えられる。「楽しい」などポジティブな言葉が見られる。交通規制などに関する言葉は見られない。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

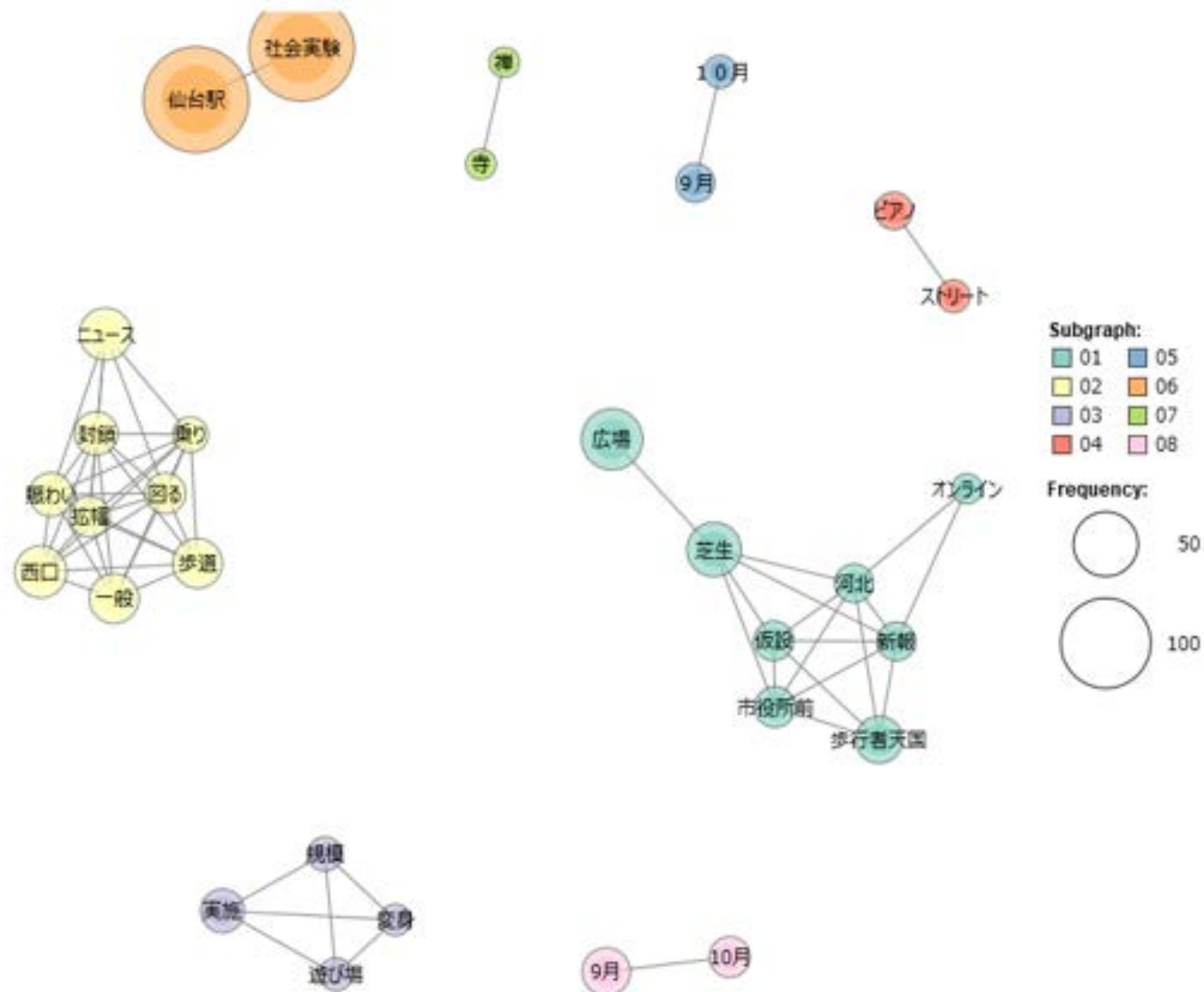
WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

■ 公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(8月31日～9月19日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

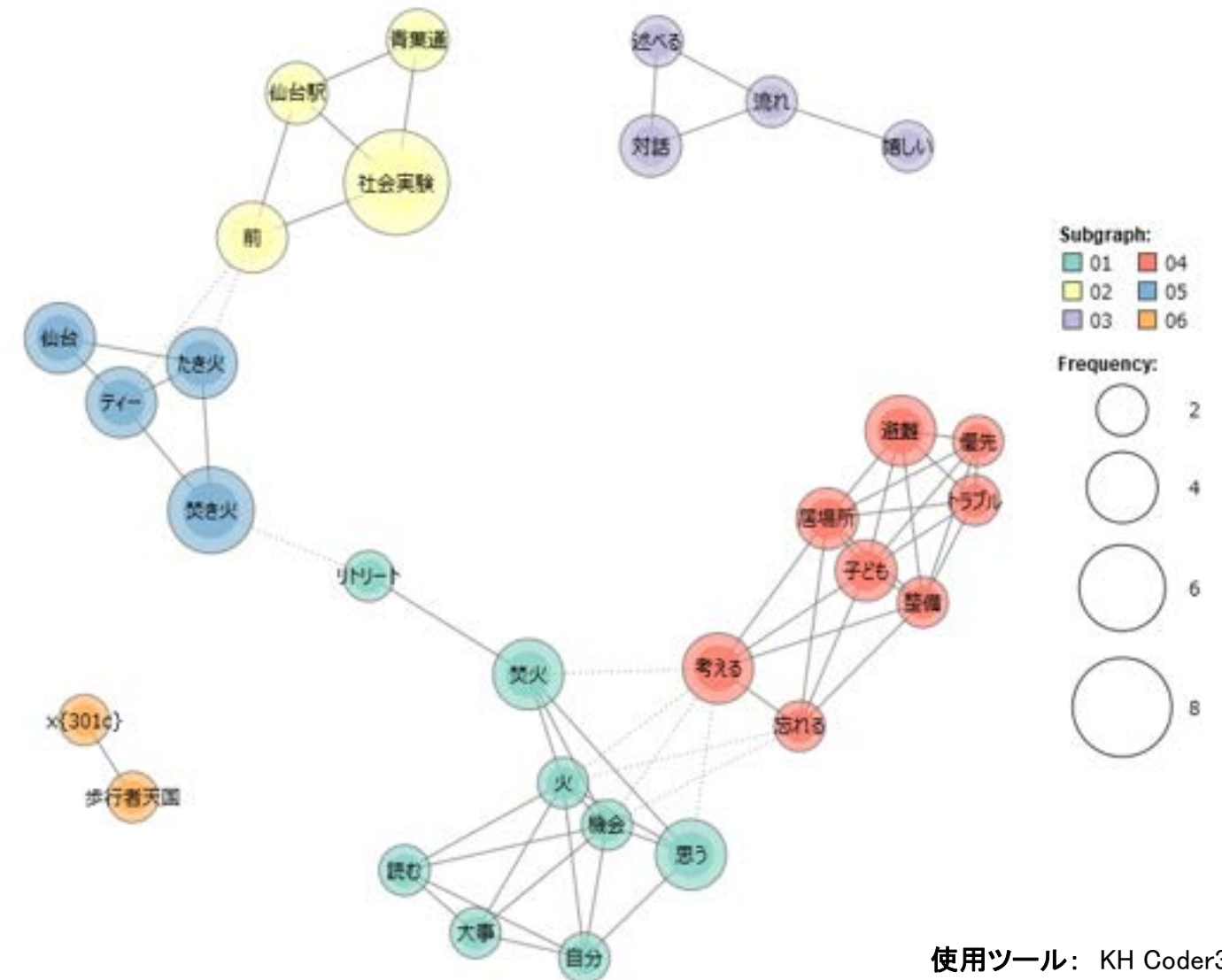
公式ハッシュタグを利用しない投稿

報道記事のリツイートや、報道記事を読んだコメントが多数投稿されている。



公式ハッシュタグを利用した投稿

コンテンツに関する告知が多数。「嬉しい」などポジティブな言葉が見られる。



使用ツール: KH Coder3
抽出手法: 共起ネットワーク

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

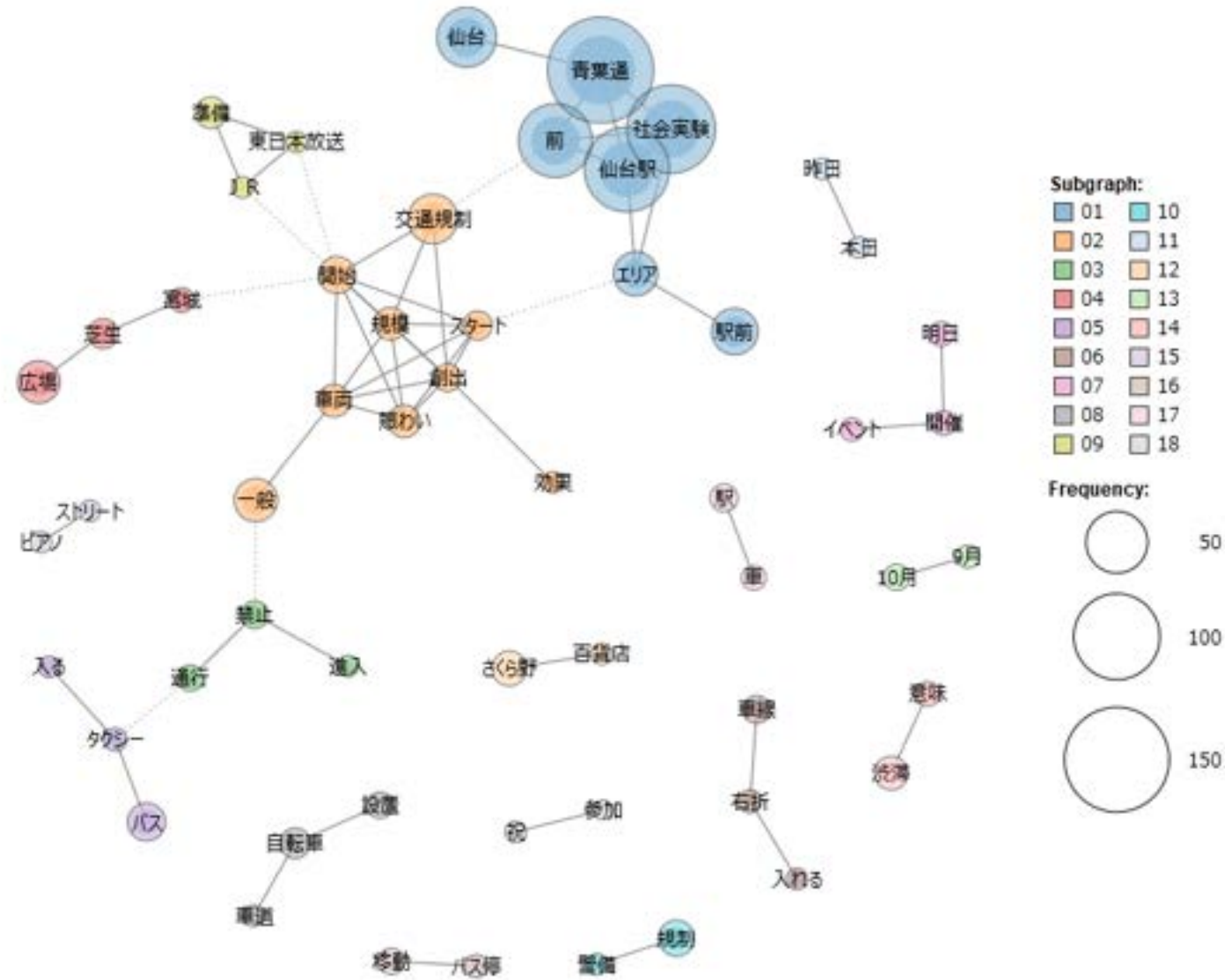
WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(9月20日～9月22日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

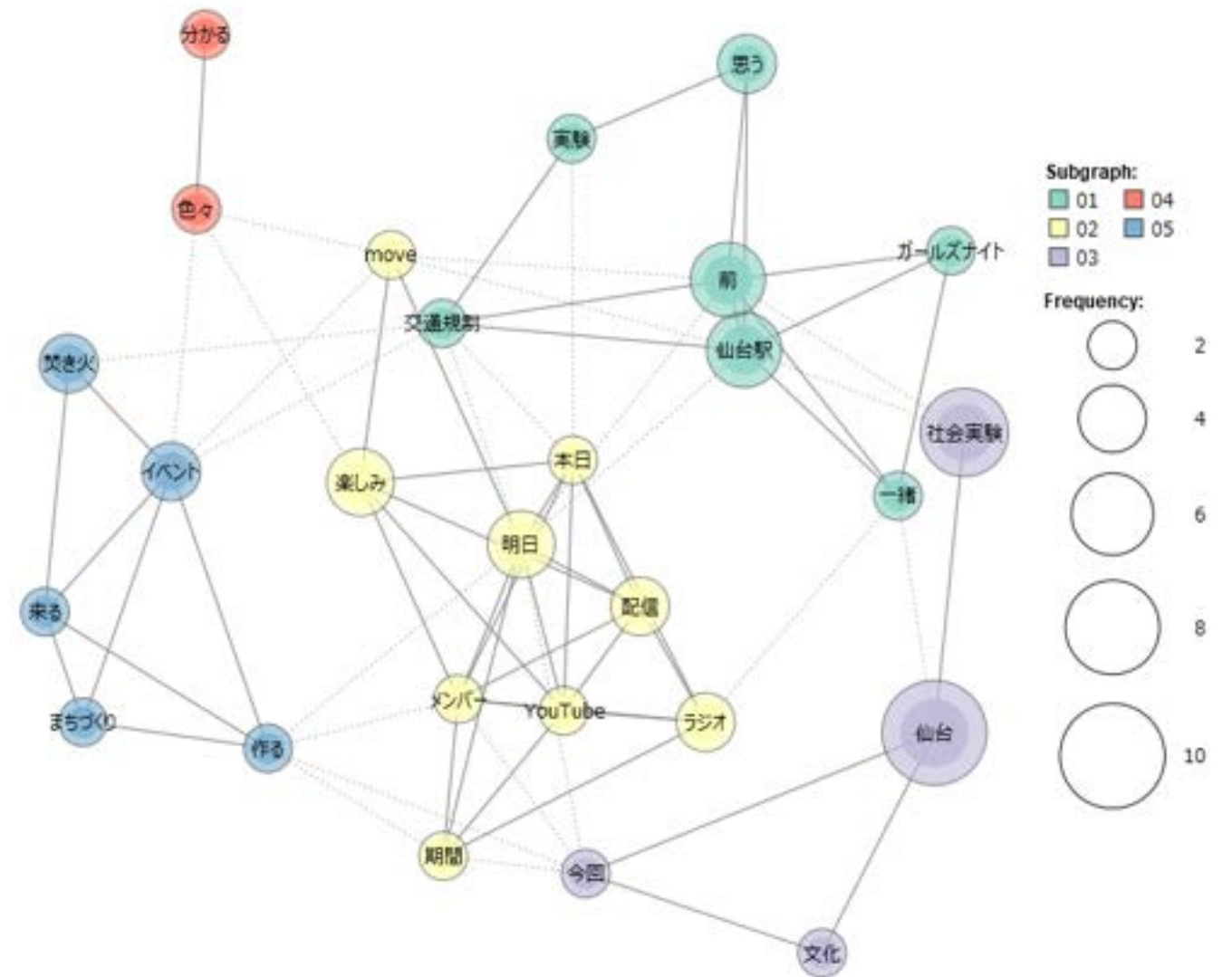
公式ハッシュタグを利用しない投稿

交通規制に関するコメント数が多くなっている。



公式ハッシュタグを利用した投稿

交通規制に関するコメント数も多いが、コンテンツに関するコメントも同程度に多い。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

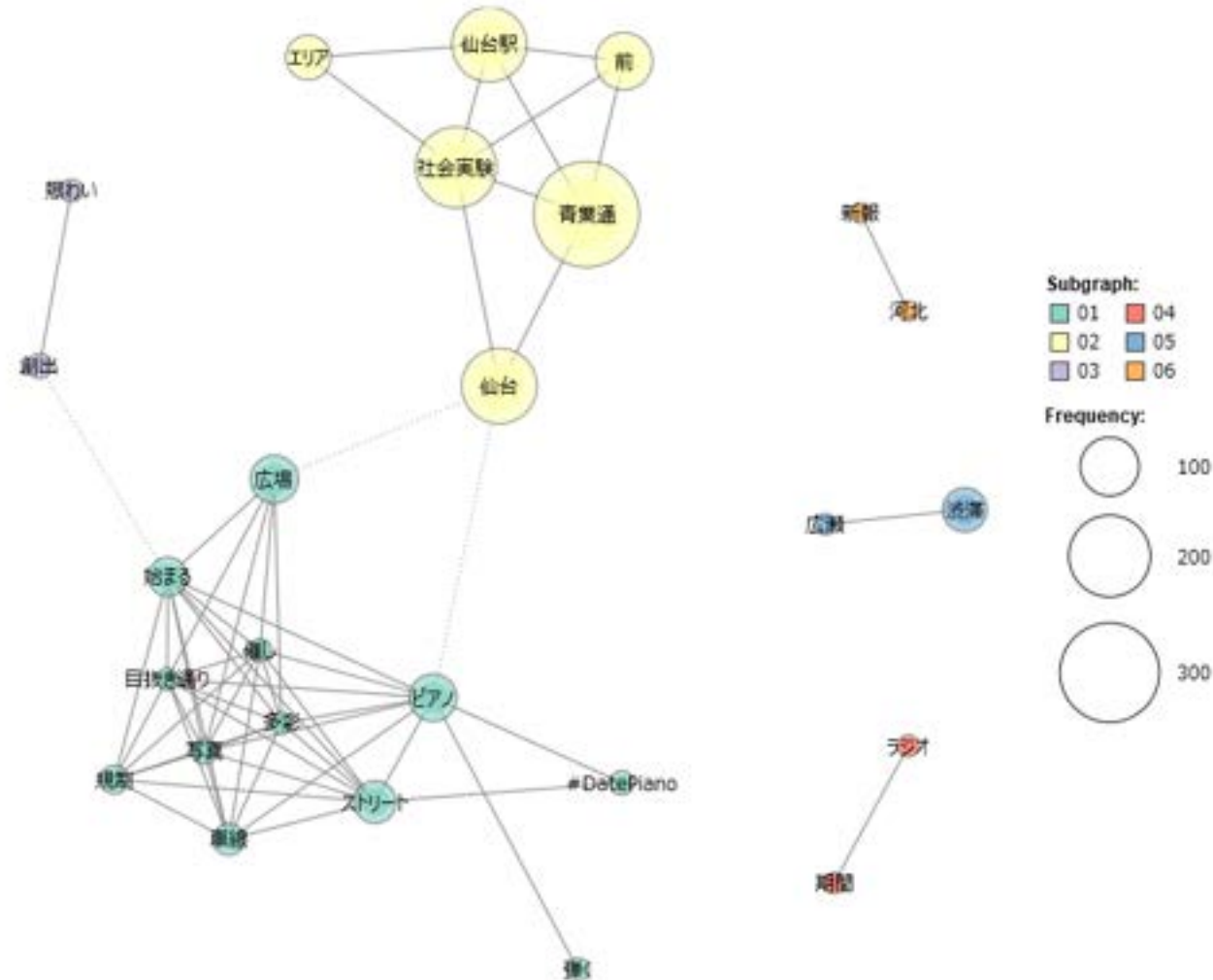
WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(9月23日～9月28日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

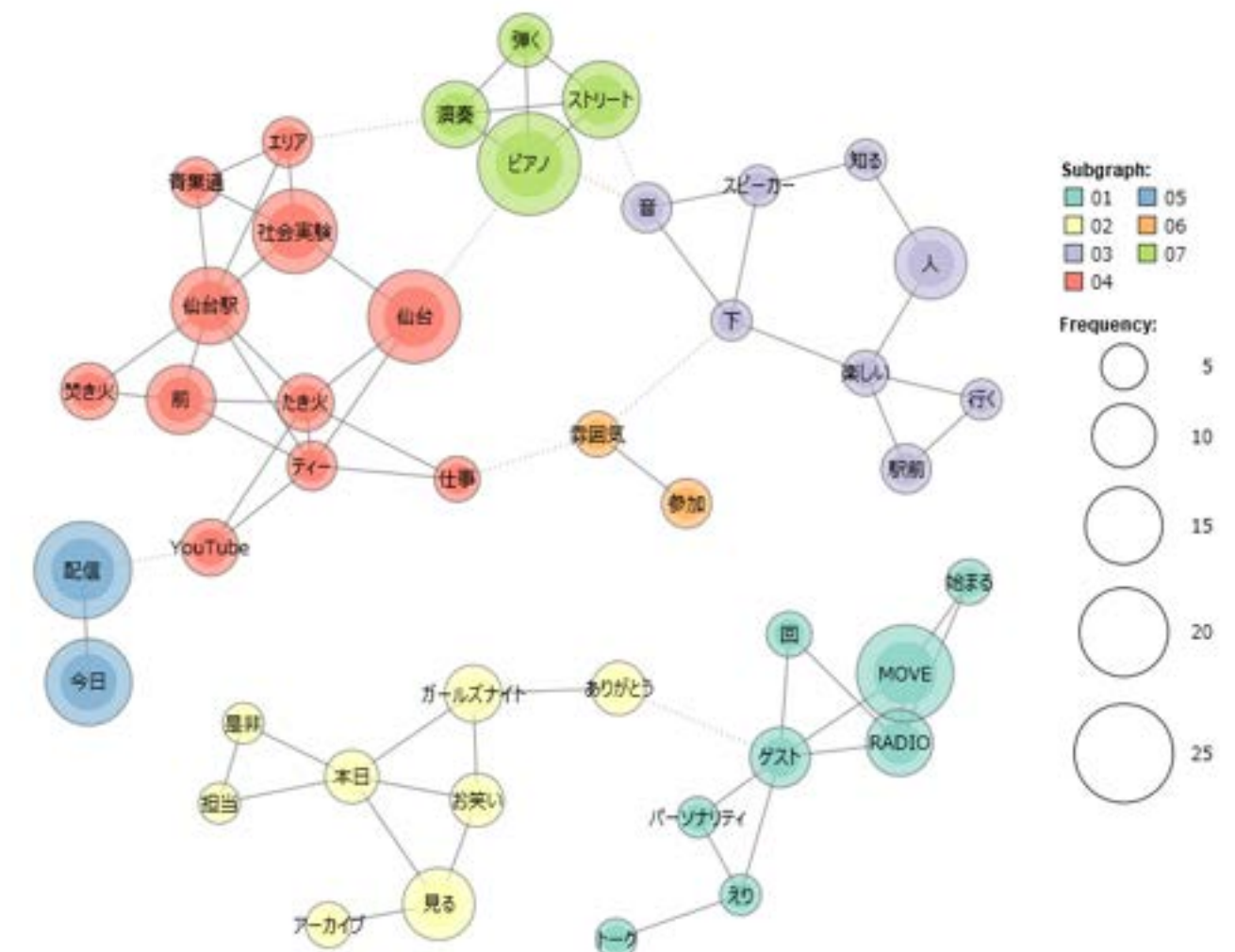
公式ハッシュタグを利用しない投稿

交通規制に関する言葉が減少している。
ピアノに関する発言が増加している。



公式ハッシュタグを利用した投稿

交通規制に関する言葉が減少している。
ピアノやラジオ、ガールズナイトなどコンテンツに関する話題が増加。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

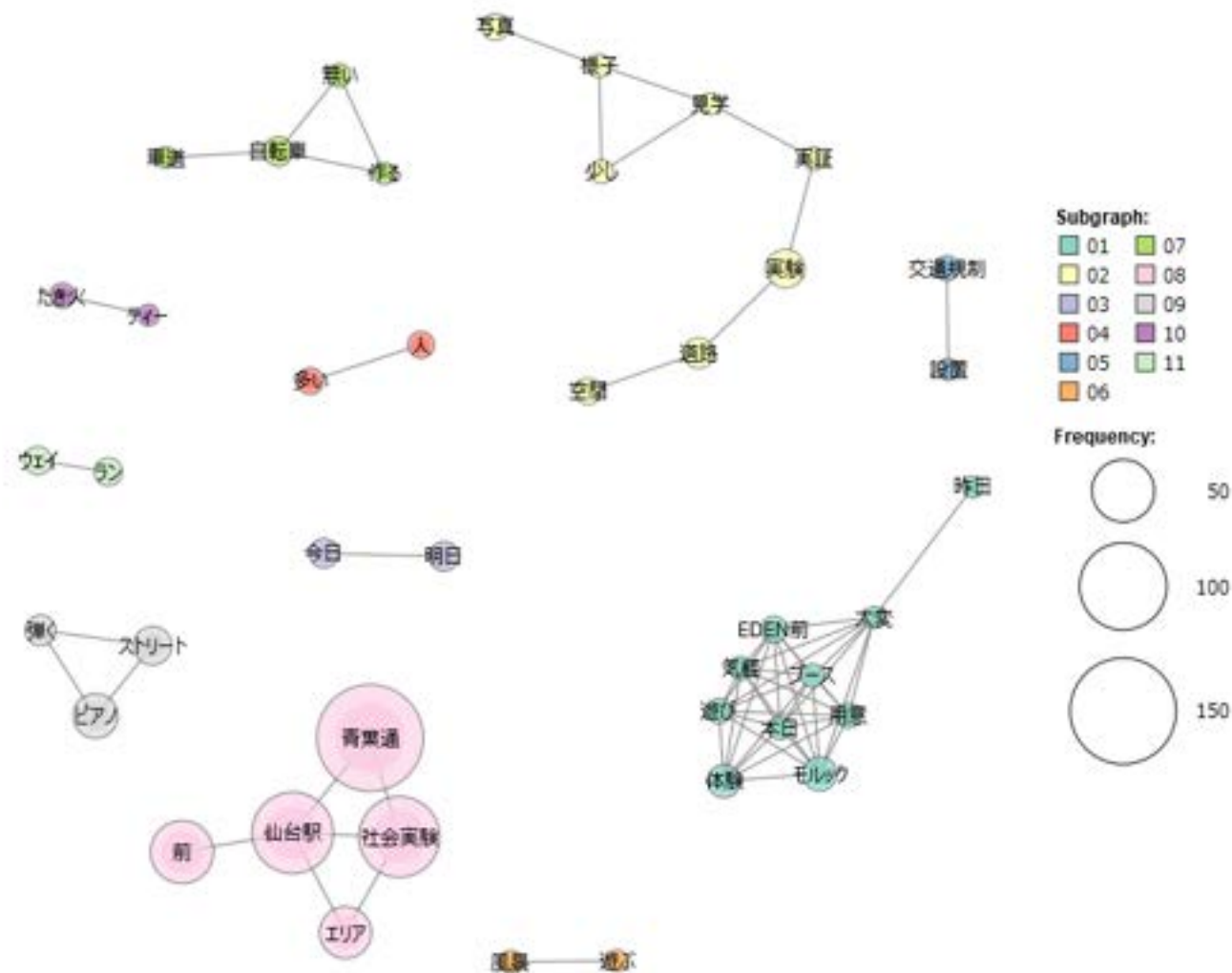
WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

■公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(9月29日～10月5日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

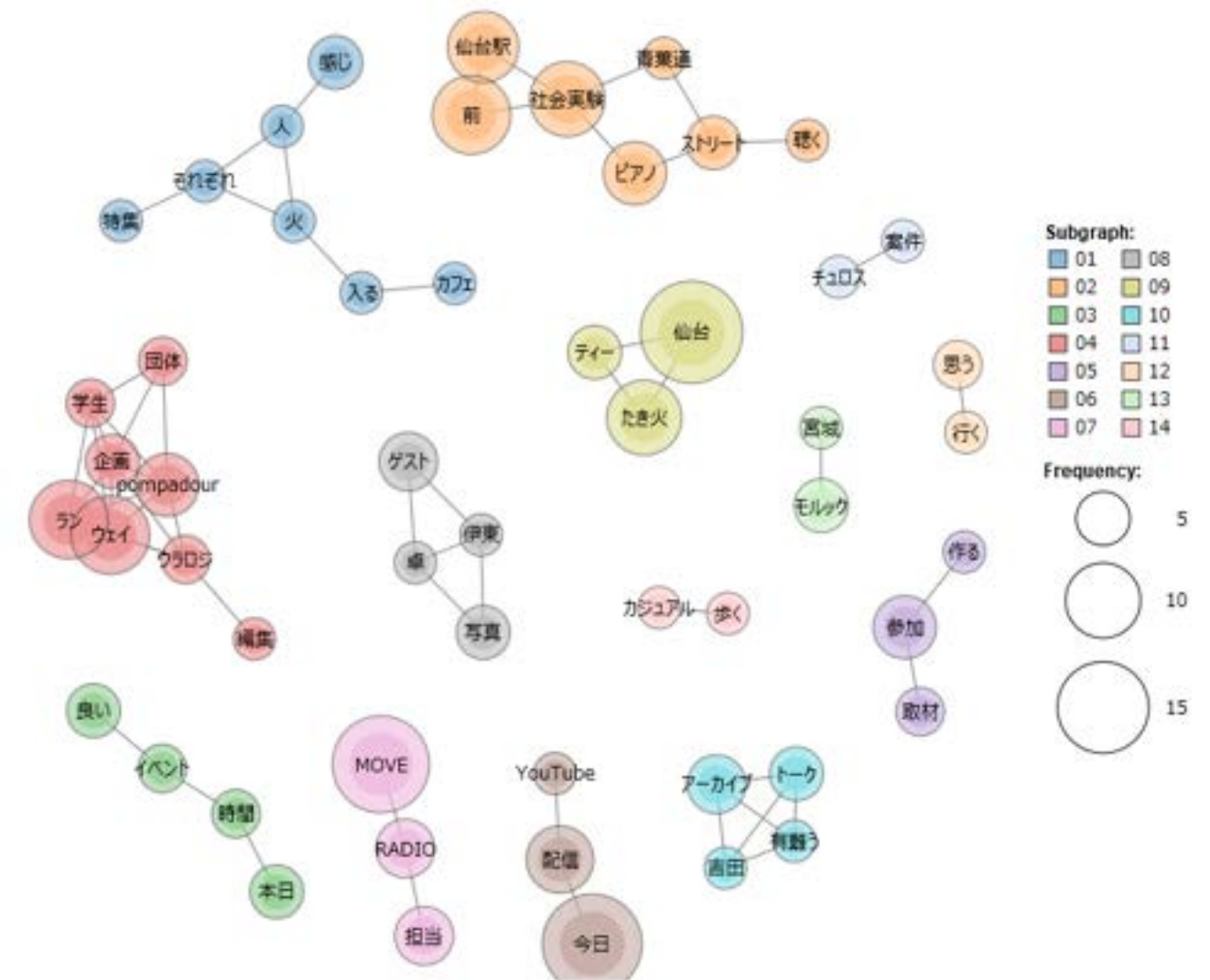
公式ハッシュタグを利用しない投稿

コンテンツに関する話題(焚火・ランウェイ)などの発言が現れる。



公式ハッシュタグを利用した投稿

コンテンツに関する多様な話題が現れている。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

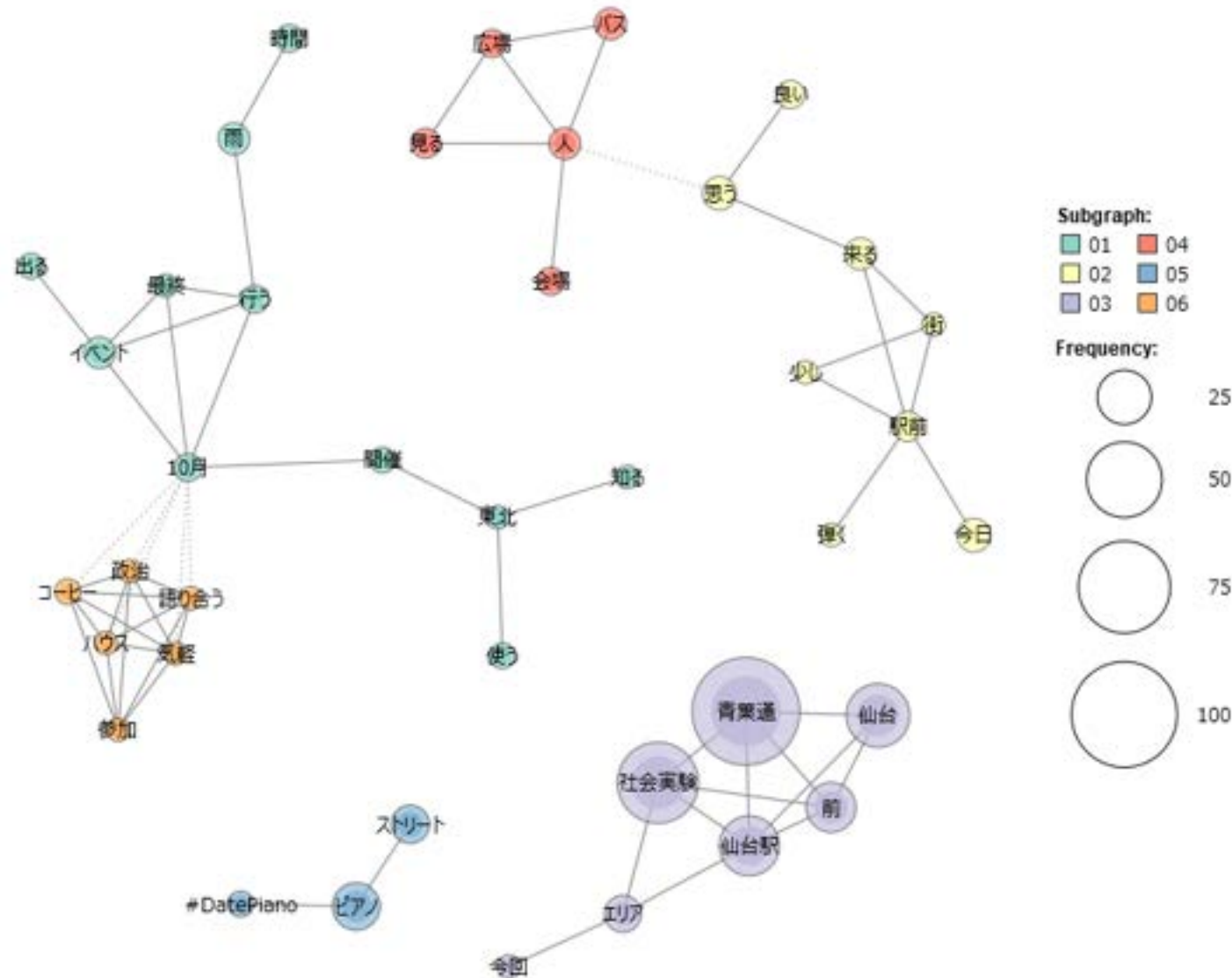
① 社会実験の取組み意義

■公式ハッシュタグを利用した投稿・利用しない投稿の比較(10月6日～10月10日)

※instagramは写真のみの投稿が多いため除外

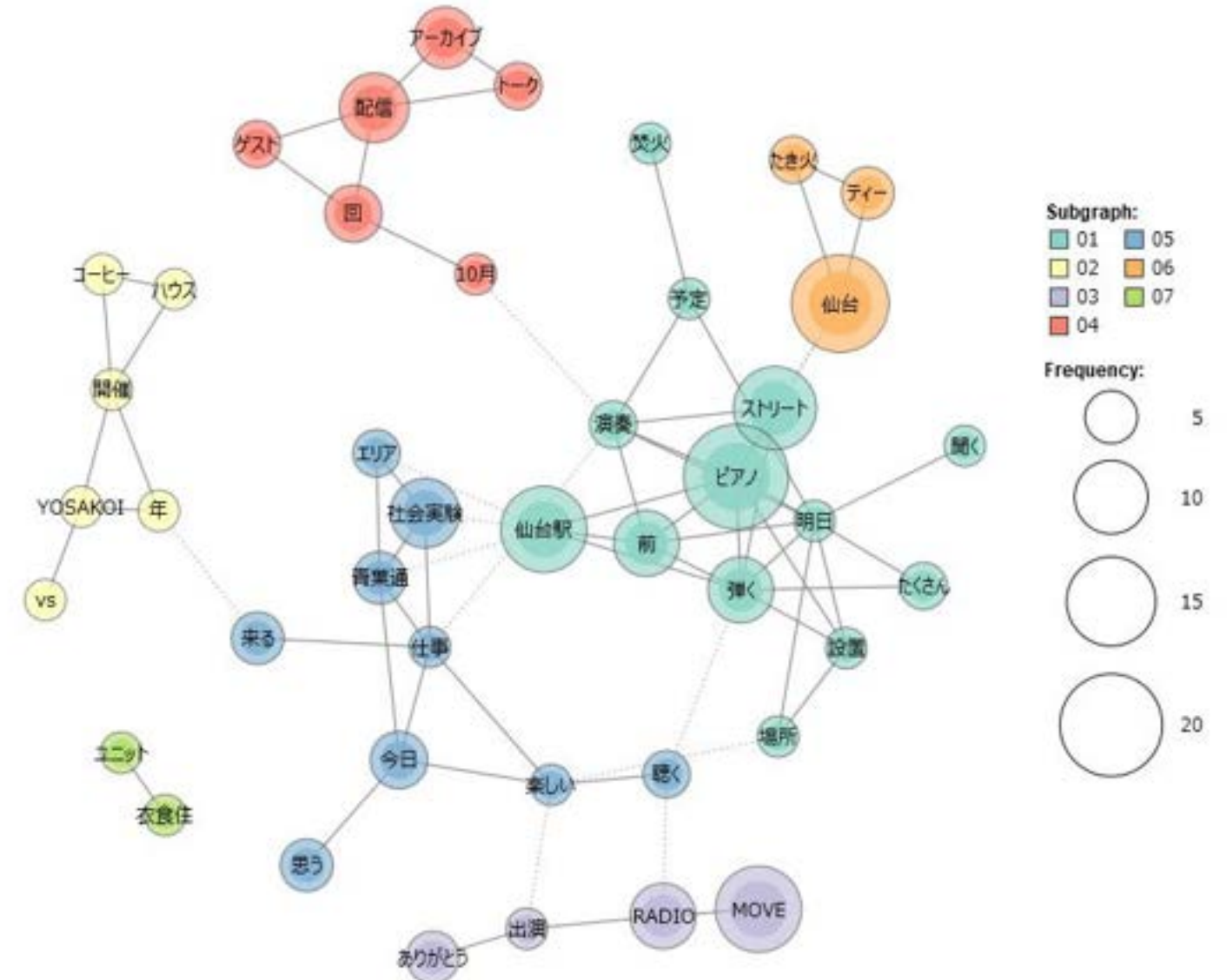
公式ハッシュタグを利用しない投稿

コンテンツに関する話題（焚火・ランウェイ）などの発言が現れる。



公式ハッシュタグを利用した投稿

コンテンツに関する多様な話題が現れている。



社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

・公式ハッシュタグ以外での投稿も多く見られたため、下記も含め影響を分析した

■公式ハッシュタグを利用しない投稿の時系列推移

リリース後
～実験前
(8/31～9/19)

社会実験の広報が行われてからの実験前はSNSでの反応は混雑・渋滞を懸念するネガティブなコメントが全体の3割（主に報道記事を読んだのリツイート投稿）。らしさや思い出を語る「#仙台駅前らしさ」の狙いに近い投稿は開催前が一番多く見られた。

規制開始後
～実験前
(9/20～9/22)

実際に交通規制が始まり、混雑・渋滞などの交通に関する投稿が全体の4割。他、報道記事をシェアする投稿が3割、社会実験に対する意見やコメントが3割見られた。渋滞の懸念など、取組みに関する疑問の声が挙がっている。

社会実験開始直後
(9/23～9/28)

社会実験が始まってすぐの期間の反応は、社会実験への意見やコメントが全体の約3割。混雑・渋滞などの交通に関する投稿は約2割になり、全体に占める割合は減少したが、実際に起きた渋滞・遅延等へのネガティブなコメントが見られる。また、開催プログラム（主にストリートピアノ、焚き火）についての投稿が全体の約2割まで増加している。

社会実験中盤
(9/29～10/4)

社会実験が始まって少し経った期間の反応は、開催プログラムに関する投稿が一番多く、約4割を占めている。また、社会実験に関する意見やコメントも約4割を占めている。これまで多かった交通に関する投稿は1割程度に減少している。

社会実験終盤
(10/5～10/10)

社会実験期間が終了する前の期間の反応は、開催プログラムに関する投稿が全体の半数を占めている。交通に関する投稿は、4ターム目に引き続き1割程度になっている。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

WEB・SNSでの影響(公式外を含む集計)

・いいね数・リツイート数が30以上の反響が大きかった投稿。

投稿日時	名前	テキスト	RT数	いいね数
2022/9/16 17:47	仙台市交通局	【仙台駅前で #社会実験 が実施されます】社会実験により、仙台駅前 #旧さくら野前 の青葉通で一般車を通行止めが9/20(火)より実施されます。仙台駅前周辺での渋滞が予想されますのでご注意願います。詳しくは、以下をご確認ください。#仙台市交通局#仙台市営バス	31	37
2022/9/21 15:01	佐藤正実 (風の時編集部)	人工芝が敷かれた。 #青葉通	35	76
2022/9/20 6:04	仙台市交通局	【仙台駅前で #社会実験 が実施中】本日(9/20)より、仙台駅前 #旧さくら野前 の青葉通で一般車が #通行止め となる社会実験が実施中です。#仙台駅前周辺の渋滞 が予想されますのでご注意願います。詳しくは、以下をご確認ください。#仙台市交通局#仙台市営バス	85	78
2022/9/11 10:57	佐藤正実 (風の時編集部)	9月20日～10月13日青葉通を通行禁止にする社会実験が行われる。 #仙台 #青葉通	43	117
2022/10/2 17:13	支倉常長@伊達武将隊/歴史講座 支倉ないと	仙台駅前・青葉通の過去と未来が交差する一子供たち3人が仲良く手を繋いで歩いている古写真に写る道は、できたばかりの青葉通。今行われている社会実験は、これからの仙台駅前や青葉通、ひいては仙台の街の新たな形を見出すもの。実り多きものとなりますように！	32	118
2022/9/18 19:02	仙台つーしん	仙台駅前の青葉通が「遊び場」に大変身！？大規模な社会実験が実施されるみたい！	51	152
2022/9/1 11:01	ストリートピアノ全国情報+ ストリートピアノ速報	もう少し先の話になりますがストリートピアノ社会実験が仙台であるそうです♪仙台駅前の青葉通が芝生広場に 9月23日から10月10日まで仙台市が社会実験〈仙台〉	53	179
2022/9/16 6:06	河北新報オンライン	仙台市役所前に歩行者天国 17日から社会実験 青葉通には仮設芝生広場	86	195
2022/9/24 6:04	河北新報オンライン	目抜き通りが広場に 仙台・青葉通で車線規制始まる ストリートピアノ、写真展など多彩な催し	111	351
2022/9/22 21:55	大山宗之	見てみてよ、これ全部、道路なんだよ。9/22、社会実験開催前夜いよいよ明日9/23からスタート誰も見たことがない、風景と体験がある場所満を持して	127	462
2022/9/20 9:54	佐藤正実 (風の時編集部)	青葉通の社会実験が始まる。 #仙台 #青葉通	209	569
2022/9/12 0:00	MACHITO SENDAI	【青葉通仙台駅前エリア社会実験MOVE MOVE】たくさんの多様な人が行き交う青葉通仙台駅前エリア。「仙台の顔」とも言えるこの場所に、体験・表現・交流の場が出現します。9/20(火)早朝~10/13(木)早朝、旧さくら野前で交通規制が行われます。詳しくはHPをご覧ください。	281	752
2022/9/23 18:58	焚き火モルト	信じられるかい？公式に仙台駅前で焚き火してるんだぜ	116	1337

・行政・企業の公式アカウントや、インフルエンサーによる投稿は反響が大きい。メディアによる投稿も反響が大きいため、今後の広報手法を考える際の参考としたい。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

その他の影響(メディア掲載)

・プレスリリース後にメディアに取り上げられたものの一覧。

No.	媒体名	媒体①	媒体②	Yahoo! ニュース転載	掲載日時
1	産経新聞	新聞			2023年8月31日
2	日経BP(新・公民連携最前線 PPPまちづくり)	WEB記事	—		2022年9月8日
3		TV	WEB記事	●	2022年9月20日
4	khb東日本放送	TV	WEB記事		2022年10月10日
5		TV	WEB記事	●	2022年9月23日
6		TV	WEB記事	●	2022年9月23日
7		TV	WEB記事		2022年9月1日
8	NHK	TV	WEB記事		2022年9月23日
9		TV	WEB記事		2023年9月27日
10		新聞	WEB記事		2022年9月16日
11		新聞	WEB記事		2022年9月24日
12		新聞	WEB記事		2022年10月4日
13	河北新報	新聞	—		2022年10月8日
14		新聞	WEB記事		2022年10月14日
15		新聞	—		2022年11月8日
16		新聞	WEB記事		2022年12月6日
17	サポセン ブログ@仙台	WEB記事	—		2022年10月6日
18	山形新聞	新聞	WEB記事		2022年9月24日
19	仙台経済新聞	WEB記事	—		2022年9月28日
20		TV		●	2022年8月31日
21		TV	WEB記事	●	2022年10月6日
22	ミヤギテレビ	TV	WEB記事	●	
23		TV	WEB記事	●	
24		TV	WEB記事	●	
25		TV	WEB記事	●	
26	仙台放送	TV	WEB記事	●	
27		TV			
28	tbc東北放送	TV	WEB記事	●	2022年8月31日
29	のりものニュース	WEB記事	—		2022年9月7日
30	日本経済新聞	新聞			2023年9月16日
31		WEB記事	—		2022年10月18日
32	東北大学新聞	新聞	WEB記事		2022年11月1日
33	CNET Japan	WEB記事	—		2022年11月8日
34	日経BP(ひとまち結び)	WEB記事	—		2022年12月21日
35	読売新聞	新聞	WEB記事		2023年1月3日
36	en Voyage (エンボヤージュ)	ラジオ			2022年9月28日
37	Vtuber せんいのり	WEB配信			2022年9月1日
38	YouTube (youhei_red)	WEB配信			2022年9月26日
39	東洋大学 客員教授ブログ	WEB記事			2022年10月13日
40	東北大学生 (台湾のWEBローカル記事)	WEB記事			2022年10月24日

新聞… 12件
 TV… 16件
 ラジオ… 1件
 WEB記事… 31件
 WEB配信… 2件

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

その他の影響(視察)

No.	現地来訪	認知方法	主な所在地	所属	主な意見、興味分野
1	無	-	北海道	札幌市役所	公共空間の利活用、ウォークアブルなまちづくり
2	有	-	青森県	八戸市議会	公共空間の利活用
3	有	-	秋田市	(株)シービジョンズ	あり方検討協議会と準備事務局との関係(位置づけ)など
4	有	-	岩手県	盛岡市役所	公共空間の利活用、道路再編に伴う周辺の開発など
5	有	-	盛岡市	NoMaDoS 一級建築士事務所	植栽と椅子の配置。人工芝の使い方
6	有	-	花巻市	花巻市役所	公民連携によるまちづくりの実施体制
7	有	-	栗原市	栗原市役所	地域主体のまちづくりの体制
8	有	-	宮城県	宮城県庁	行政としてのまちづくりの支援の仕方 まちづくり、プログラムの運営
9	有	-	宮城県	(株)MAKOTO Prime	プログラムの運営企画、参加者の属性
10	有	-	宮城県	鹿島建設(株)	道路空間の利活用、まちづくり
11	有	-	宮城県	(株)ナンドリカダリ	居場所づくり、若者交流
12	有	-	宮城県	INTILAQ東北イノベーションセンター	起業促進、若者交流
13	有	-	宮城県	宮城野区中央市民センター	居場所づくり、市民参加
14	有	-	宮城県	東北放送(株)	駅前の動向、利用者の意見
15	有	-	宮城県	宮城行政書士事務所 ミヤギ土地建物	公共空間の利活用、まちづくり
16	無	-	宮城県	宮城教育大学附属 小学校3年生	まちの移り変わり、将来のまちづくり (R5.1.27 社会実験を題材とした授業実施)
17	有	-	福島県	いわき市役所	公共空間の利活用、市民参加のまちづくり
18	有	-	新潟県	新潟市役所	駅前の公共空間活用
19	無	WEB	埼玉県	宮代町役場	道路占用
20	有	-	東京都	特定非営利活動法人 School Voice Project	中高生の居場所、サードプレイス
21	有	-	東京都	早稲田大学 オープン イノベーション戦略研究機構 アクセント(株)	社会実験の効果検証の計測方法 周辺(不動産)への波及効果
22	有	-	東京都	OpenA、公共R不動産	子どもが自由に遊べる場所(そこに居て良い設え) 時間帯で来訪者の属性が変化する(場の許容力)
23	無	SNS	東京都	OpenA、公共R不動産	バス停や案内表示などの既存構造物を活用してデザインを 刷新することで、実施前後の変化を来訪者が感じられること 社会実験の中での準備事務局の体制や位置づけ、役割が良い。
24	有	-	東京都	OpenA	18日間、晴天・雨天別の会場の使い方を資料にまとめたこと
25	有	-	東京都	(株)フォルク	同じ空間の中に多様な人(ピアノ演奏、芸の披露等)が過ごしていること
26	有	-	東京都	東京工業大学	民間企業と行政が連携して駅前空間をつくる体制
27	無	SNS	東京都	有限会社クリマ	景観計画に準拠するとアースカラーになってしまうことが多いが、 社会実験のコンセプトを伝えるために、背景色に対して目を惹く色(挿し色)として赤色を用いているのが良い。
28	有	-	東京都	(株)サンシャインシティ	豊島区池袋のサンシャインシティ周辺のまちづくりに民間企業として携わる際の空間づくりの参考にしたい。
29	有	-	東京都	大成建設(株)	公共空間のデザインに設計者としてどのように関わっているか。親子向けの設え。行政と民間企業の連携について。

No.	現地来訪	認知方法	主な所在地	所属	主な意見、興味分野
30	有	-	東京都	①(一社)高輪ゲートウェイエア マネジメント ②東日本旅客鉄道(株)マーケティング本部まちづくり部門	運営体制、民間起業の関わり(東京だと民間主導が多いため)
31	有	-	神奈川県	(株)オンデザインパートナーズ	道路空間に置くファニチャー(座りたくなる設え) メッシュ生地を使用した道路と滞留空間の緩やかな区分
32	有	-	神奈川県	相模原市役所	駅前の公共空間活用
33	有	-	愛知県	名城大学理工学部建築学科	社会実験の情報発信の工夫、H鋼を使った設え
34	有	-	京都府	京都市役所	公共空間の利活用、オープンスペース
35	有	-	京都府	京都府立山城高等学校	公共空間の利活用、まちの移り変わり
36	有	-	広島県	広島市役所	駅前の公共空間活用、社会実験の取り組み体制
37	有	-	広島県	福山市役所	駅前の公共空間活用、社会実験の取り組み体制
38	無	SNS	徳島県	徳島市役所	観光姉妹都市。市長のSNSで反応あり。別件で視察により仙台市に来訪
39	有	-	佐賀県	佐賀市役所	駅前周辺整備、不動産オーナーの意向等
40	有	-	台湾 (留学)	①東北大学大学院 都市・建築学専攻 ②台湾大学 大学院 建築・城郷研究所	まちづくり、都市空間の使い方など

【参考・関係者による記事(プレスリリース後)】

No.	媒体名	媒体①	媒体②	掲載日時
1	(一社)全日本ピアノ指導者協会	WEB記事		2022年10月21日
2	宮城学院女子大学 公式サイト	WEB記事		2022年10月2日
3	仙台市 市政だより	冊子		2022年9月1日
4	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年9月23日
5	国土交通省関東地方整備局	WEB配信	ライブ配信	2022年9月26日
6	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年9月28日
7	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年9月30日
8	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年9月30日
9	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年10月1日
10	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年12月21日
11	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年12月26日
12	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年12月28日
13	ウラロジ仙台	WEB記事		2022年12月30日

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

■取組み評価に関する内訳（属性別）

	居住		年代(全体)			
	市内	市外	10代	20～30代	40～50代	60代以上
調査手法	WEBアンケート& 聞き取り調査 894件	WEBアンケート& 聞き取り調査 345件	WEBアンケート& 聞き取り調査 122件	WEBアンケート& 聞き取り調査 542件	WEBアンケート& 聞き取り調査 392件	WEBアンケート& 聞き取り調査 181件
良い取組み だと思う	613件 (68.5%)	290件 (84.1%)	110件 (90.1%)	443件 (81.7%)	237件 (60.5%)	111件 (61.3%)
良い取組みだと 思わない	243件 (27.2%)	26件 (7.5%)	3件 (2.5%)	79件 (14.6%)	135件 (34.4%)	52件 (28.7%)
どちらでも ない	38件 (4.3%)	29件 (8.4%)	9件 (7.4%)	20件 (3.7%)	20件 (5.1%)	18件 (10.0%)

※年代については2件未回答あり

・年代別(全体)にみると、本社会実験は特に10代～30代と若い世代で高い評価が得られた。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

① 社会実験の取組み意義

調査手法	①②③④ 全体	①WEBアンケート &聞き取り調査				②市政モニター ※3	③ドライバー アンケート調査 ※4	④オフィスワーカー アンケート			
		WEBアンケート		聞き取り調査 ※1							
件数	1,856件	880件		359件		177件		400件		40件	
		来訪者 813件	非来訪者 67件	来訪者 348件	非来訪者 ※2 11件	来訪者 51件	非来訪者 126件	来訪者 200件	非来訪者 200件	来訪者 32件	非来訪者 8件
良い取組み だと思う	1344件 (72.4%)	579件 (71.2%)	23件 (34.3%)	298件 (85.6%)	3件 (27.3%)	34件 (66.7%)	89件 (70.6%)	139件 (69.5%)	144件 (72.0%)	28件 (87.5%)	7件 (87.5%)
良い取組みだ と思わない	380件 (20.5%)	209件 (25.7%)	40件 (59.7%)	19件 (5.5%)	1件 (9.1%)	12件 (23.5%)	21件 (16.7%)	42件 (21.0%)	33件 (16.5%)	2件 (6.3%)	1件 (12.5%)
どちらでも ない	132件 (7.1%)	25件 (3.1%)	4件 (6.0%)	31件 (8.9%)	7件 (63.6%)	5件 (9.8%)	16件 (12.7%)	19件 (9.5%)	23件 (11.5%)	2件 (6.3%)	0件

※1: 来訪者(EDEN側、旧さくら野側、仙台駅タクシープール)に対し、調査員がWEBアンケートと同じ設問を聞き取り調査

※2: 聞き取り調査における「非来訪者」は北側バス乗場のみの利用等が該当

※3: 仙台市では、市政の様々な課題等に関するアンケートを実施して市民の意見を伺い、施策の企画や行政運営上の基礎資料として活用するため、R4年度は18歳以上の市民の方200名を公募により市政モニターに委嘱。

※4: リサーチ会社のモニターに対して、社会実験期間中に来場された方、実験前・期間中どちらも仙台市中心部を自家用車で通行された方を対象にアンケートを実施 (調査日程: 1回目: 9/30~10/3、2回目: 10/10~10/11)

社会実験の取組みに関する意向や影響等

②社会実験による交通影響(歩行者・自転車利用者、公共交通・一般車両)



- ・交通影響については、「歩行者」や「自転車利用」の方からは安全性が高まったとの意見がある一方で、「周辺道路の混雑、駅へのアクセス性悪化」についての意見も多く寄せられており、今後周辺の交通環境も含めた駅前エリアのあり方検討が求められる。

→利活用空間の空間や自転車道の設置による継続的な歩行者および自転車利用者の安全性確保は高い評価を受けたことから、求められる機能として検討する必要がある。

- ・「青葉通駅前エリアのビジョンが見えない」との意見も寄せられた。

→社会実験の趣旨が十分に認知されておらず、その情報発信が課題となるとともに、交通影響や他の遊休施設の利活用等目に見える課題に注目が集まったと考えられる。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

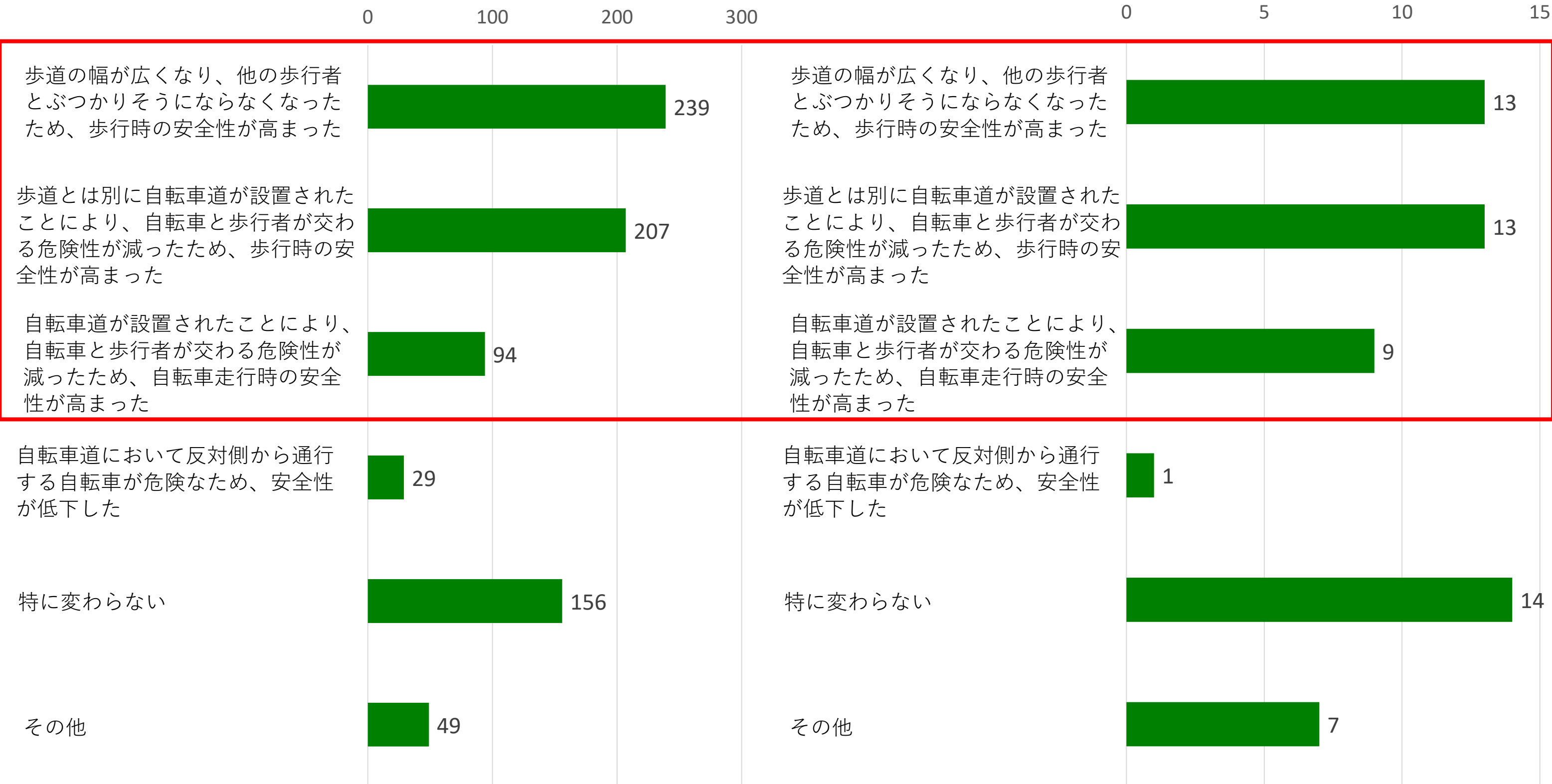
② 社会実験による交通影響(歩行者・自転車利用者)

■ 徒歩・公共交通利用者

N=625
(人)

■ 自転車利用者

N=45
(人)



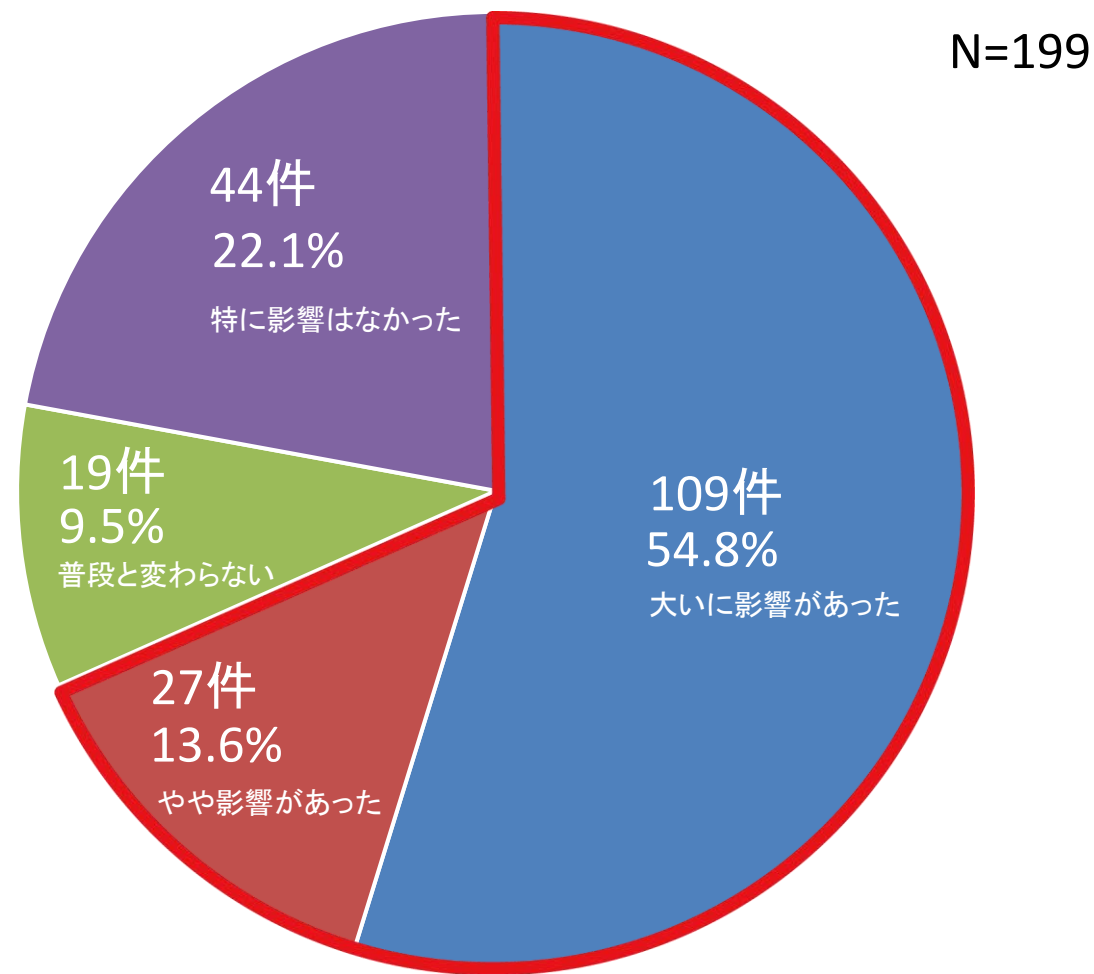
・歩行者・自転車利用者ともに「安全性が向上」している意見が多くみられる。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

② 社会実験による交通影響(一般車両)

※ () 内は回答者

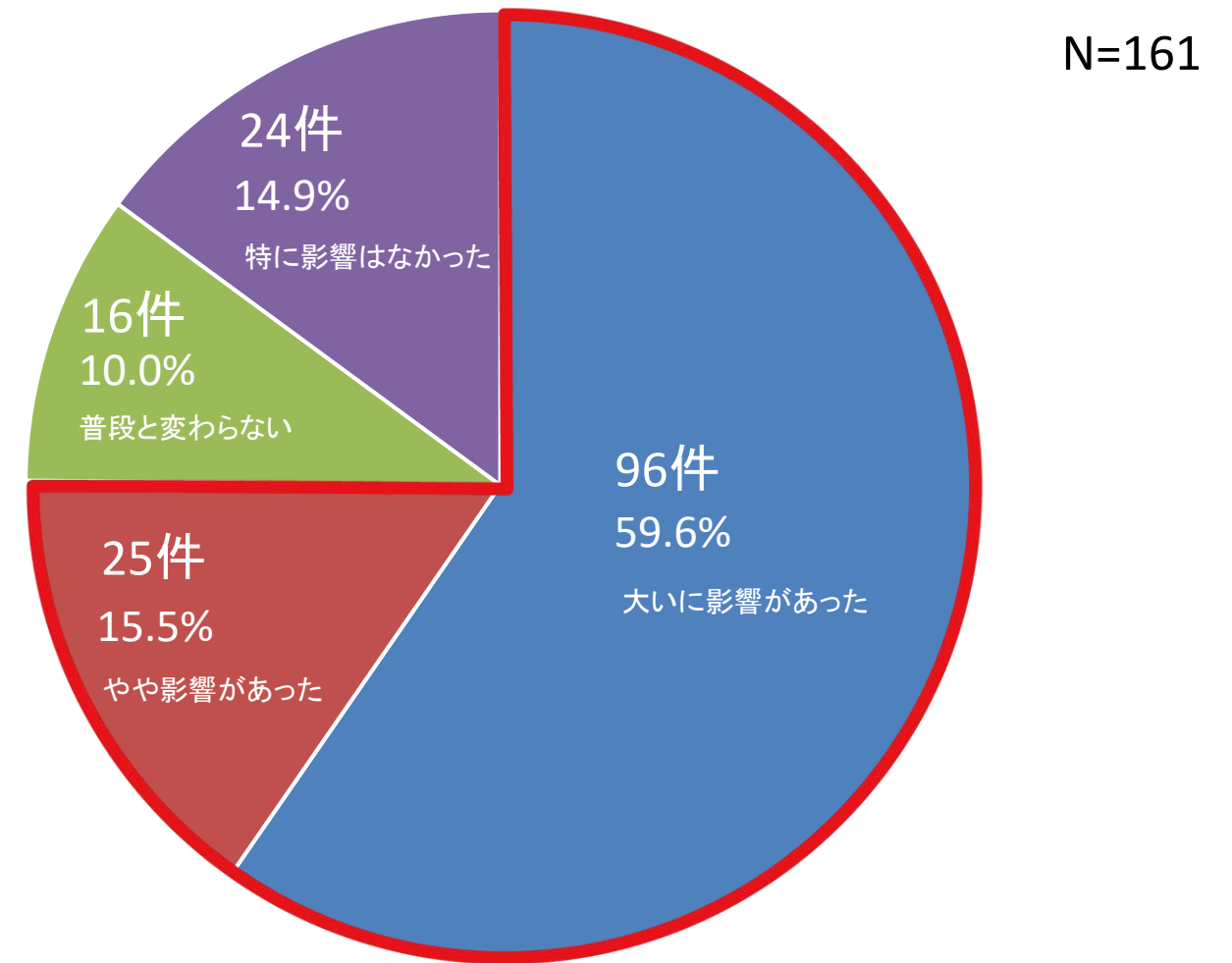
■社会実験の交通規制に伴う交通混雑による
仙台駅周辺への来訪の影響(自家用車利用者)



- 大いに影響があった(予定の時刻に遅れてしまったなど)
- やや影響があった
- 影響はあったが普段と変わらない
- 特に影響はなかった

・影響を感じた方は約7割。

■社会実験の交通規制に伴う交通混雑による、仙台駅
一般車降車場(駅前ロータリー)に行く際に影響
(自家用車利用者)



- 大いに影響があった(乗車しようとしていた列車に乗り遅れそうになったなど)
- やや影響があった
- 影響はあったが普段と変わらなかった
- 特に影響はなかった

・影響を感じた方は約7.5割。

社会実験の取組みに関する意向や影響等

② 社会実験による交通影響(利活用空間の課題含む)

■社会実験評価について「良い取組みだと思わない」もしくは「どちらでもない」の回答者

N=368(自由記述で回答いただいた回答数、複数回答あり)

<交通面>	
・ 駅へのアクセス性悪化 (接続道路が限定される等)	56件
・ 交通混雑、周辺道路の混雑 (渋滞)	163件
・ 駅前の送迎車の飽和	10件
・ 社会実験時の車の誘導方法が良くなかった	13件
・ バス停の位置がわかりにくかった (新幹線・電車に乗り遅れた、遅れそうになった)	6件
・ タクシーのみの乗降場を改善してほしい	3件
・ 安全面の悪化 (交通事故等)	15件
・ バスやタクシーは専用道をつくり、遅れないようにしてほしい	4件
<利活用空間について>	
・ 駅前の不自然さ (利活用空間)	3件
・ 運用ルールの不透明性、ホームレスや外飲みのたまり場になる不安 (利活用空間)	11件
・ 駅前のビジョンが見えない (ペDESTリアンデッキを使えばよい)	77件
・ さくら野側の活用も検討すべき	17件
・ 身体障がい者にとって普段と変わるの不便 (視覚障がい者等)	3件
・ 広場空間への要望 (お手洗いの設置等)	1件
・ 広場環境への懸念 (騒音・排気ガス)	8件
・ 実装時の管理面の不安	2件
<その他>	
・ アンケートの改善について (選択肢の偏り)	4件

・ 社会実験評価において「良い取組みだと思わない」「どちらでもない」と回答された方の理由は、以下が挙げられた。

【交通面】

→ 「交通混雑」「駅へのアクセス性」

【利活用空間】

→ 「ビジョンが見えない」「さくら野側の活用を検討すべき」

※特に回答数が多いものを赤字で表記

社会実験の取組みに関する意向や影響等

② 社会実験による交通影響

■ 仙台市・専用コールセンターへの電話、仙台市ホームページ、市民の声等により直接寄せられた苦情

苦情の種類	件数	主な内容
渋滞に関すること	47	一般車両の通行制限により、周辺道路において渋滞が発生し迷惑である等
誘導や案内に関すること	21	交通規制の方法や移設したバス停がわかりにくい等
その他	10	
合計	78	

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

① 視点1 仙台の顔としてのエリア

・今回のコンセプトにおいて、「様々な人の出会い・交流」により、「駅前が活気あふれるまち」という点においては好印象を与えることができた。

→第一印象として好印象を来訪者に与えたことは、「仙台の顔」となるこのエリアの「表情」を作り出せた。

→仙台駅前の様々な人が来訪する空間で、イベントの実施や、空間の設えが展開された結果、多様なアクティビティの発生、人々の交流、賑わい創出へとつながったと考えられる。



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

① 視点1 仙台の顔としてのエリア

- ・「顔(らしさ)」については、空間の心地よさや遊べる空間としての「楽しさ」や、空間が大きく変化したことによる「驚き」、ストリートピアノや憩いの空間に対する「うれしさ」を与える空間となった。
- ・社会実験では、活動的な10代～30代の若い世代にささる空間演出となった。

→10代～30代のニーズを実践できたこと、20代～30代で構成した社会実験準備事務局による企画運営、学生の参画によるコンテンツ実施が10代～30代の世代に対してポジティブな感情を与えた一因であると考えられる。



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈第一印象〉利活用により、第一印象として好印象を与える

検証①来訪者は「好印象」を持てたのか、把握

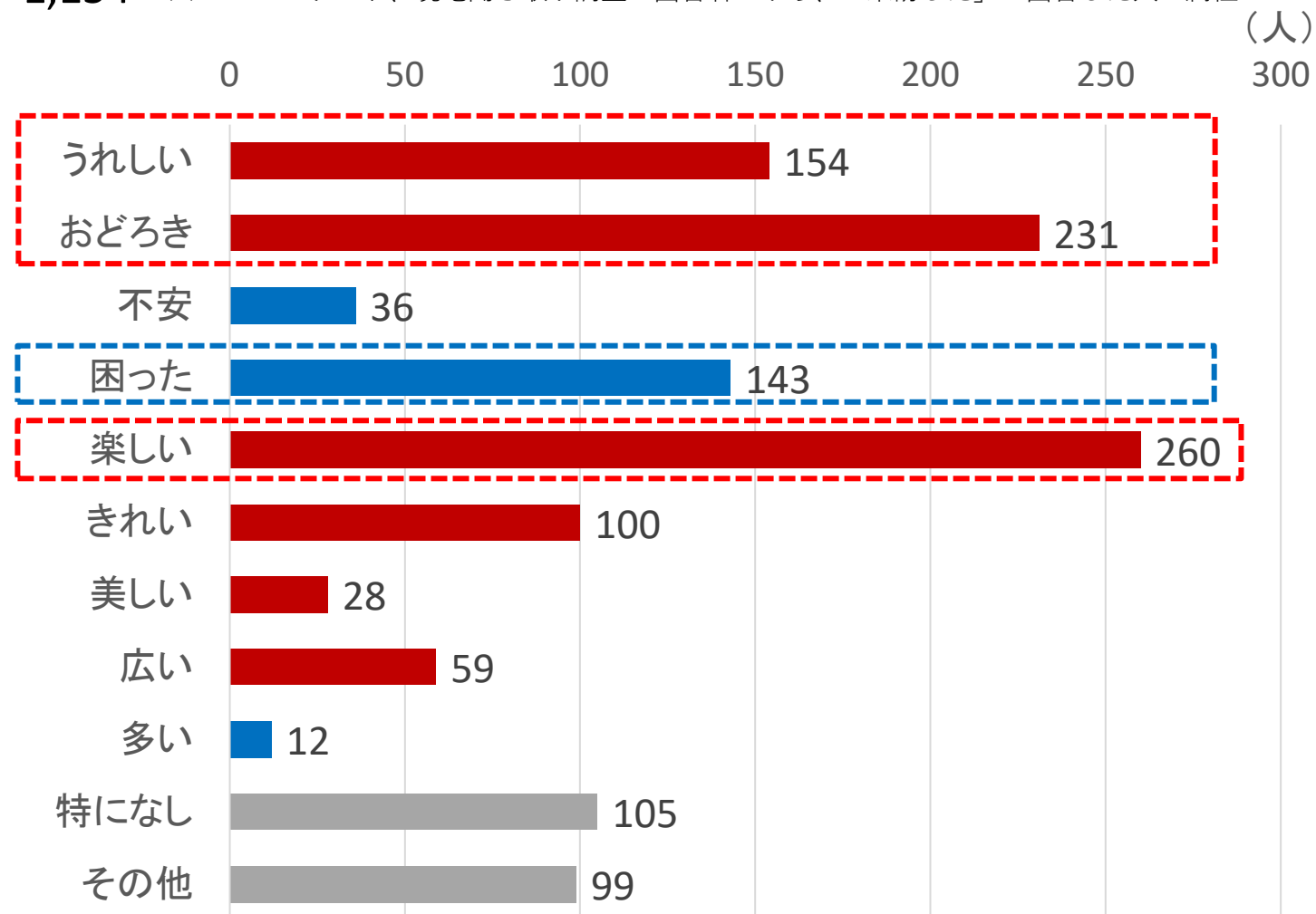
利活用コンセプト

青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す



N=1,154 ※WEBアンケート、現地聞き取り調査の回答者のうち、「来訪した」と回答した人の属性



- ・「楽しい(260票)」、「うれしい(231票)」、「おどろき(154票)」が上位3つの印象となった。
- ・「おどろき」の理由のキーワードでは、「イベント-良い」、「駅前・街中-焚火」、「おもしろい-試み」、「出来る-空間」等が多く確認でき、社会実験での試みや歩行空間の拡大が印象を与えている。
- ・一方で、「困った(143票)」も次いで多かった。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

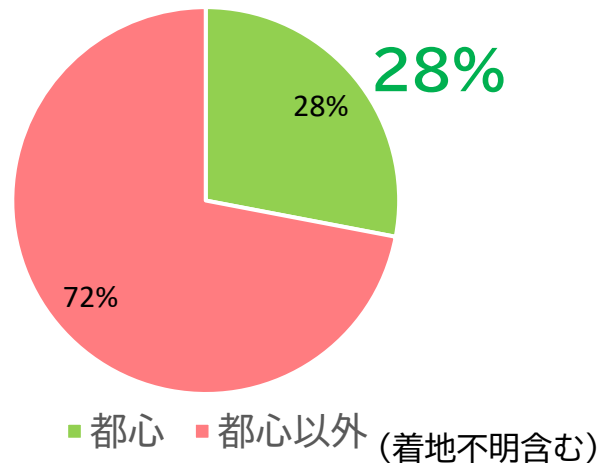
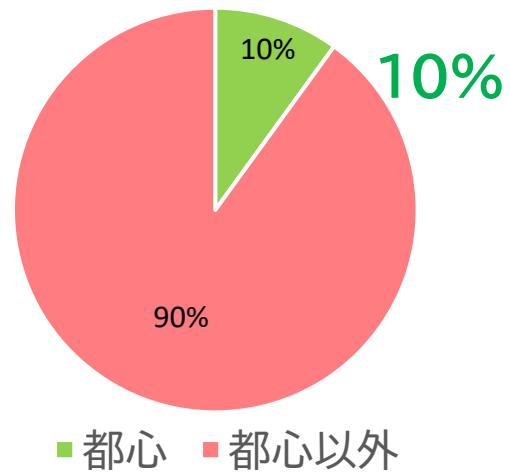
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証① 来訪者は「好印象」を持てたのか

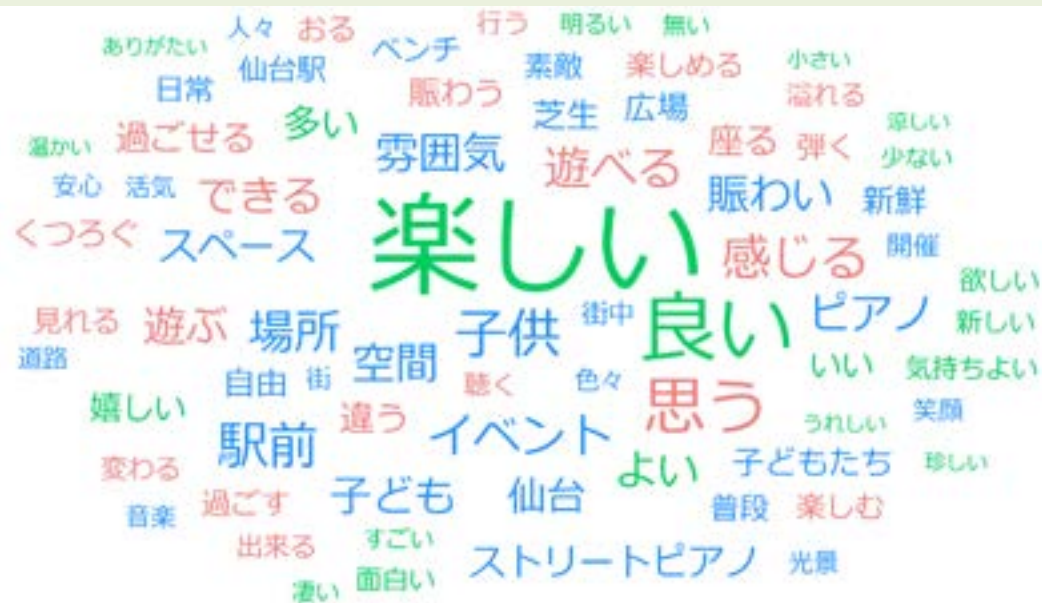
■ 子連れの方のトリップ (社会実験前)

子連れトリップの目的地 (休日・親の拡大係数で集計)

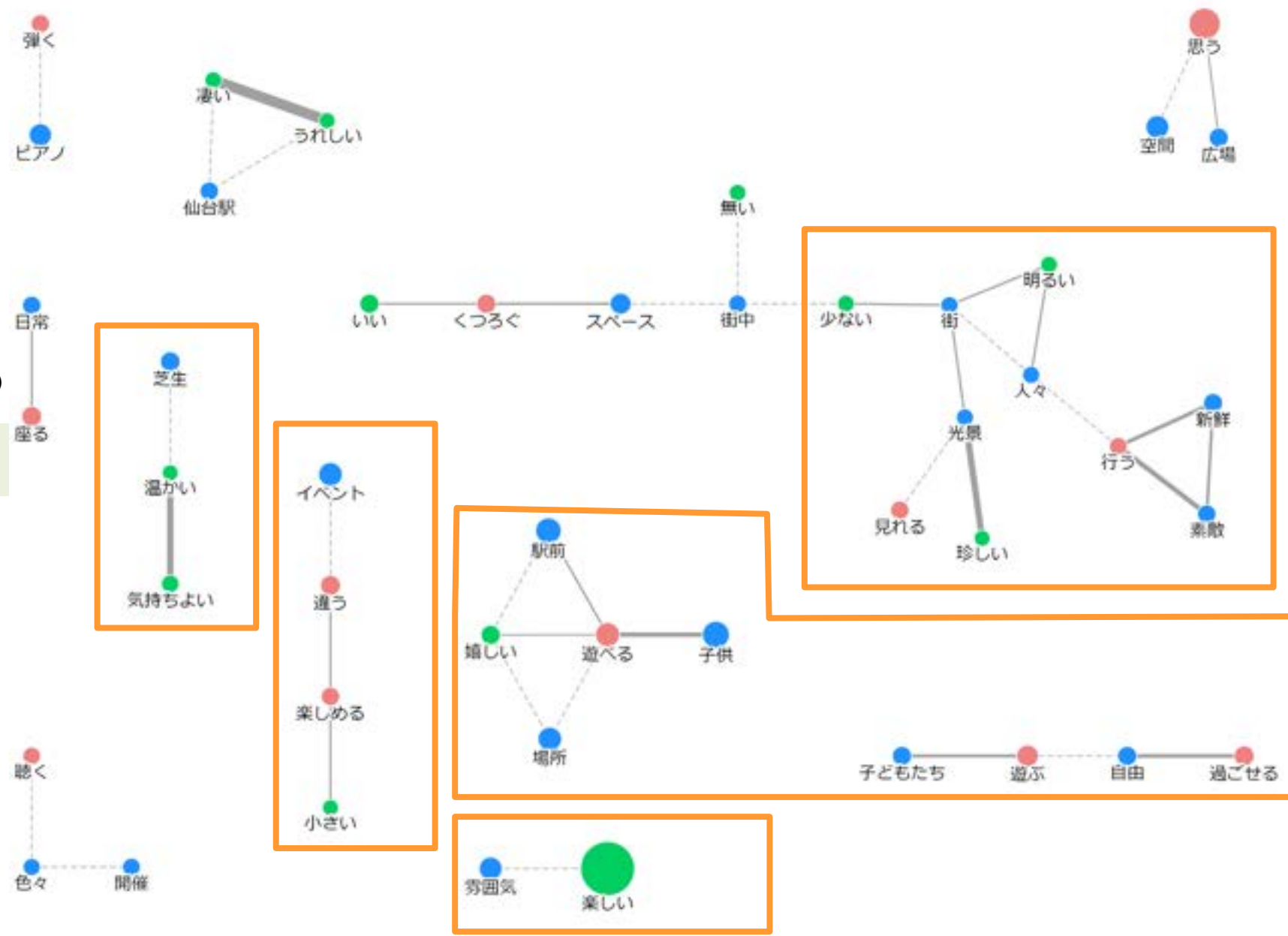
(参考) 全属性のトリップ目的地(休日)



→ 子連れの方は都心を目的地としていない傾向



■ 上位1位「楽しい」に対する回答理由の言語分類結果



・社会実験前について、子連れの方は他の属性と比較して都心を目的地としない傾向があったが、**社会実験期間中は、子連れの来訪者からも注目を集めた。**

→ イベントに対する評価や、子供が遊べること、楽しい雰囲気、芝生の心地よさ等、空間に対して多くの人に楽しい印象を与え、青葉通仙台駅前エリアで、「イベント-楽しめる」、「子供-遊べる」、「雰囲気-楽しい」、「明るい-光景-新鮮」、「芝生-気持ちいい」といった空間演出が図られたことが要因と考えられる。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

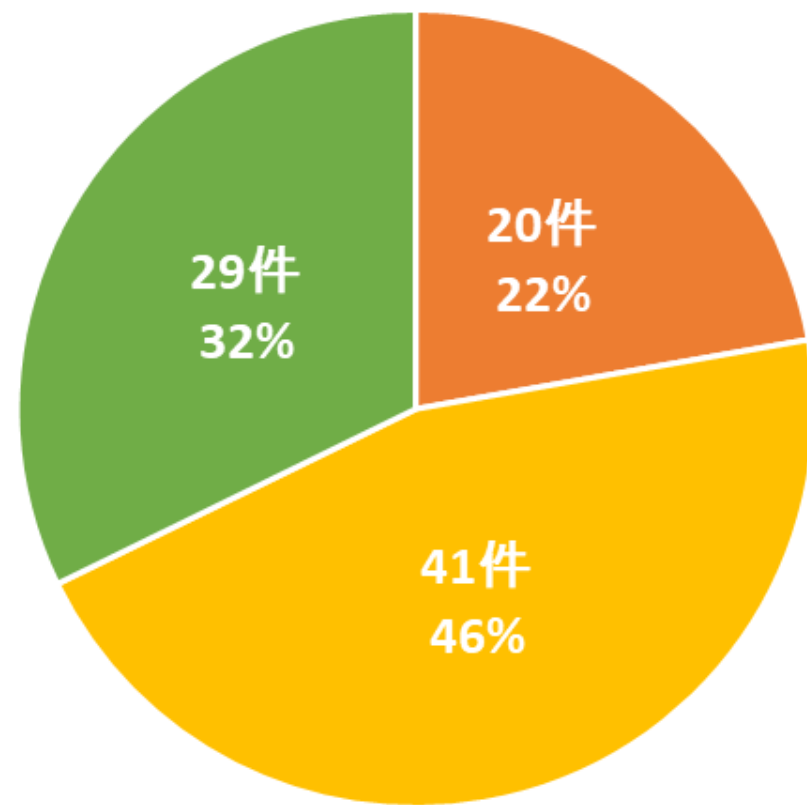
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証① 来訪者は「好印象」を持てたのか：利用者インタビュー調査(自由回答から分析した総合評価)

利用者インタビュー調査項目

- Q1: 今回の空間演出について、日常的に継続すると良いと思った点を詳しく教えてください
- Q2: 普段の仙台駅前がどのようになったら、友人にオススメしたり、仙台を好きになりそうですか？
- Q3: 普段と比較したときに、今回の社会実験で新たな気付きや出会いはありましたか？
- Q4: このまま青葉通以外でも過ごしてみようと思いましたが？

・Q1～Q4の回答を「ポジティブ」「中立」「ネガティブ」で設問毎に判定。4問中全問が「ネガティブ」だった場合は「ネガティブ」/2問以上が「ネガティブ」だった場合は「課題がありネガティブ寄り」/2問以上が「ポジティブ」だった場合は「課題はあるがポジティブ寄り」/4問中全問が「ポジティブ」だった場合は「ポジティブ」とした。



■ どちらとも言えない ■ ポジティブ ■ 課題はあるがポジティブ寄り

	件数
どちらとも言えない	20
10代	3
20代	3
30代	3
40代	2
50代	1
60代	2
70代	1
80代以上	2
不明	3
ポジティブ	41
10代	5
20代	9
30代	5
40代	8
50代	2
60代	4
70代	2
80代以上	1
不明	5
課題はあるがポジティブ寄り	29
10代	2
20代	2
30代	6
40代	7
50代	2
60代	2
70代	6
80代以上	1
不明	1
総計	90

・現地で利用者インタビュー調査をした90件のうち、明確な反対意見はなかった。年代による意見の偏りは少ないが、特に20代・40代にポジティブな回答が目立った。ポジティブ寄りだが懸念点を口にされる方は、30代・40代・70代に多い。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証①来訪者は「好印象」を持てたのか : 利用者インタビュー調査(どんな懸念点があったのか)

■「中立」「課題はあるがポジティブ寄り」だった回答の係り受け解析

名詞・形容詞		ネガポジ	スコア	出現頻度
道路 - 近い (否: 100.00%)	Q	ネガティブ	1.00	1 (否: 1)
日陰 - 欲しい	Q	ネガティブ	1.00	1
意味 - 無い	Q	ネガティブ	1.00	1
誰か - 入りやすい	Q	中立	1.00	1
いない - 入りづらい	Q	中立	1.00	1
バス乗り場 - 分かりにくい	Q	中立	1.00	1
建物 - 新しい	Q	ポジティブ	1.00	1
場所 - よい	Q	中立	0.75	2
オススメ - 難しい	Q	ネガティブ	0.67	1
ステージ - 難しい	Q	ネガティブ	0.67	1
共存 - 難しい	Q	ネガティブ	0.67	1
仙台駅 - 遠い	Q	ネガティブ	0.67	1
皆 - 遠い	Q	ネガティブ	0.67	1
定禅寺通り - 遠い	Q	ネガティブ	0.67	1
まちなか - 来やすい	Q	中立	0.67	1
営業時間 - 分かりやすい	Q	中立	0.67	1
色分け - 分かりやすい	Q	中立	0.67	1
安全 - 過ごしやすい	Q	中立	0.67	1
駅前 - 良い	Q	ポジティブ	0.64	8
居心地 - 悪い	Q	ネガティブ	0.50	1
空気 - 悪い	Q	ネガティブ	0.50	1
場所 - 少ない	Q	中立	0.50	1

駅前 - 少ない	Q	中立	0.50	1
駐車場 - 高い	Q	中立	0.50	1
カフェ - 少ない	Q	中立	0.50	1
カフェ - 高い	Q	中立	0.50	1
確率 - 高い	Q	中立	0.50	1
滞在時間 - 長い	Q	中立	0.50	1
場所 - ほしい	Q	ネガティブ	0.32	2
子ども達 - 楽しい	Q	ポジティブ	0.29	1
仮想空間 - 楽しい	Q	ポジティブ	0.29	1
バス停 - よい	Q	中立	0.25	1
統合 - よい	Q	中立	0.25	1
公共交通機関 - よい	Q	中立	0.25	1
子ども - 多い	Q	中立	0.22	1
車 - 多い	Q	中立	0.22	1
バス - 多い	Q	中立	0.22	1
おなか - 多い	Q	中立	0.22	1
年齢 - 広い	Q	中立	0.20	1
東口 - 広い	Q	中立	0.20	1
歩道 - 広い	Q	中立	0.20	1

使用ツール: ユーザーローカル
スコア抽出手法: TF-IDF法

・「道路-近い」「日陰-欲しい」「意味-ない」「いない-入りづらい(誰か-入りやすい)」「バス乗り場-分かりにくい」「建物-新しい」という言葉の連なりが多く出現。本社会実験での空間の使い方が日常化した場合の安全性や、飽きられて人がいなくなること、バス乗り場や周辺の建物との共存を課題と捉えている方が多い。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証①来訪者は「好印象」を持てたのか : 利用者インタビュー調査(世代別にみる評価されたポイント)

■10代～30代の自由回答の中に頻出するキーワードを分析

カテゴリ	詳細	年代				計
		10代	20代	30代		
用途	駅スグの場所で子どもと過ごす			3	3	6
	駅前で座ってゆっくりする	6	4	4	4	14
	待ち時間を快適につぶす	1				1
	通りすがり／ついでに気軽に立ち寄る			4		4
	友達と話す(隣に会話を聞かれない)	1	3			4
	地元で頑張っている人と出会う				1	1
雰囲気	仙台に来たと新鮮な気持ちになる				3	3
	うるさく勧誘・宣伝されない			1		1
	高いお金を払わなくても居ていい		2	3		5
	楽しげな感じ(笑顔が視界に入る)			2	1	3
環境	緑が視界に入る			1		1
	色合いが統一されている			1		1
	適度に広い(歩行者が気にならない程度)			1		1
	適度に明るい	1				1
	適度に人がいる		3	2		5
ツール	自転車専用道	1				1
	音を楽しめる(ピアノ含む)	2	1	1	1	4
	ゴミ箱			1		1
	木を使ったツール		1			1
	焚き火			1		1
	芝生	1	1	1	1	3

【こんな駅前ならもっと良いのに(回答より抜粋)】

- ・子どもを遊ばせるだけでなく、安心してお母さん同士でおしゃべり出来る
- ・くつろげるカフェがある
- ・SNS映えする
- ・テイクアウトできるお店が近くに多い
- ・雨の日、雪の日対策
- ・歩くだけでなく、イベントで立ち止まりたい
- ・建物にお尻を向けられている気持ちにならない
- ・面白いお店、美術館、地域の歴史を知れるものがすぐ行ける場所にある
- ・ホームレスがいない
- ・深夜バス待ちが怖くない
- ・ビジネスユースだけじゃなく、土日も来たくなる
- ・県外から来たときに発見や驚きがある
- ・公共をこうしたい、という強い意志が伝わる
- ・既にあるものをちゃんと使う
- ・ベンチを動かして自由に過ごしていいとパッと分かる
- ・週末だけ歩行者天国やPVのようなイベントがある
- ・目隠しがちゃんとしていて安心感がある

・懸念としては、車道が近いことによる安全性の観点、気候が悪い場合にどうするのかといった点、(地元の事情を考慮せずに)東京と同じようなものを作っても意味がないという点、イベントがない際に人がいないと入りづらい点が挙げられた。また、そもそも現状の駅前エリアにゆっくり休める場所がないことは多くの方が言及している。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証①来訪者は「好印象」を持てたのか：利用者インタビュー調査(居住歴が長い方が重要視するポイント)

■居住歴が5年以上の方の自由回答の中に頻出するキーワードを分析

カテゴリ	詳細	居住歴		
		5~10年	10年以上	計
用途	駅スグの場所で子どもと過ごす		7	7
	駅前で座ってゆっくりする		11	11
	待ち時間を快適につぶす	1	1	2
	通りすがり／ついでに気軽に立ち寄る		4	4
	土日などにイベントで集まる	1	3	4
	地元で頑張っている人と出会う	1	2	3
	お客様をおもてなしする		2	2
	高いお金を払わなくても居ていい		4	4
雰囲気	一体感がある・Welcome感がある(建物が連携しているなど)	1	2	3
	にぎやかな感じ(丸光～さくら野が元気だった頃のような)	1	9	10
	穏やかな感じ・あたたかみ(せかせかし過ぎない)		3	3
	適度に広い(歩行者が気にならない程度)		3	3
	適度に明るい		2	2
	緑が視界に入る(青葉通の風景を大切にしている)	1	3	4
	世界に誇れる・既視感がない		3	3
	ペDESTリアンデッキから眺めたくなる風景がある		2	2
	風情がある	1	1	2
環境	高齢でも危なくない、居場所がある		4	4
	バリアフリー		3	3
	炎天下・雨の日・雪の日もゆっくり出来る		6	6
	音を楽しめる(ラジオの音・ピアノ含む)	1	7	8
	交通費を抑えてアクセス出来る(乗り放題・安い駐車場等)		2	2
	車も不便なく使える		2	2
	車が少なく(排ガスが少ない)		3	3
ツール	自転車専用道		2	2
	地下街		2	2
	仙台らしいチェーンじゃないお店		2	2
	ちょい飲み処(仙台銀座・屋台村のような)	2	2	4
	ゴミ箱		2	2
	木を使っている		2	2
	芝生	1	7	8
	分かりやすい案内(バス停案内・封鎖案内・イベントマップ・OKサインなど)		5	5

【こんな駅前ならもっと良いのに(回答より抜粋)】

- ・駅前は大人数しかいない。子どもが過ごせるところがあるのが良い。
- ・通りすがりの人が立ち寄りやすい。
- ・ストリートピアノを日常的に置いてほしい。海外みたいに。
- ・宮町のように文化があって高齢者もまっすぐ歩ける作りが良い。
- ・歩いている人と近いと気になるので、今回みたいに少し分かれていると良い。
- ・ペDESTリアンデッキ上から見て、面白がりたい。
- ・出張組と待ち合わせてそのまま快適に打ち合わせられる。
- ・杜の都なので、駅前にもっと緑が必要。
- ・もっとバリアフリーだと良い。案内が少ないし、経路も少ない。
- ・家族で楽しめる場所。祖父母含めて楽しめるが良い。
- ・屋台があったら良い！たこやき、食べ物、飲み物。
- ・駅から降りた瞬間に「仙台に帰ってきた！」という気持ちになりたい。
- ・既視感がない、分かりやすいシンボルがある駅前。
- ・今の駅前は完全に交通用の広場なので、人に優しいといい
- ・さくら野・丸光のようなお店があったらよい。潰れて寂しい。
- ・普段から歩いているけど、楽しい風景はない。もっと上品なストリートになると良い。
- ・バス停なくすなら、市営と他のバス停統合したらよい

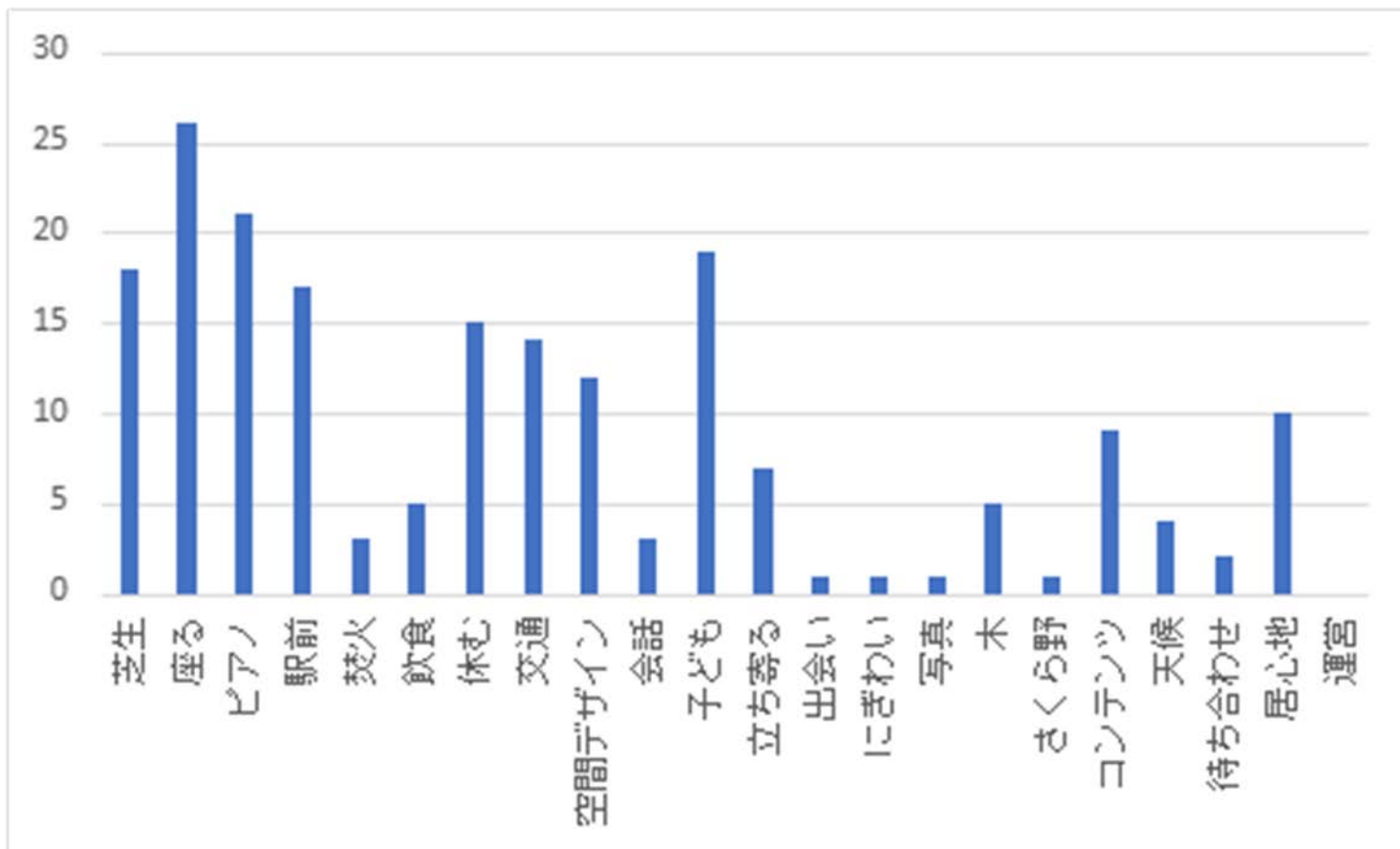
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証① 来訪者は「好印象」を持てたのか：利用者インタビュー調査

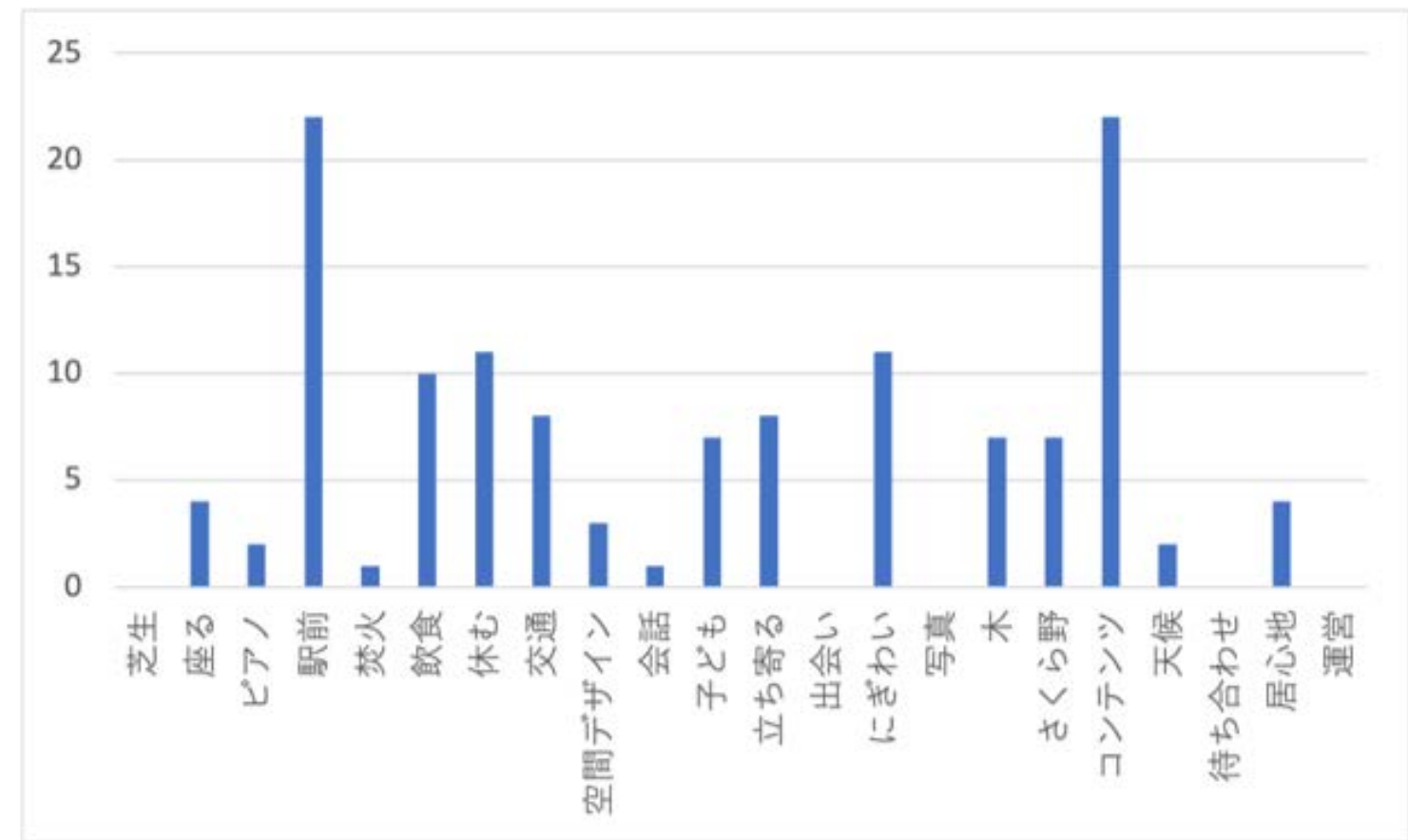
■ キーワード数分析

今回の空間演出について、日常的に継続すると良いと思った点を詳しく教えてください。



- ・子どもが遊べる場所、座れる場所、ピアノ、芝生に関する意見が多い。芝生が多かった理由としては、自然を感じられる要素であることが読み取れた。焚火についてもポジティブな意見が多かったが、3件に留まった。
- ・ネガティブな意見は5件で交通に関するものが3件ある。

普段の仙台駅前がどのようなになったら、友人にオススメしたり、仙台を好きになりそうですか？



- ・飲食に関する意見が多く、子供を遊ばせながら飲食を楽しめる場所などの意見が見られた。駅前でのイベントの開催を求める意見も見られた。
- ・一方、現在の状況に対するネガティブな意見としては、案内がなく、方向性などがわかりづらい、休めるスペースが無いといった街のホスピタリティに関する意見や、駅前に商業施設がない、駅前に楽しい風景がないなど賑わいに関する意見が見られた。

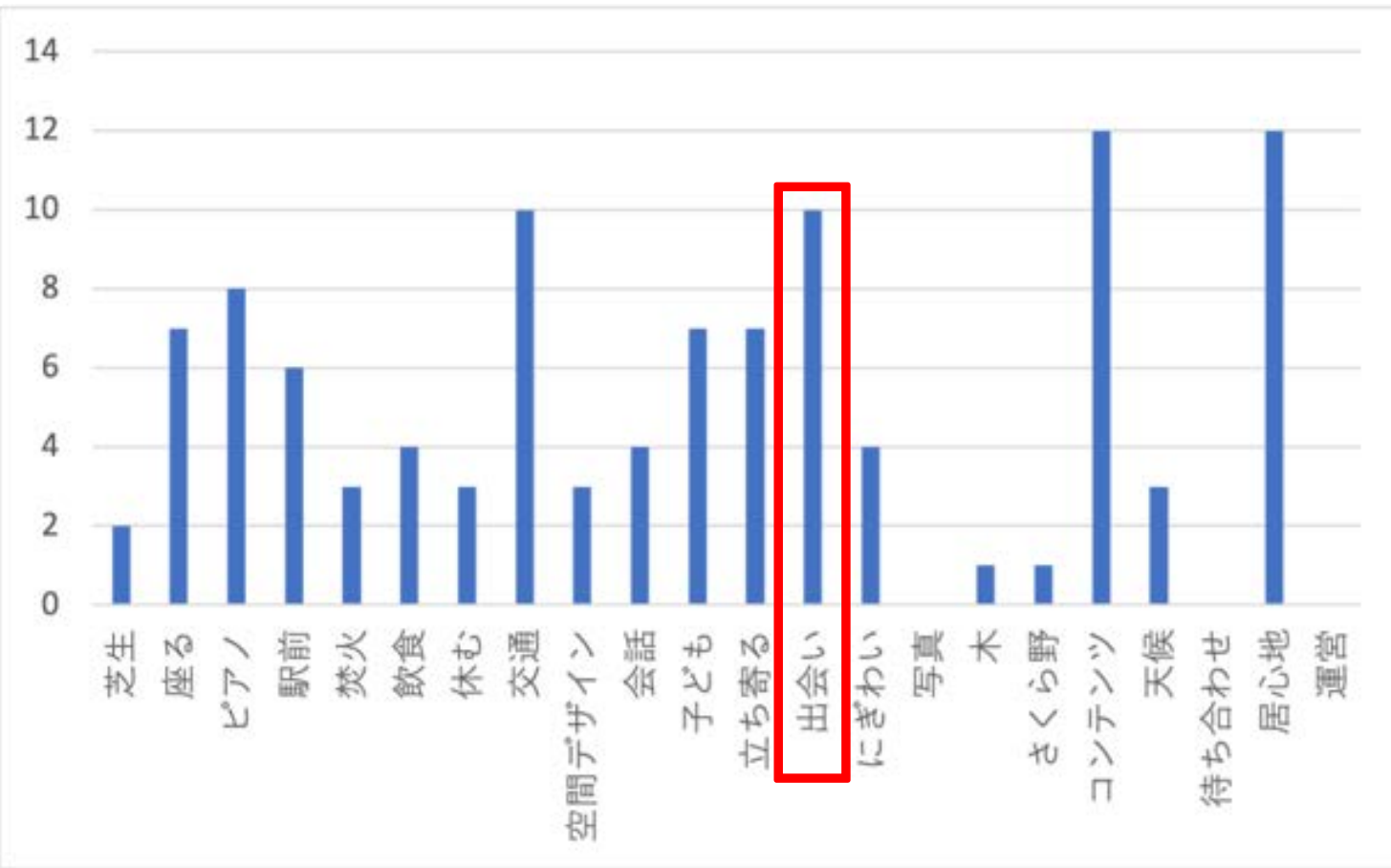
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

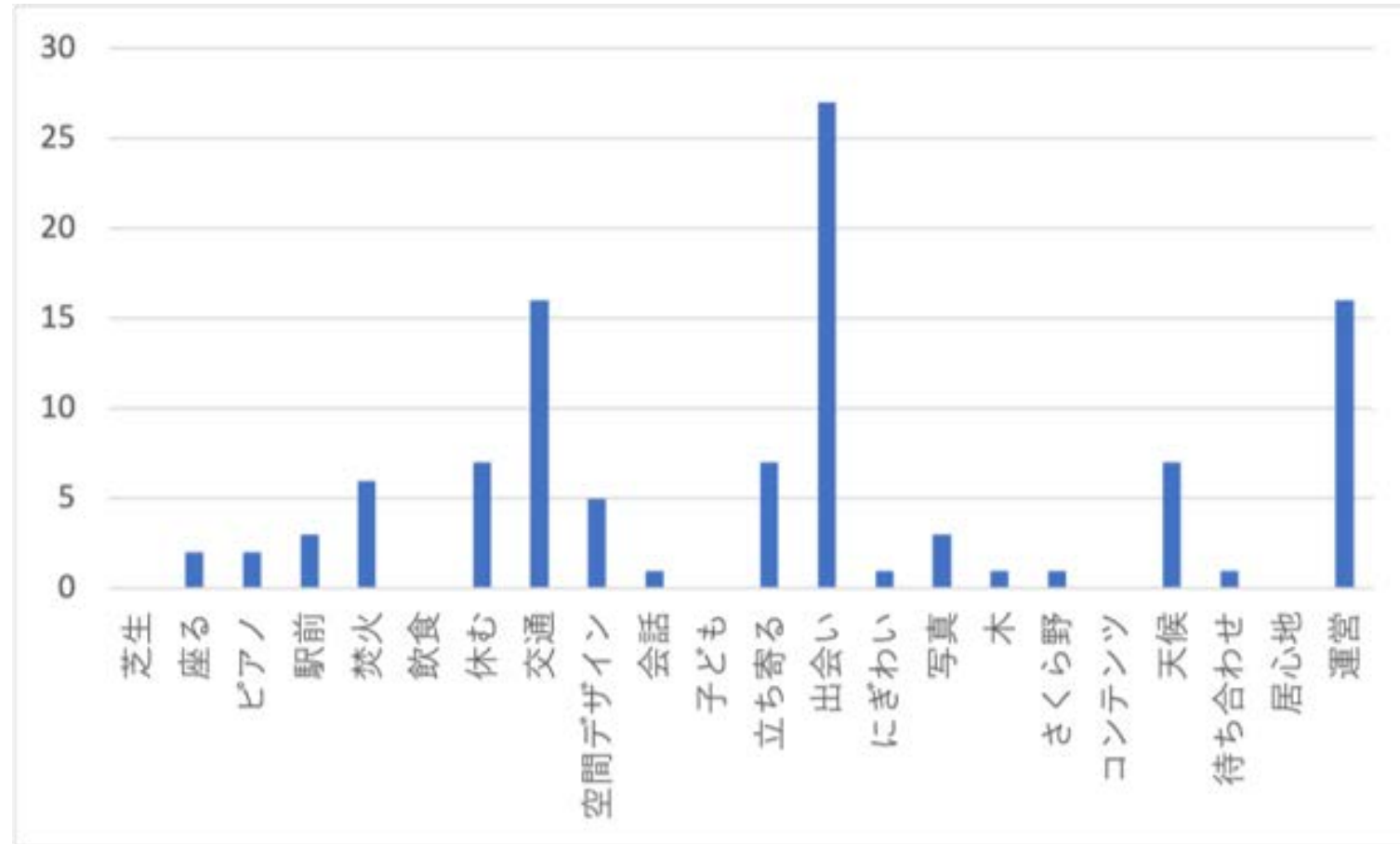
検証① 来訪者は「好印象」を持てたのか：利用者インタビュー調査

■キーワード数分析

普段と比較したときに、今回の社会実験で新たな気づきや出会いはありましたか？



このまま青葉通でも過ごしてみようと思いましたか？



- ・休める場所(座れる場所)、子どもが遊べる環境があることの良さに関する意見が見られた。
- ・一方で、座る場所に関しては、空気がきれいなところでないと座りたくないという意見もあった。
- ・本実験空間を通じて、出会いがあったという意見も10件見られた。

- ・社会実験によって、高いお金を払わずとも休憩できる場所を確保でき、行動範囲が広がったという意見・にぎわいによって歩く楽しさが上がり行動に影響したという意見が多く見られた。実験空間を中継地点としてついつい買い物をしてしまったという声も確認できた。
- ・一方で、青葉通以外を散策しても「仙台らしいお店が見つからない」「せわしない」ために回遊しない、という意見も見られた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

① 視点1 仙台の顔としてのエリア

- ・ 仙台で暮らし、働く人にとってのシビックプライドについては、「若い世代世代(10~30代)」にとっては良い評価を得られた一方で、「自家用車」や「市内路線バス」などの交通手段利用者や「居住歴の長い方」にとっては、やや低い評価となった。

→これまで仙台駅周辺にはなかった「子どもの遊び場」や「交流場所」、「まちなかの憩いの場」が創出された結果、若い世代や市外の来訪者からの高い評価につながった。

→交通面に配慮した利活用空間の検討を行う必要がある。

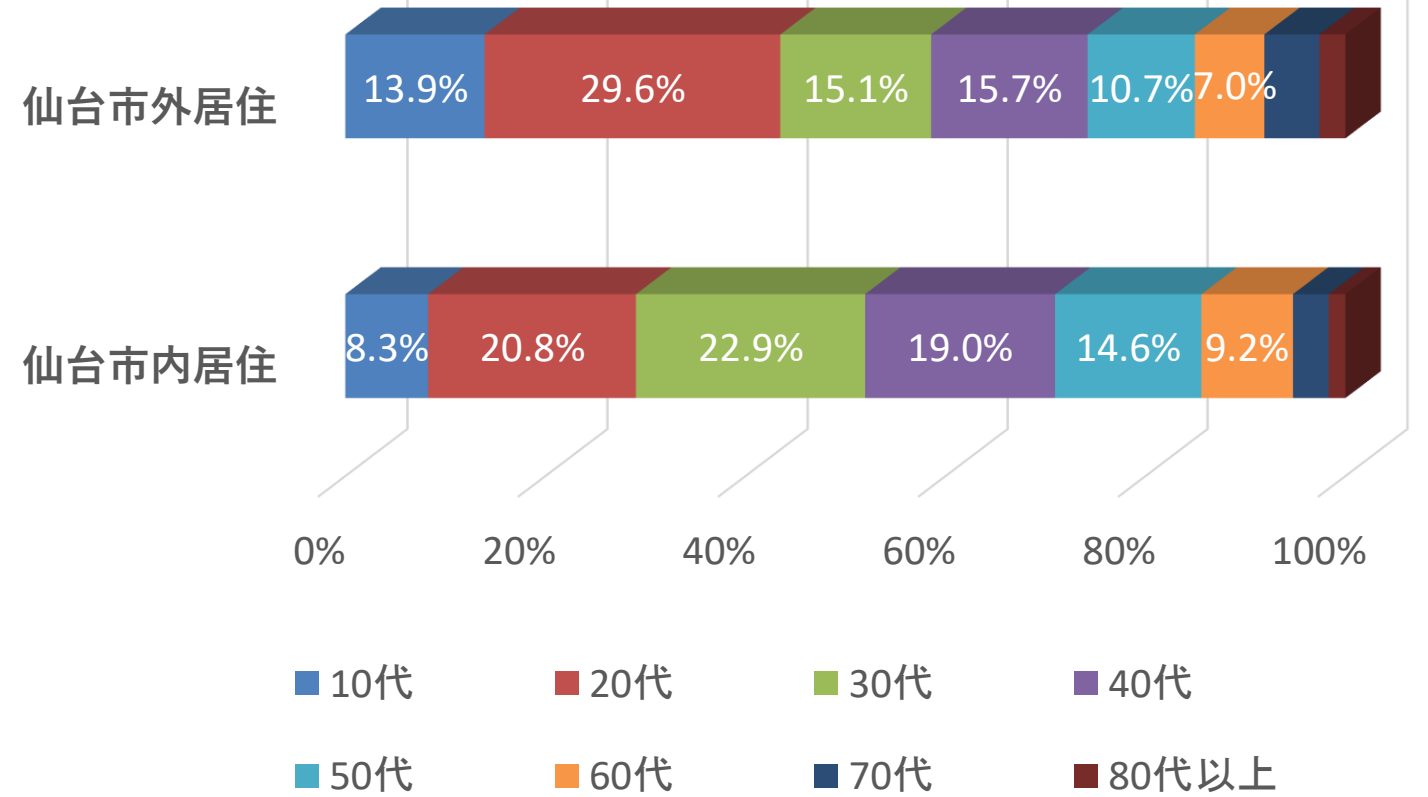
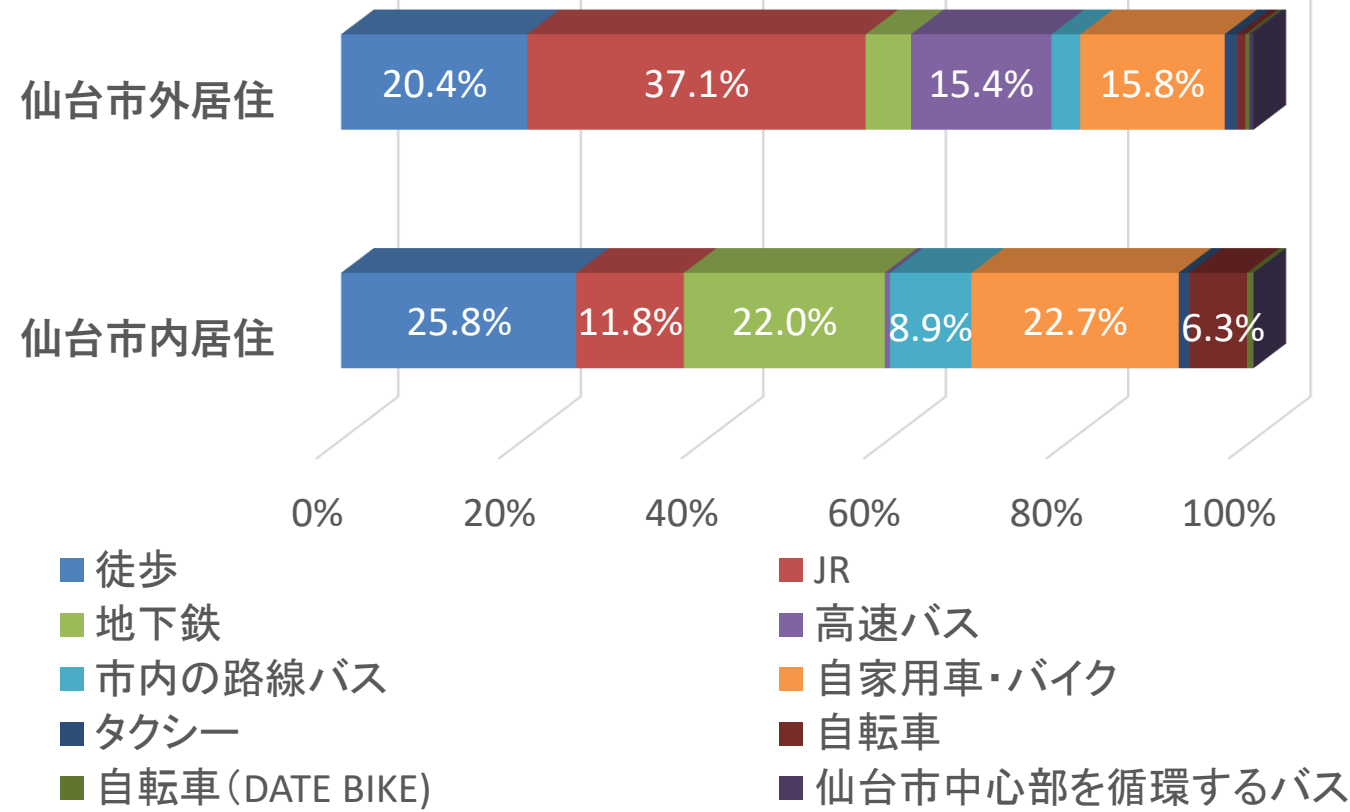


エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

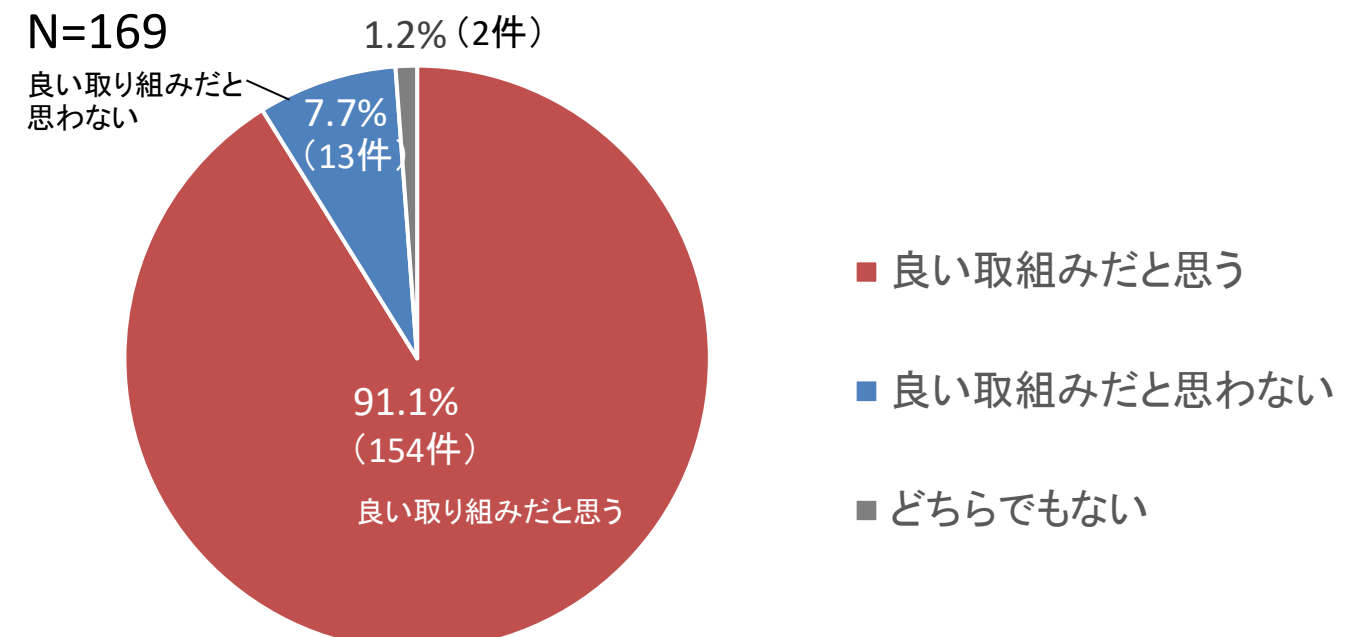
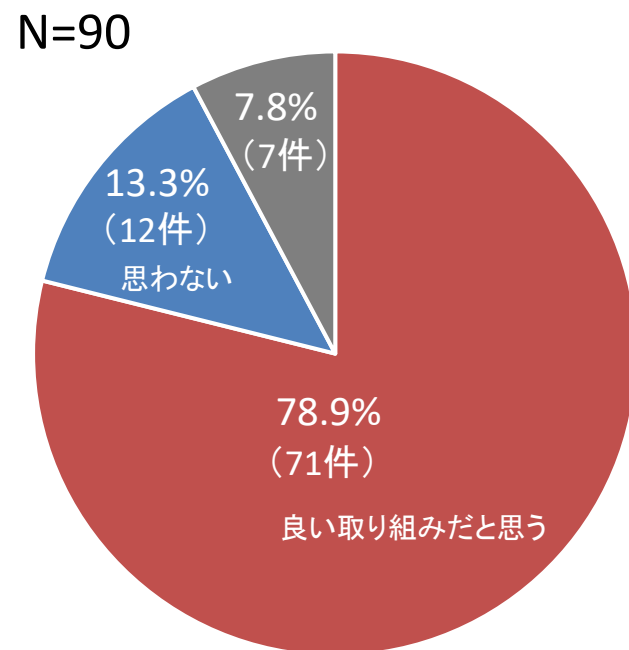
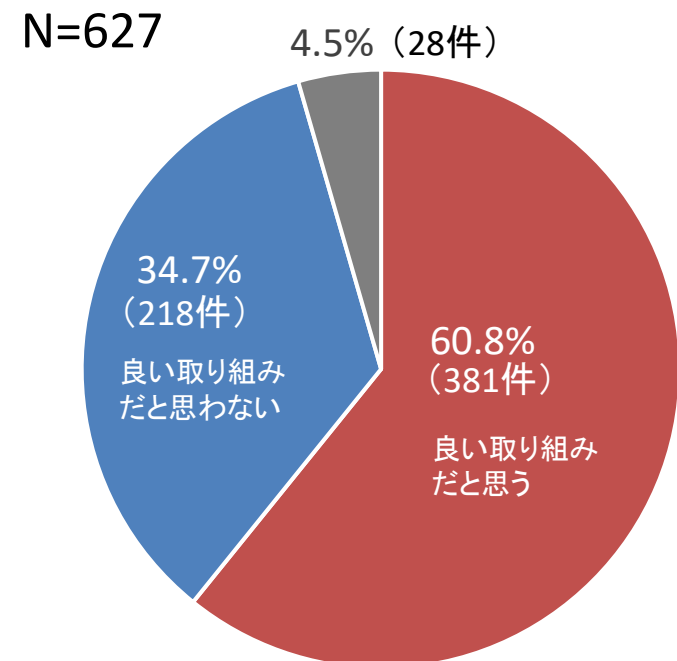
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

検証② 仙台で働く、暮らす人はシビックプライド(場所に対する誇り)を持てたのか

■ 市内居住者と市外居住者の取組み評価の差に関する要因



■ 市内居住者の居住歴別社会実験評価



仙台市の居住歴 (10年以上)

仙台市の居住歴 (5~10年)

仙台市の居住歴 (5年未満)

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。



① 視点1 仙台の顔としてのエリア

・仙台の顔としての認知度については、**普段来訪頻度の高い人も低い人もいずれも社会実験(利活用空間の空間の取組み)に対する関心の高さが伺え、日常行動にも変化(通行量の増加)をもたらしていた。**

→社会実験に対する関心の高さから、普段は来訪目的の対象地にならなかったが青葉通仙台駅前エリアが、人々の目的地へと変化し、地域の新たな流れを生む拠点となる可能性が伺える。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈通りの認知度〉青葉通の認知度を上げる

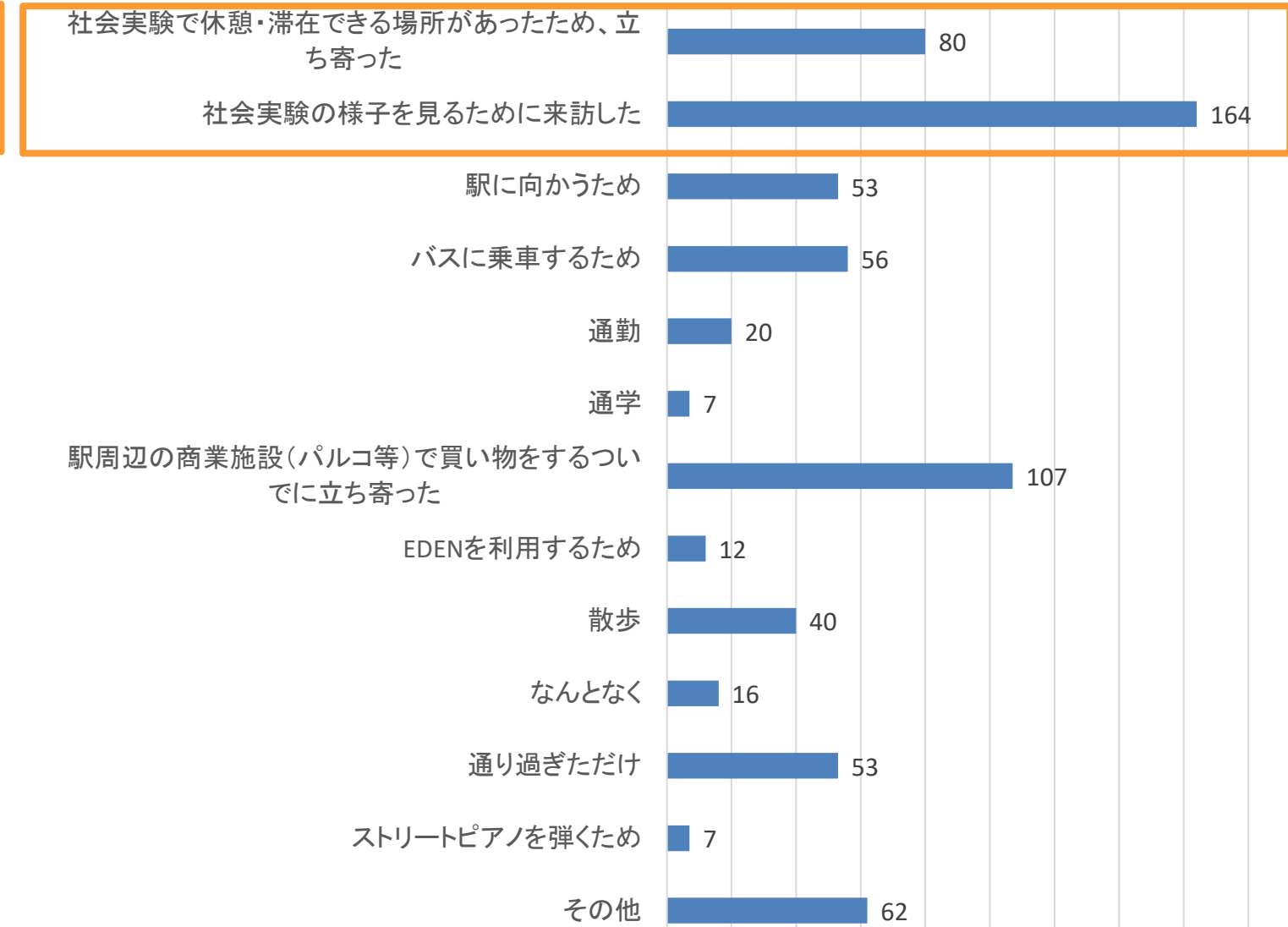
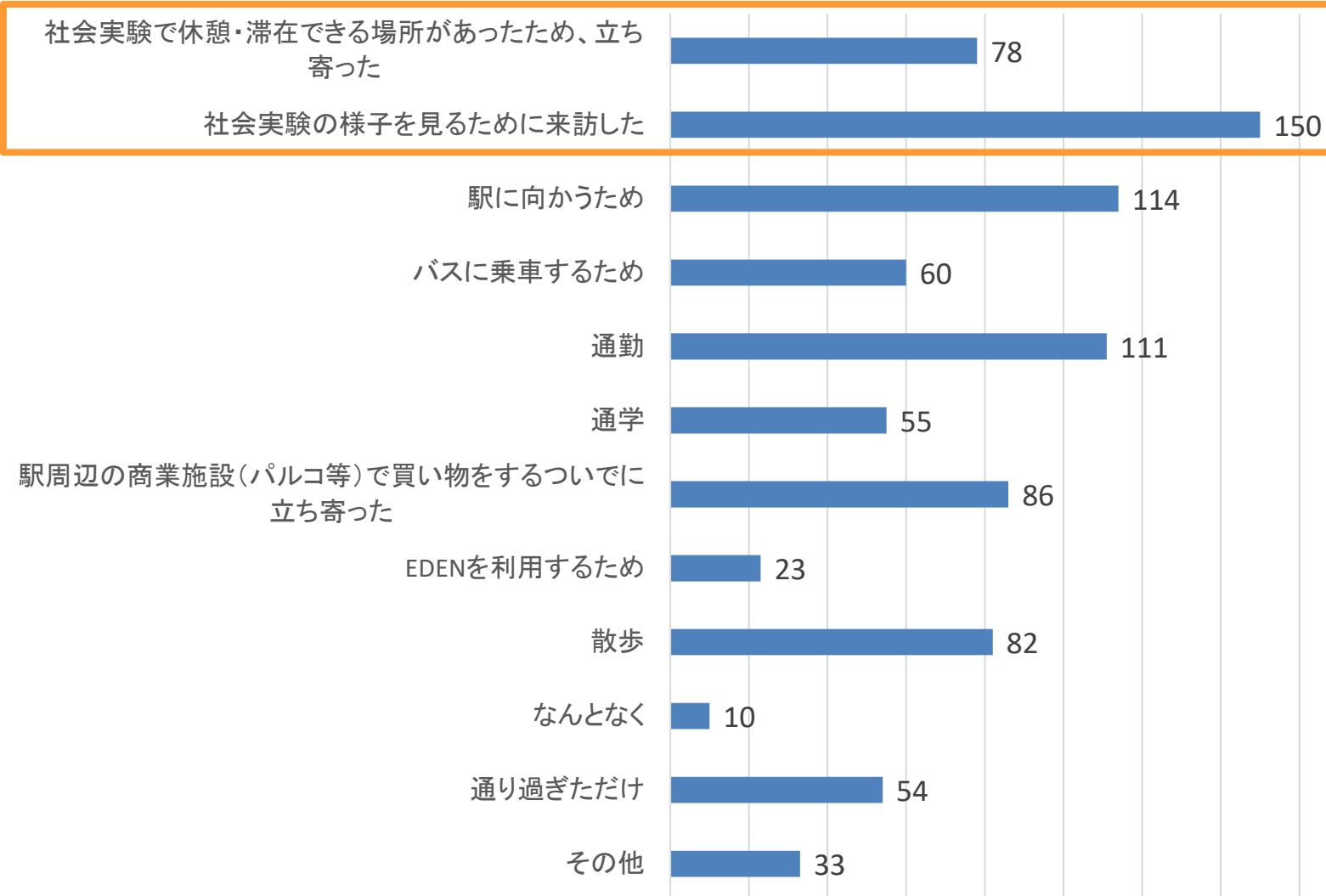
検証①社会実験の認知度を把握(日常利用者もしくは非日常利用者にどの程度認知されたのか)

青葉通への来訪頻度が週1回以上
× 社会実験期間の来訪目的

青葉通への来訪頻度が月に2~3回未満
× 社会実験期間の来訪目的

N=548

N=520



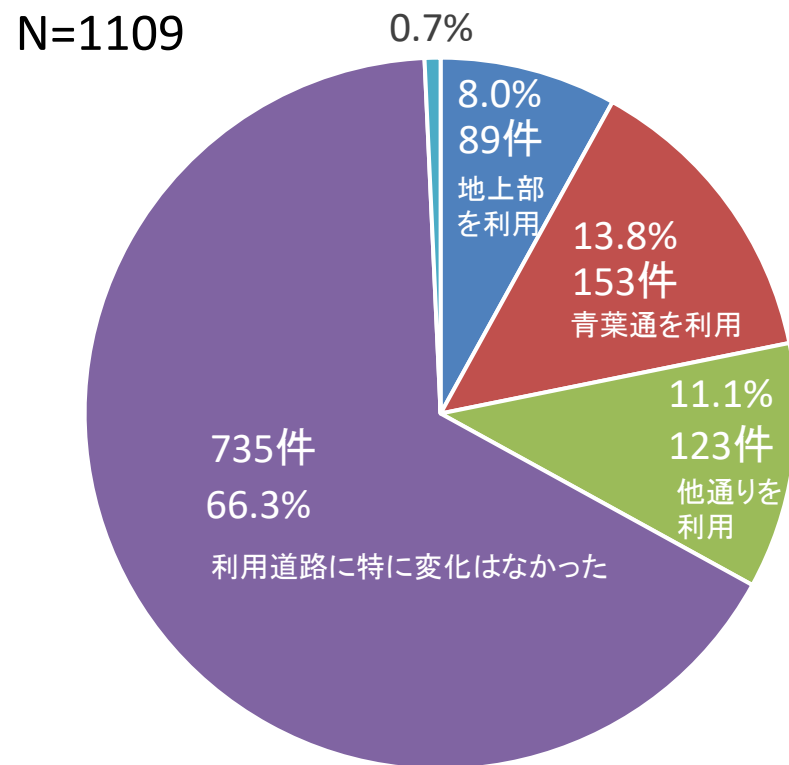
- ・来訪頻度が多い方(週1回以上)および来訪頻度が低い方(月に2~3回)の双方ともに、「社会実験の様子を見るため(認知して)」に来訪した方が最も多かった。
- ・来訪頻度の多い方および少ない方の双方に、一定程度社会実験の告知が響いていた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

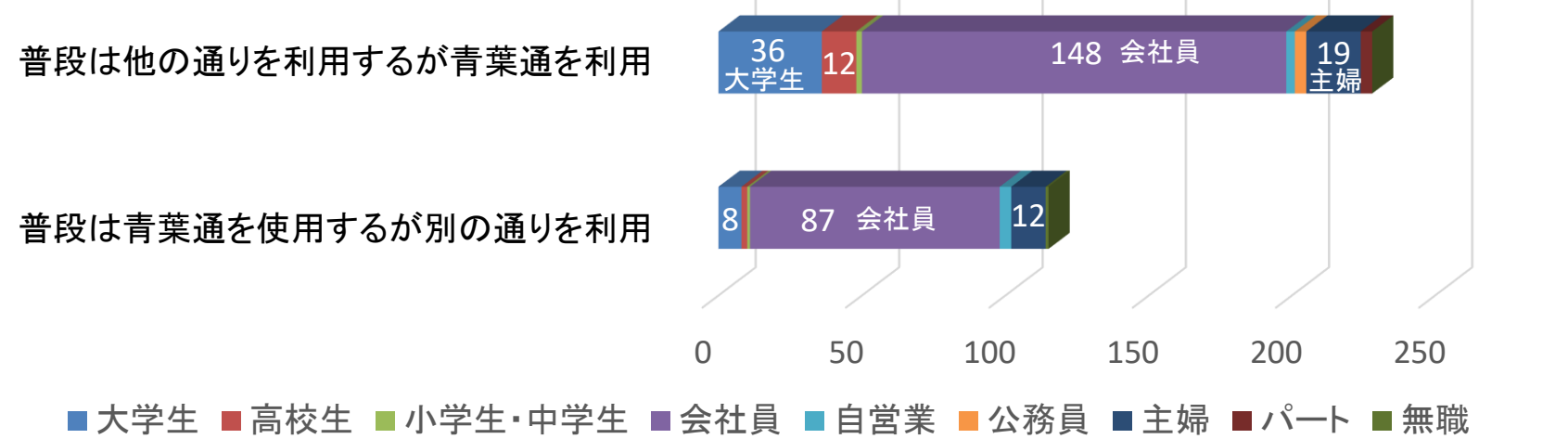
目指す姿:〈通りの認知度〉青葉通の認知度を上げる

検証② 日常的な通行(通勤・通学)に変化をもたらしたのか、把握

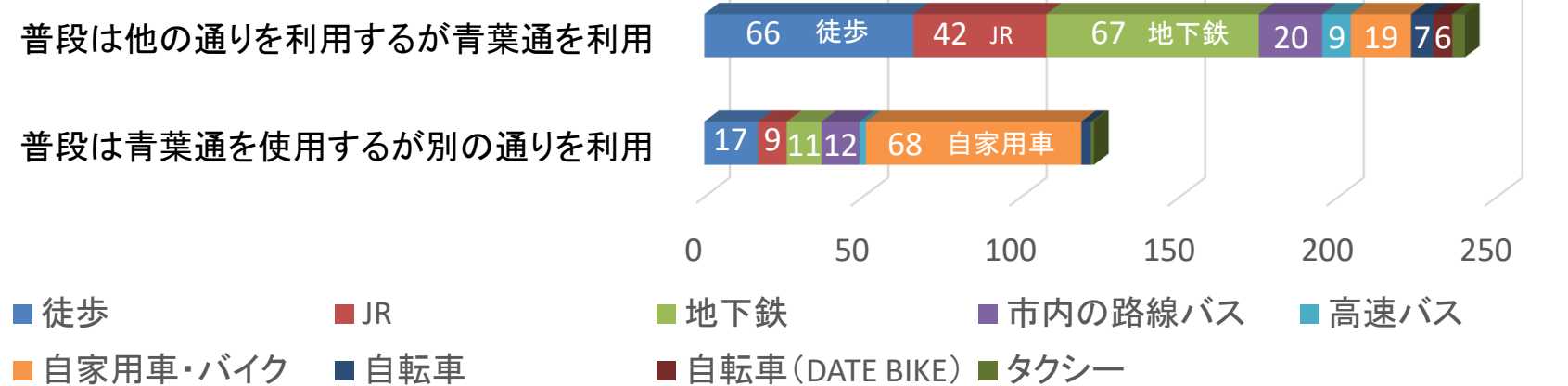


- 日頃は地下道を通行しているが、今回は地上部(青葉通)を利用した
- 普段は他の通りを通行しているが、青葉通を利用した
- 普段は青葉通を通行しているが、他の通りを通行した
- 利用経路に特に変化はなかった
- その他

■ 社会実験期間中に「他の通り等から青葉通を通行した人」と「青葉通を避けた人」の職種内訳



■ 社会実験期間中に「他の通り等から青葉通を通行した人」と「青葉通を避けた人」の交通手段別内訳



- ・「普段青葉通を通行しない人(地下道や他の通り)」が社会実験期間中に通行した人は**21.8%**であった。
- ・一方で、「普段青葉通を通行している人」が社会実験期間中に、他の通りを通行した人は**11.1%**と、**約10%増**となっている。
- ・職種別にみると、増加したのは「**高校生**」や「**大学生**」であり、主に減少した職種は「**社会人**」であった。
- ・来訪手段に着目すると、社会実験期間中に「普段青葉通の通行避けた人」の多くは、交通制限のあった「**自家用車の利用者**」であった。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

① 視点1 仙台の顔としてのエリア

- ・来訪者の9割は回遊し、そのうちの約6割は徒歩・公共交通機関で来訪。また、滞在環境創出により「休めることで他のエリアに行きやすくなった」等の意見は寄せられたが、人流ビッグデータからは回遊性向上につながる影響は確認できなかった。

→社会実験来訪者の9割は回遊しており、アーケードや藤崎方面、市役所方面にも一定数回遊しているが、人流ビッグデータの結果では実験前と実験中での変化は見られない。回遊性向上のためには、周辺エリアとの連携が必要であると考えられるが、プレイヤーはコンテンツの実施に向けた準備に労力がかかることから、運営側にて連携先の相手方と十分な時間的余裕を持ち、検討できる体制が必要である。

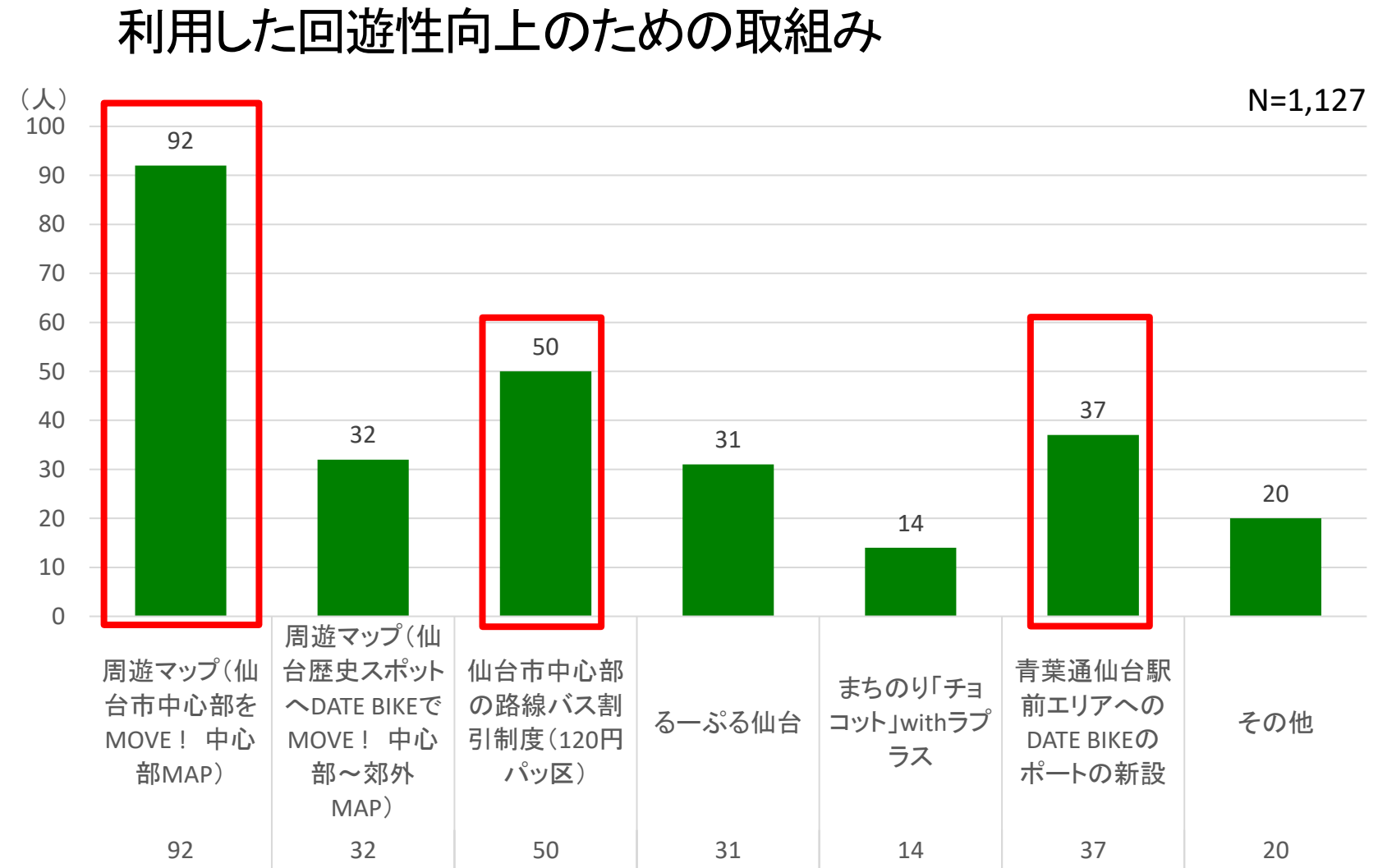
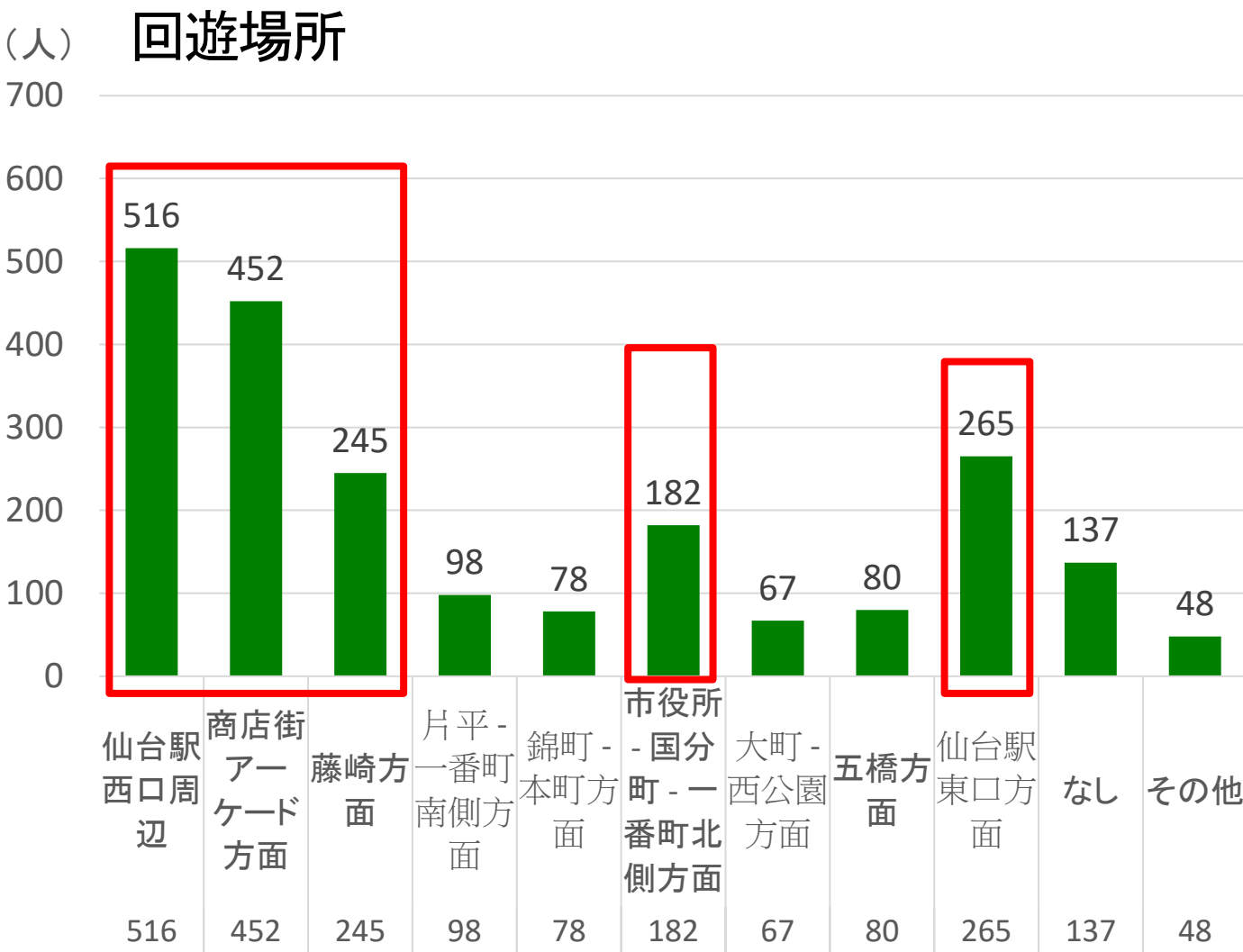


エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈導く(回遊性)〉駅や他エリアから青葉通への動線を増やす

検証④青葉通駅前エリアから他のエリアへの回遊が生まれたか、把握



- ・青葉通駅前エリアから、他エリアへの回遊状況を見ると、**対象地周辺**が多く、効果的な回遊手段についても**市中心部の「周遊マップ」**や**「路線バス割引」**、「DATEBIKE」利用が多い。
- ・来訪場所別の交通手段では、いずれも場所も**「徒歩」**であり、また回遊目的としても**「買い物」**が多いことから、青葉通における歩行空間拡大や本社会実験のような休憩場所等を設けることで、**周辺エリアの回遊の起点となるポテンシャルがある**と考えられる。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈導く(回遊性)〉駅や他エリアから青葉通への動線を増やす

検証①青葉通駅前エリアから他のエリアへの回遊が生まれたか、把握

あり方検討に向けた動向を踏まえた現状の確認・整理

【都心の回遊性】

・仙台駅前からの徒歩による移動距離をみると、500m(東二番丁以东)以下のトリップが平日休日ともに約半数

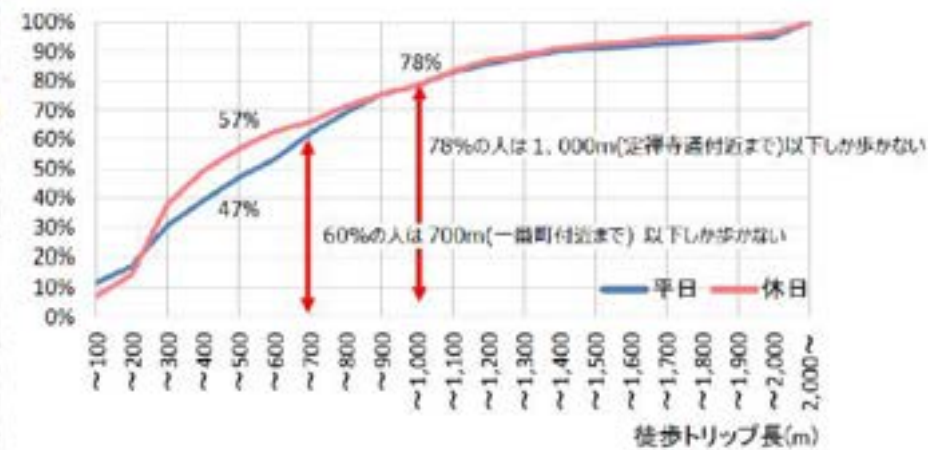


図 3-379 仙台駅前の小ゾーンからの徒歩トリップ長さ累積密度分布

出典:第5回仙台都市圏パーソントリップ調査(2017) 3-270



・第2回WG資料p.16より、都心の回遊行動では、東二番通以东に留まる実態がみられたが、次ページの本社会実験結果をみると、「商店街アーケード方面」や「藤崎方面」、「市役所-国分町-一番町北側方面」の回遊行動も一定数みられた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈導く(回遊性)〉駅や他エリアから青葉通への動線を増やす

検証①青葉通駅前エリアから他のエリアへの回遊が生まれたか、把握

あり方検討に向けた動向を踏まえた現状の確認・整理

【都心の回遊性】

・都心への来訪手段が鉄道やバスなど公共交通の立ち寄り箇所数が多く、自動車での来訪者は特に立ち寄り箇所数が少ない

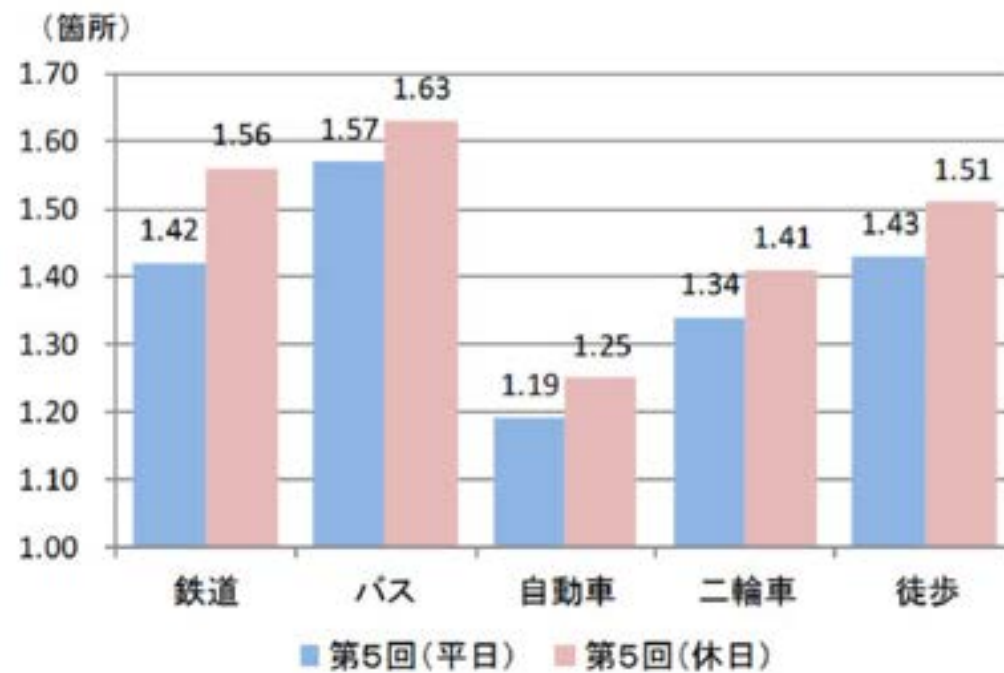
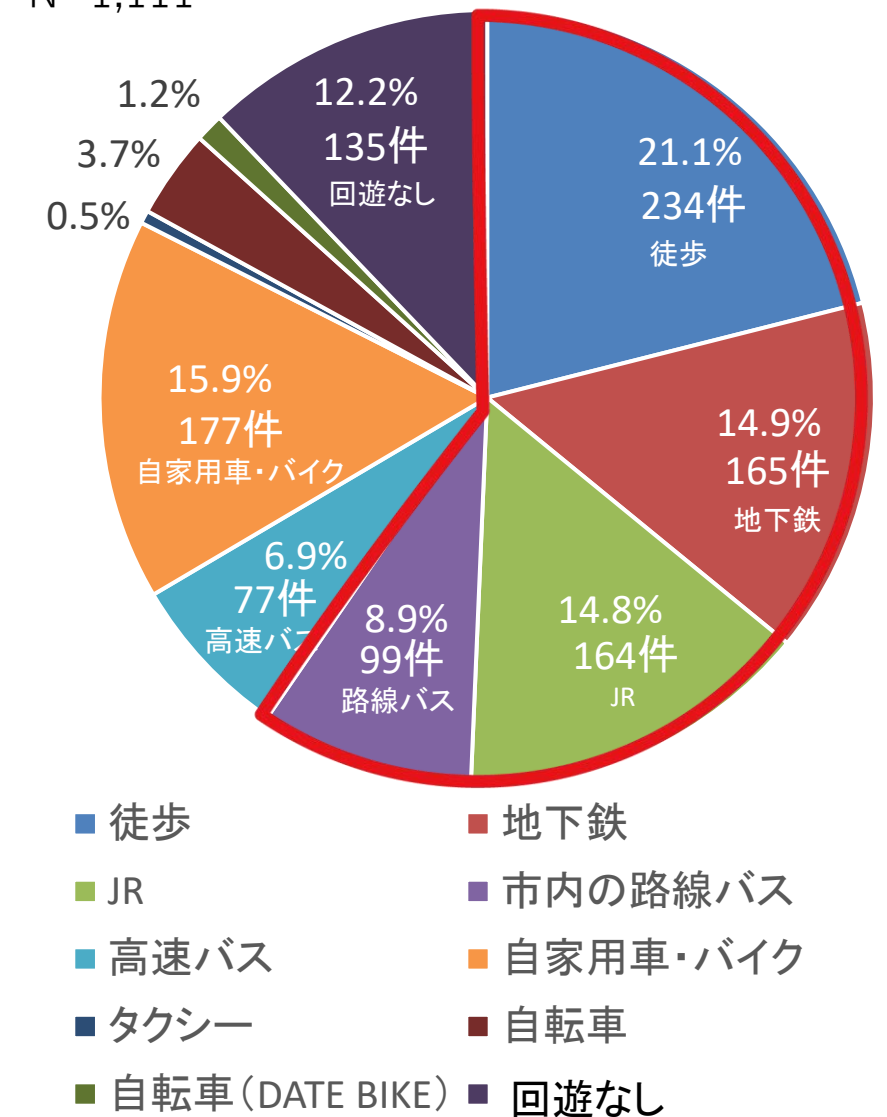


図 3-373 都心来訪手段別の都心内平均立ち寄り箇所数 (私事目的)

出典: 第5回仙台都市圏パーソントリップ調査(2017) 3-265

■回遊有無と来訪手段

N=1,111



第2回WG資料p.17より、都心に公共交通や徒歩で来訪した方は、自動車で来訪した方に比べ立ち寄り箇所数が多く、回遊性を生み出していた。

→本社会実験では、来訪者の9割が回遊しており、6割程度の方が「徒歩・公共交通」で来訪者していた

→回遊した方の回遊手段は「徒歩」が多くをしめる。

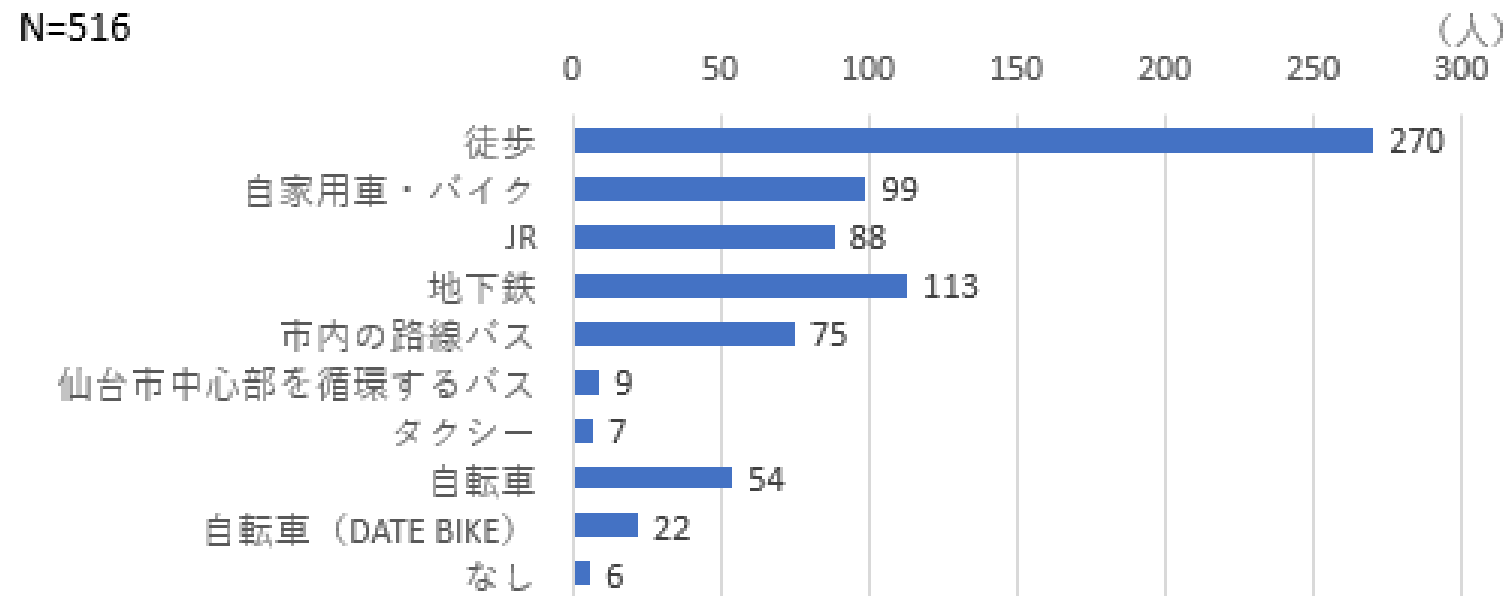
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

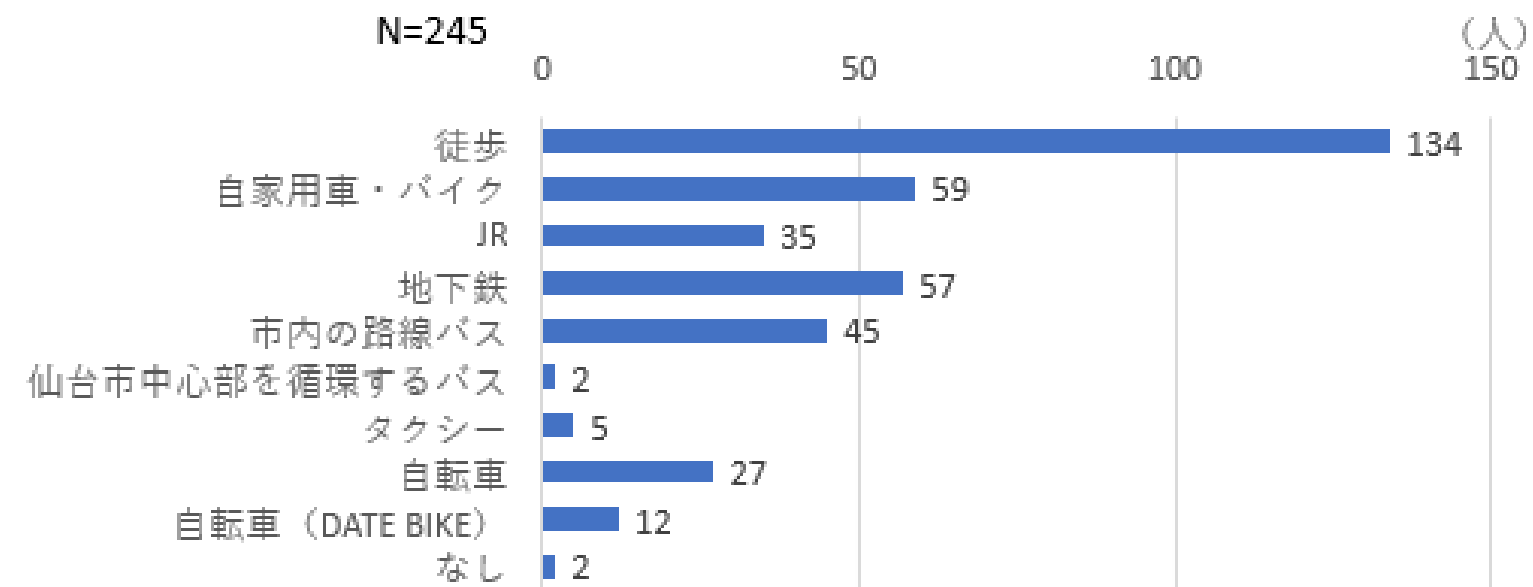
検証①青葉通駅前エリアから他のエリアへの回遊が生まれたか

■回遊場所別の回遊手段

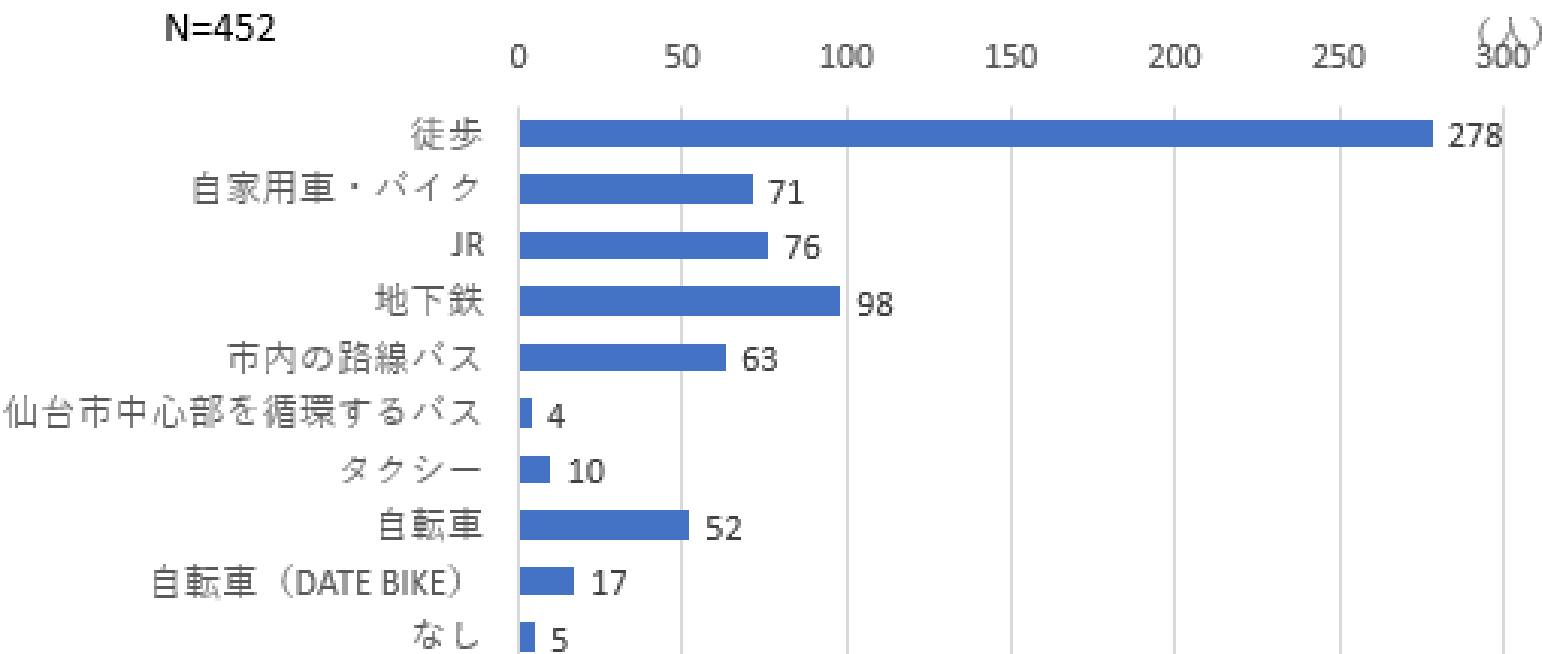
回遊場所（仙台駅西口）と回遊手段



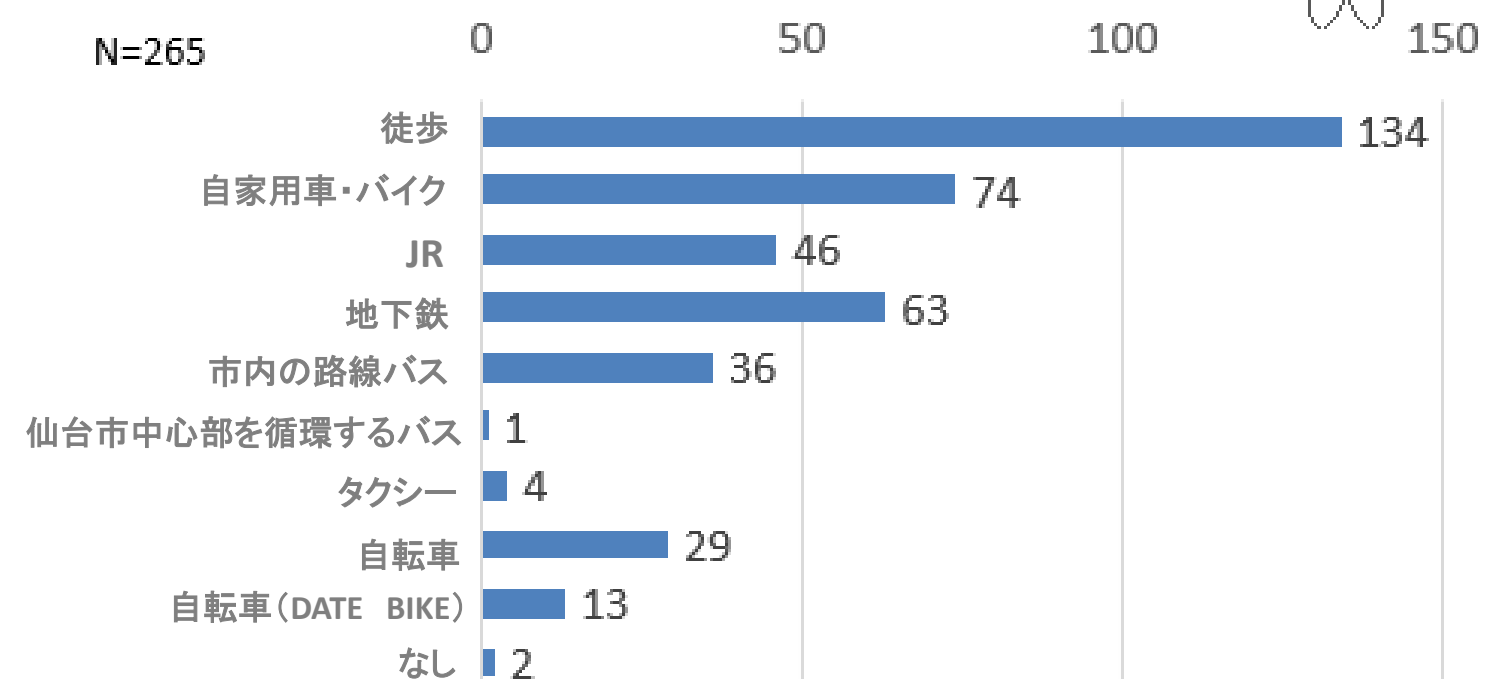
回遊場所（藤崎方面）と回遊手段



回遊場所（商店街アーケード方面）と回遊手段



回遊場所（仙台駅東口方面）と回遊手段



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

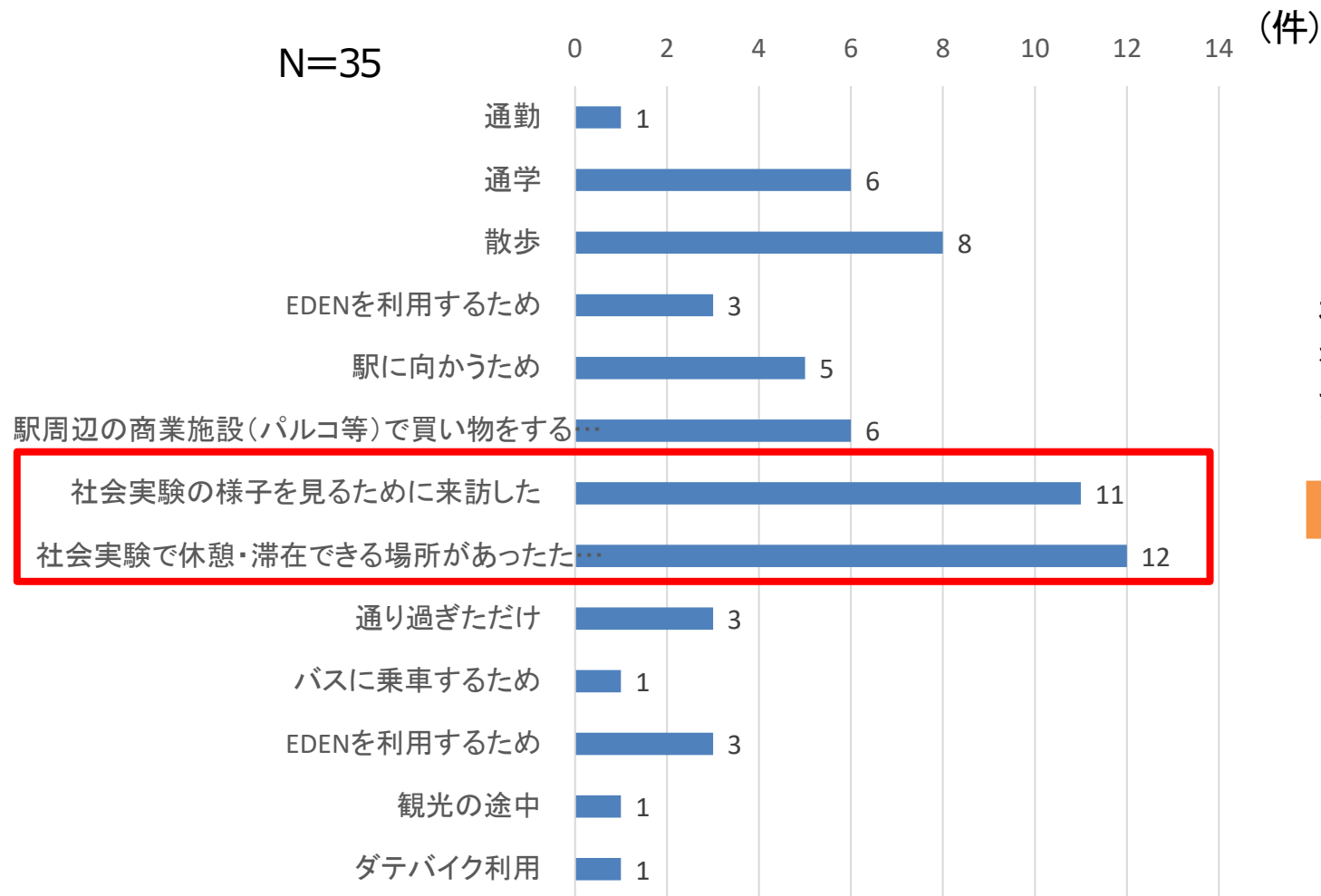
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈導く(回遊性)〉駅や他エリアから青葉通への動線を増やす

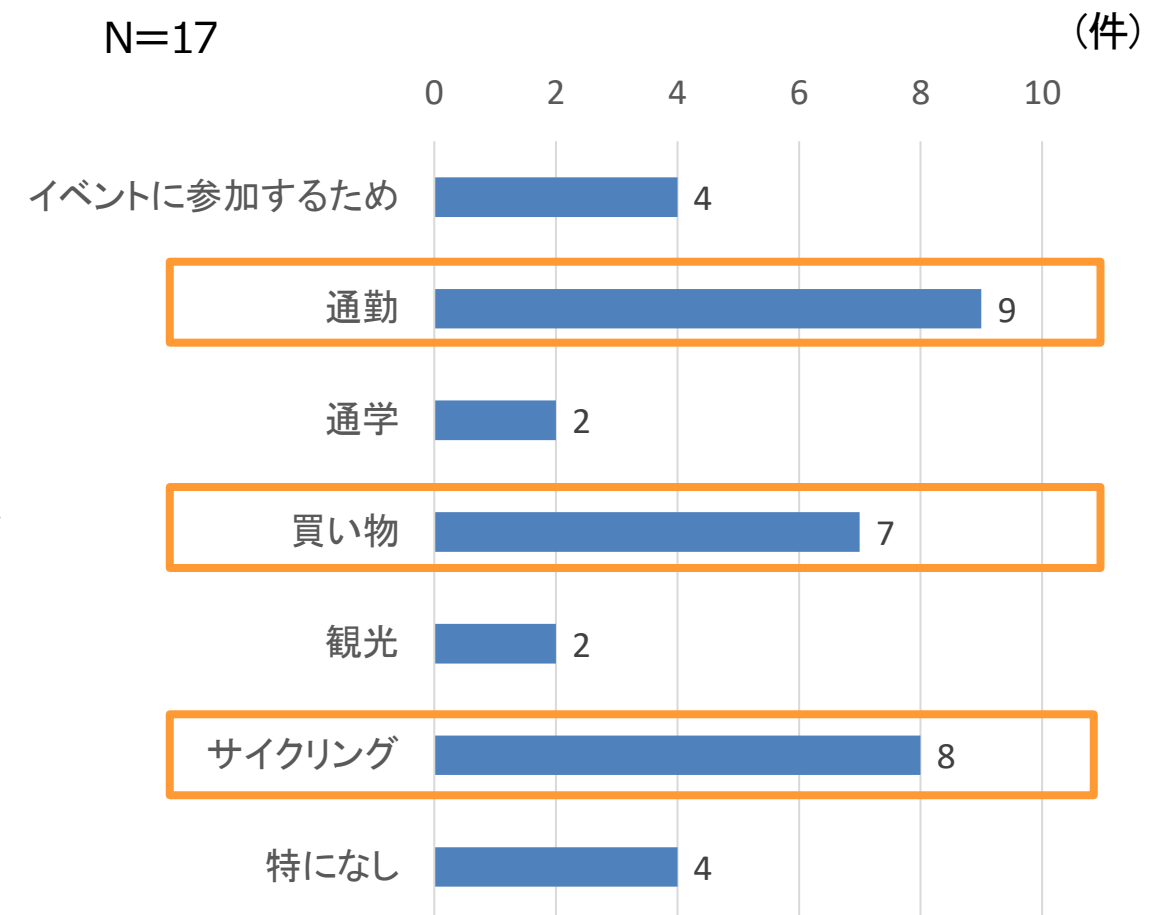
検証②DATEBIKE利用者の新設ポート・乗合バス利用数・理由を把握

交通手段:DATE BIKE(MOVE MOVEポート)の利用者:35票に着目

社会実験期間中の来訪目的



社会実験を目的にした来訪者の普段のDATEBIKEの利用目的



社会実験を目的にした来訪

・DATEBIKE(MOVEMOVEポート)を利用して、社会実験を目的に来訪された方の普段の利用目的を見ると、「通勤」や「サイクリング」、「買い物」といった普段からDATEBIKEを利用している方が利用されたことが伺える。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

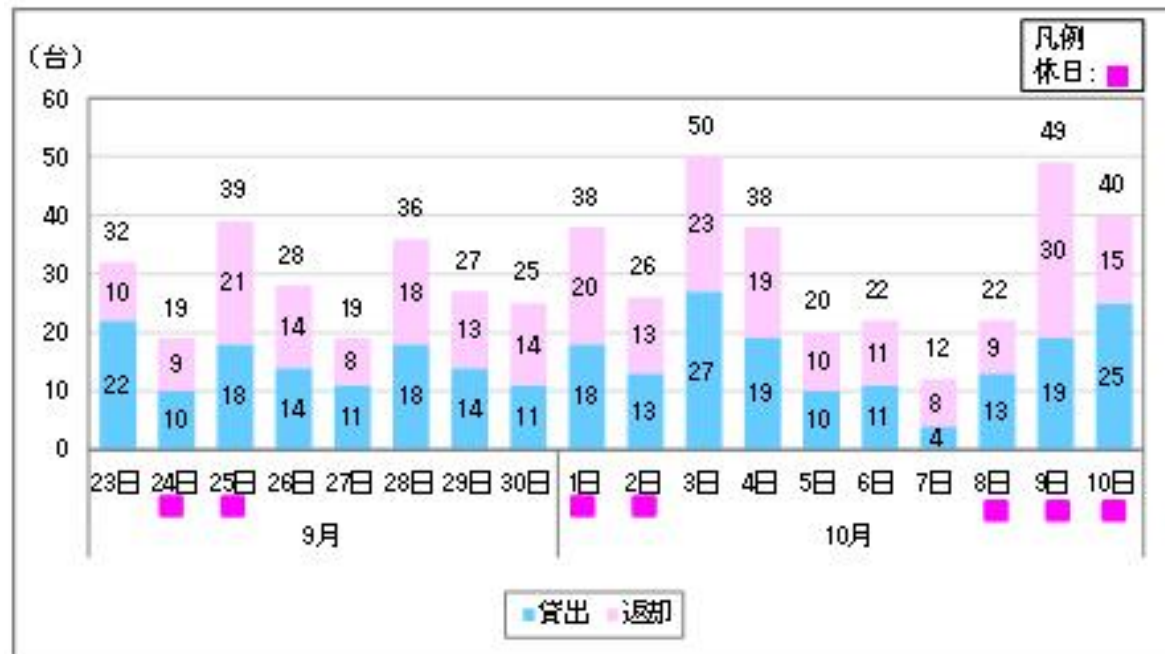
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

目指す姿:〈導く(回遊性)〉駅や他エリアから青葉通への動線を増やす

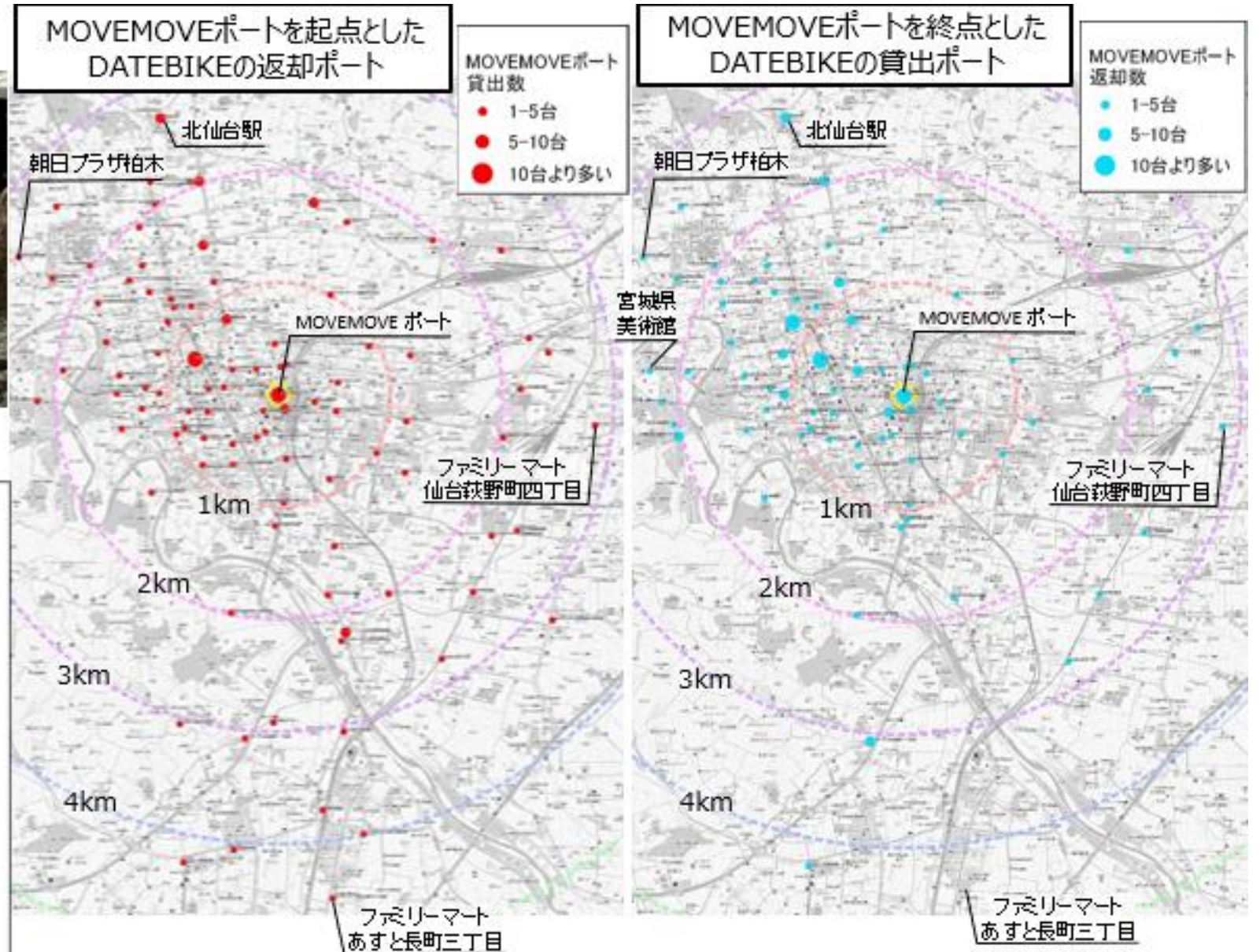
検証②DATEBIKE利用者の新設ポート・乗合バス利用数・理由を把握



▲MOVEMOVEポート設置時の状況



▲MOVEMOVEポートの利用台数



▲MOVEMOVEポートを起終点としたDATEBIKEの利用範囲
(左: MOVEMOVEポートを起点 右: MOVEMOVEポートを終点)

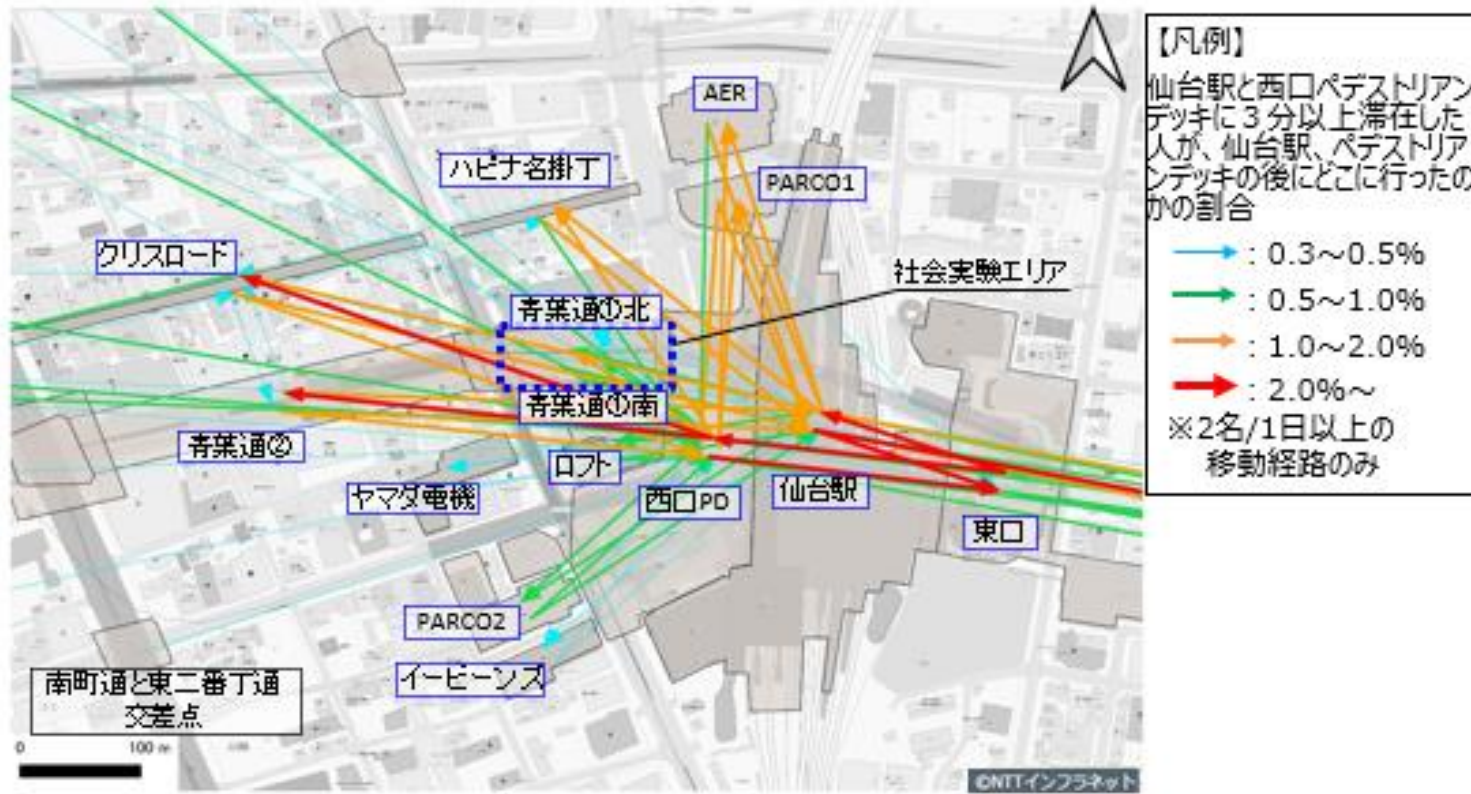
- 社会実験時に設置されたDATE BIKEポートの利用台数は1日平均で30台。
- 利用範囲は北は北仙台駅、南は太白区あすと長町、西は青葉区柏木、東は宮城野区荻野町とDATEBIKEのポートが設置されている範囲全域にわたっている。
⇒周知不足は課題であったが、回遊ツールとしての一定の効果は確認された。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

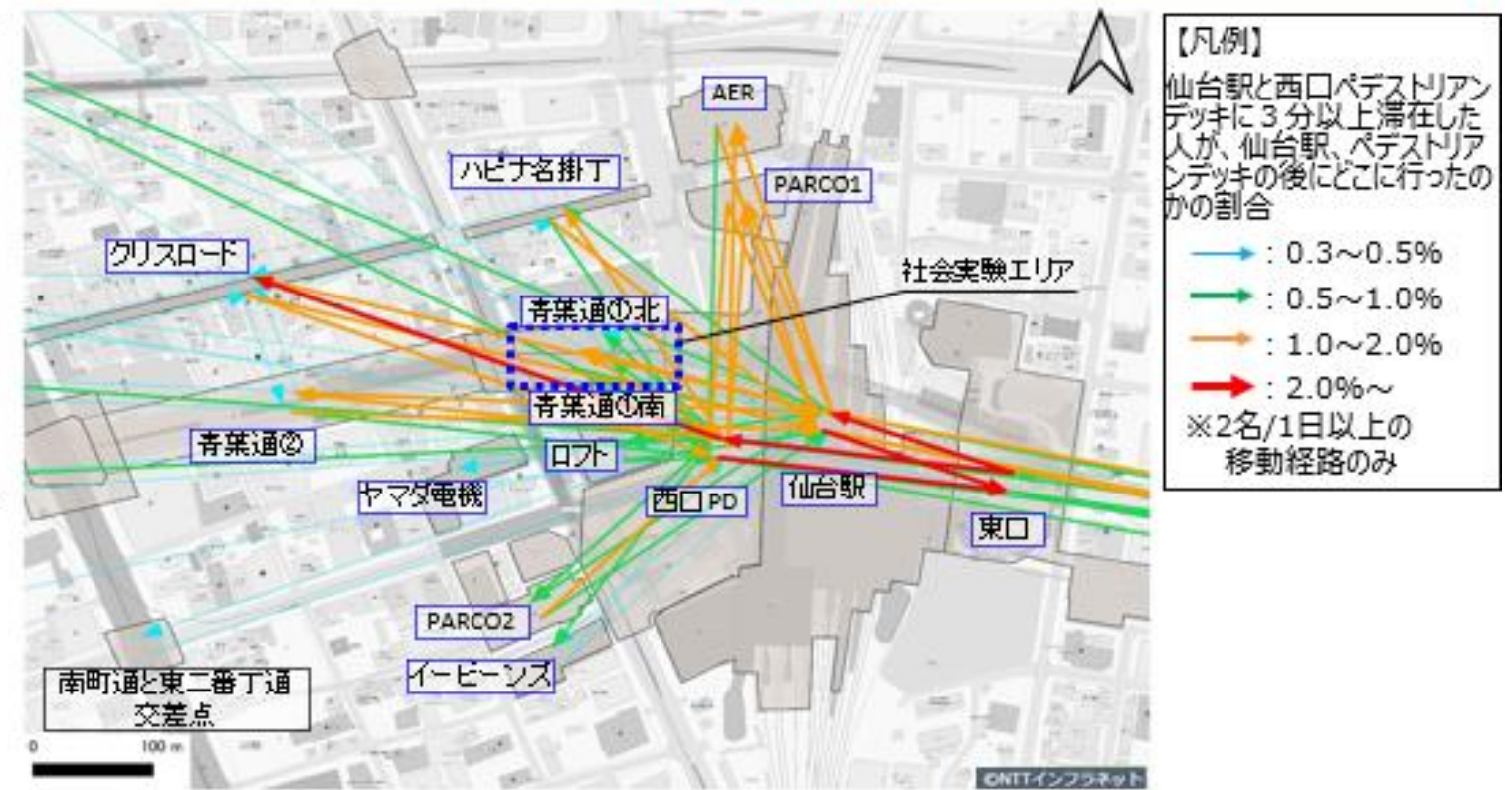
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

②平日_社会実験エリア拡大

社会実験前



社会実験中



③平日_社会実験利活用エリア(青葉通①南)起終点のみ

社会実験前



社会実験中



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

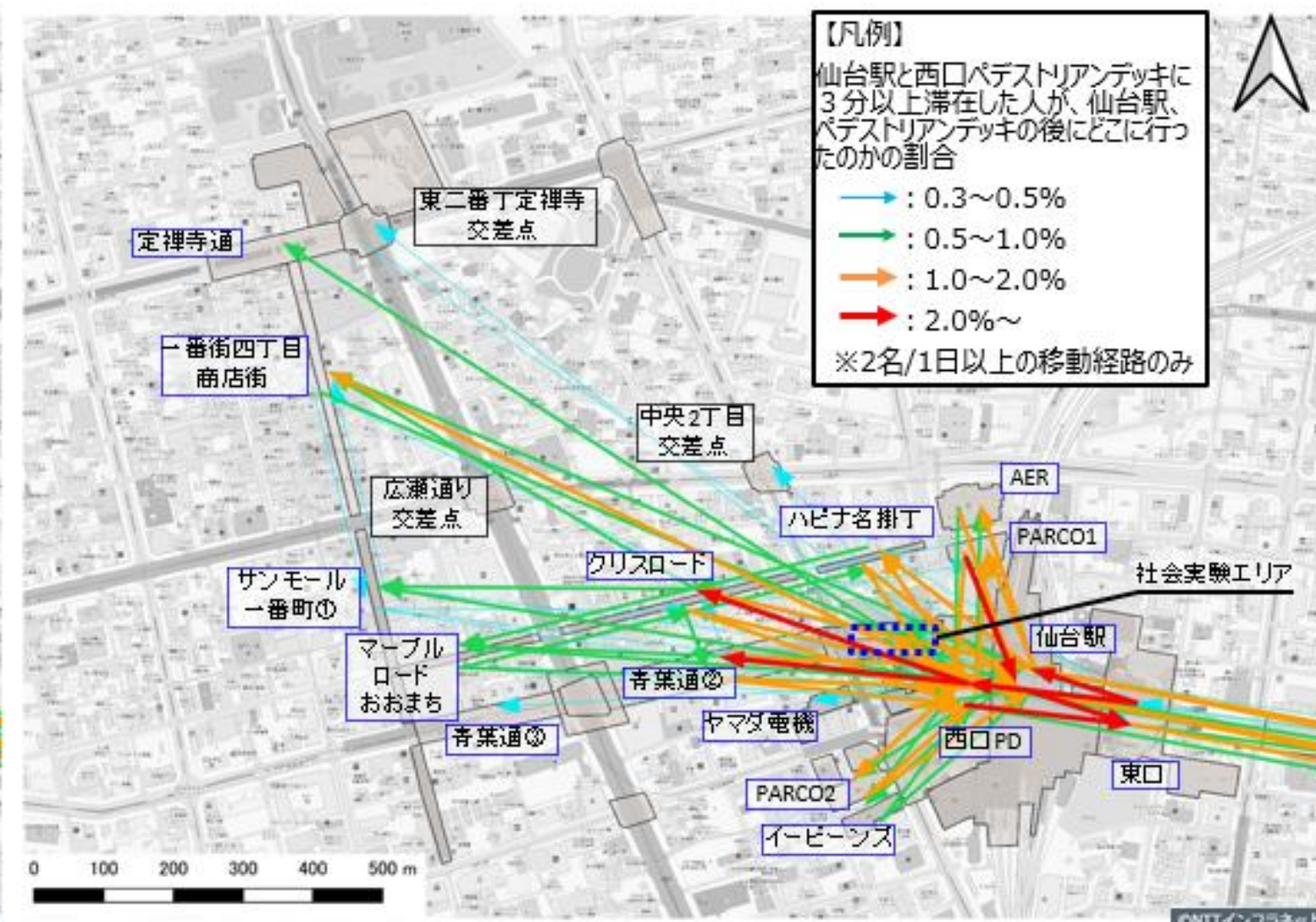
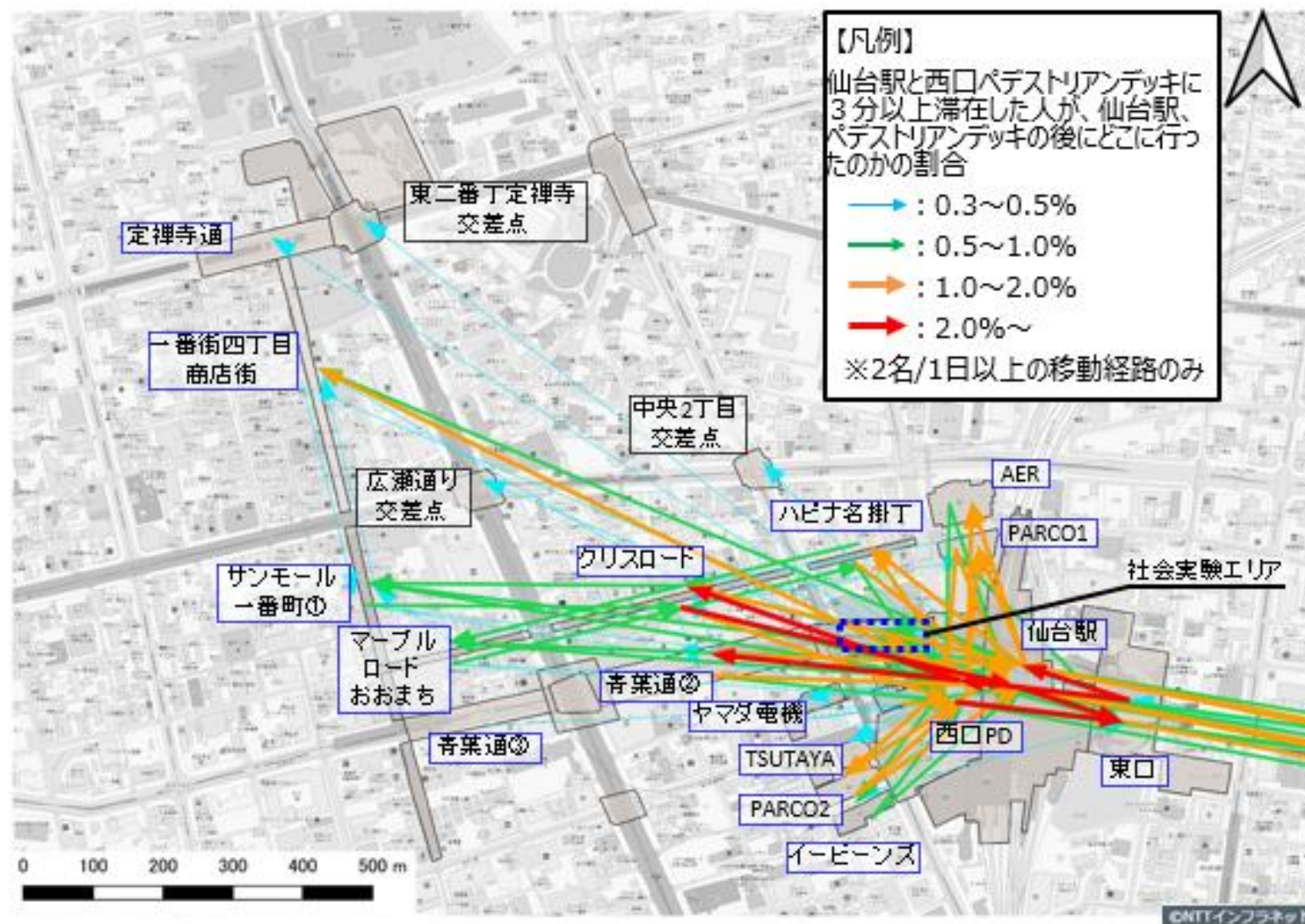
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

【人流の周遊状況の比較(人流ビックデータ)／休日】

①休日_西口広域

社会実験前

社会実験中

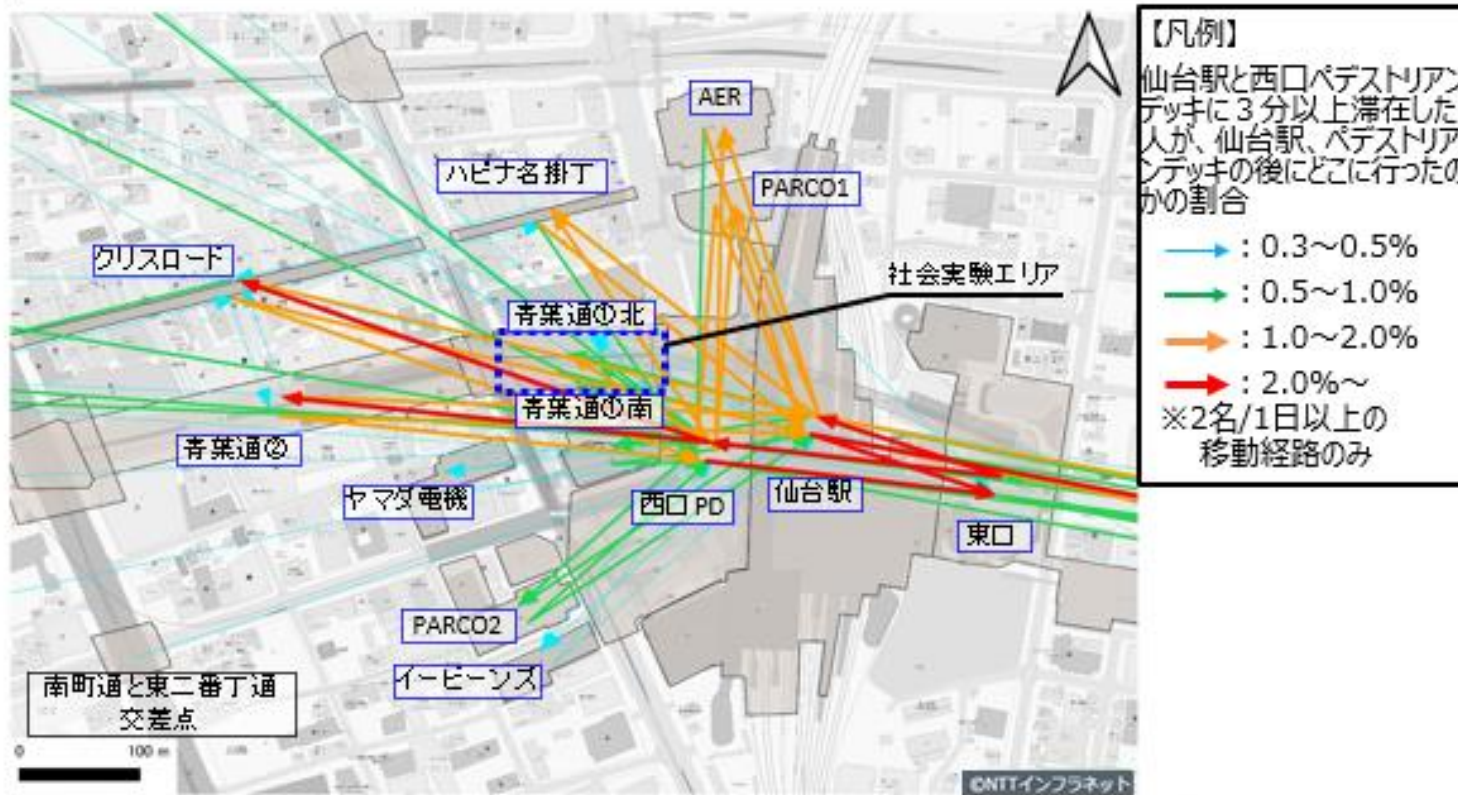


エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

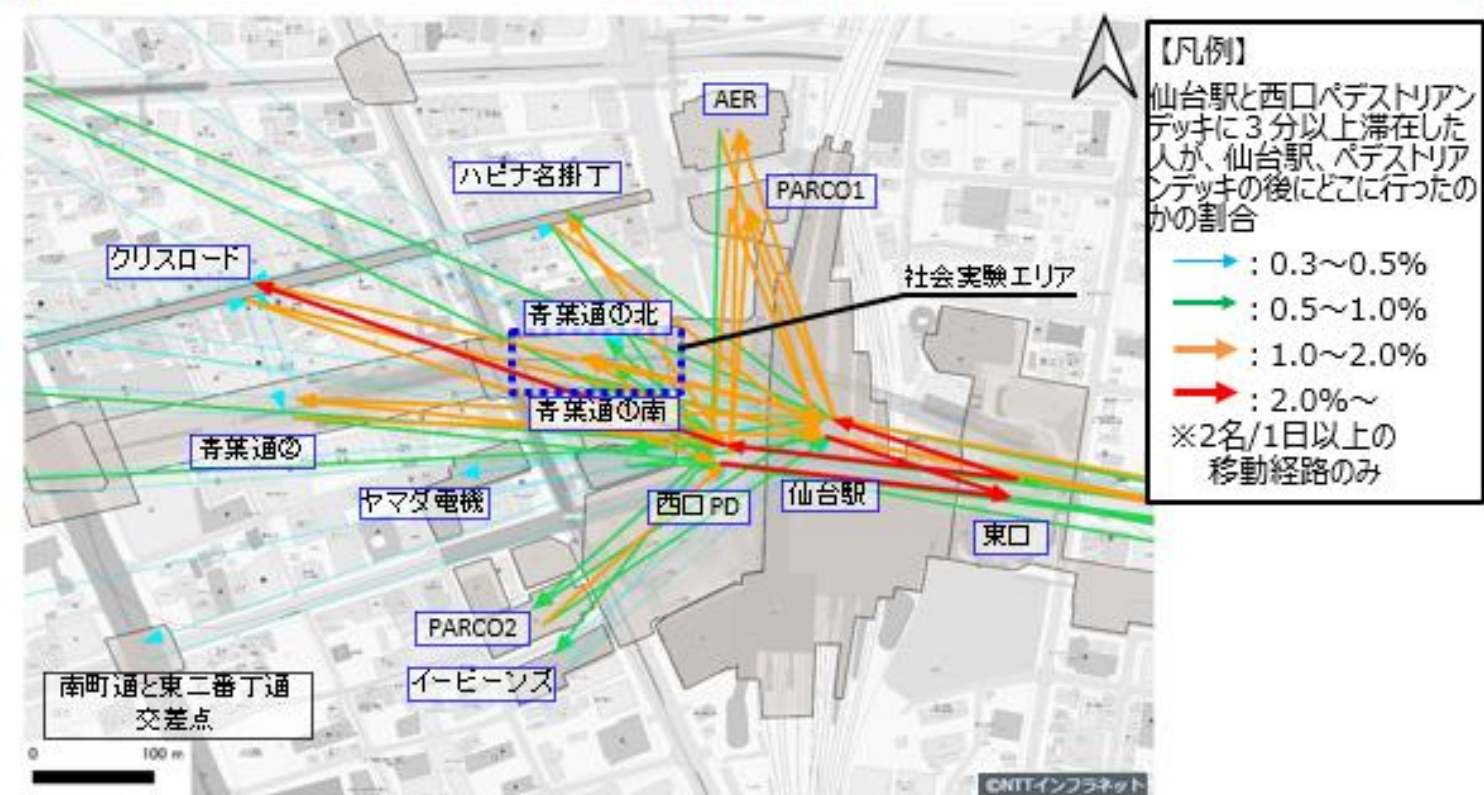
視点1 仙台の顔としてのエリア ▶ 「顔(らしさ)」を浮かび上がらせる

②休日_社会実験エリア拡大

社会実験前

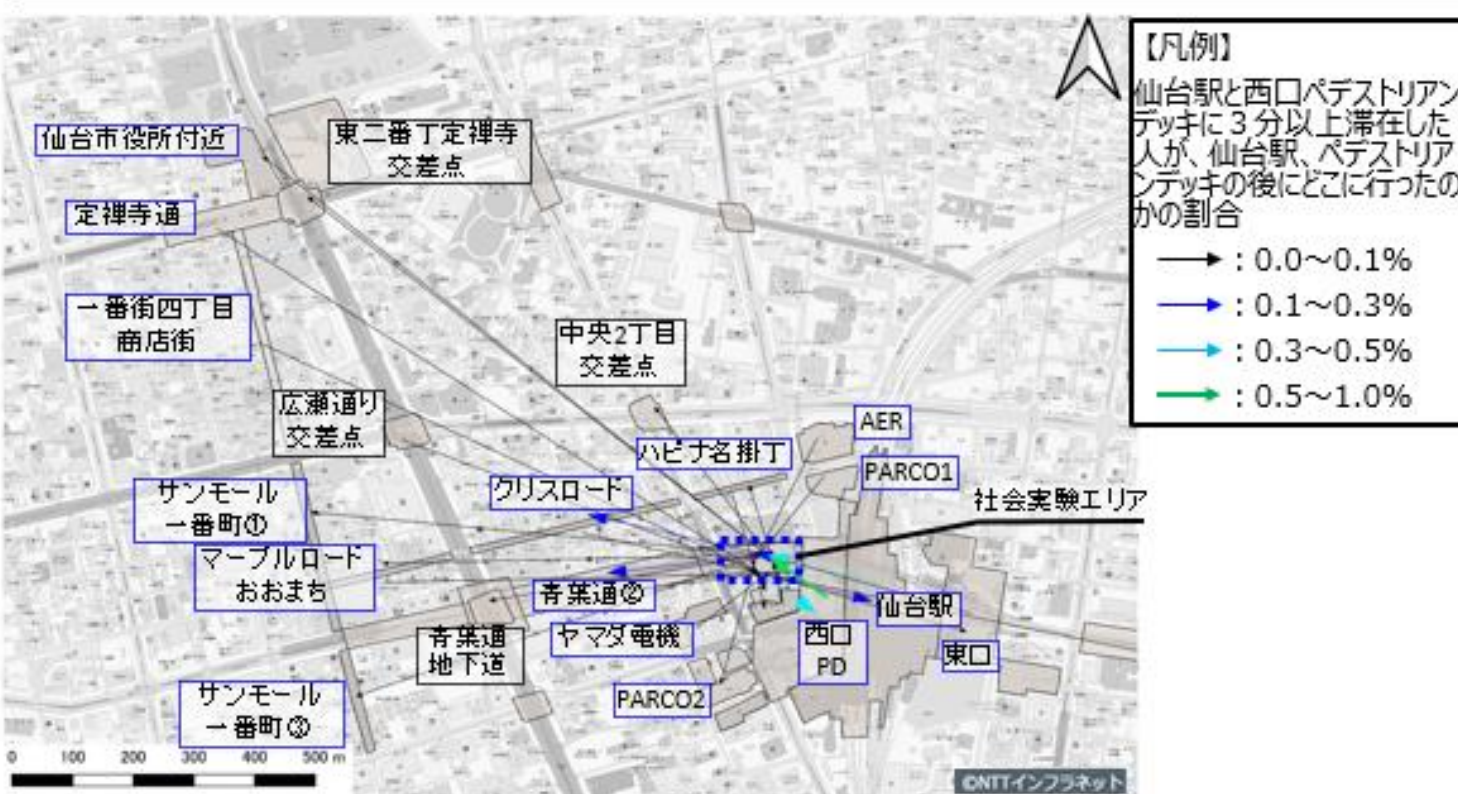


社会実験中



③休日_社会実験利活用エリア(青葉通①南)起終点のみ

社会実験前



社会実験中



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

② 視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア

・居心地の良い、誰もが使いやすそうに過ごせるエリアとして、今回の空間的工夫やコンテンツ等により、利用者属性や訪れる時間帯の変化(幼児や小学生等が多く来訪)、活動種別の増加、座る種別を確認できた。

→多様なイベント開催や機材の設置、空間デザインがなされた結果、多様な空間演出の可能性が見いだされた。その一方で、社会実験期間の一過性にならないような、運営・活動組織の構築が求められる。



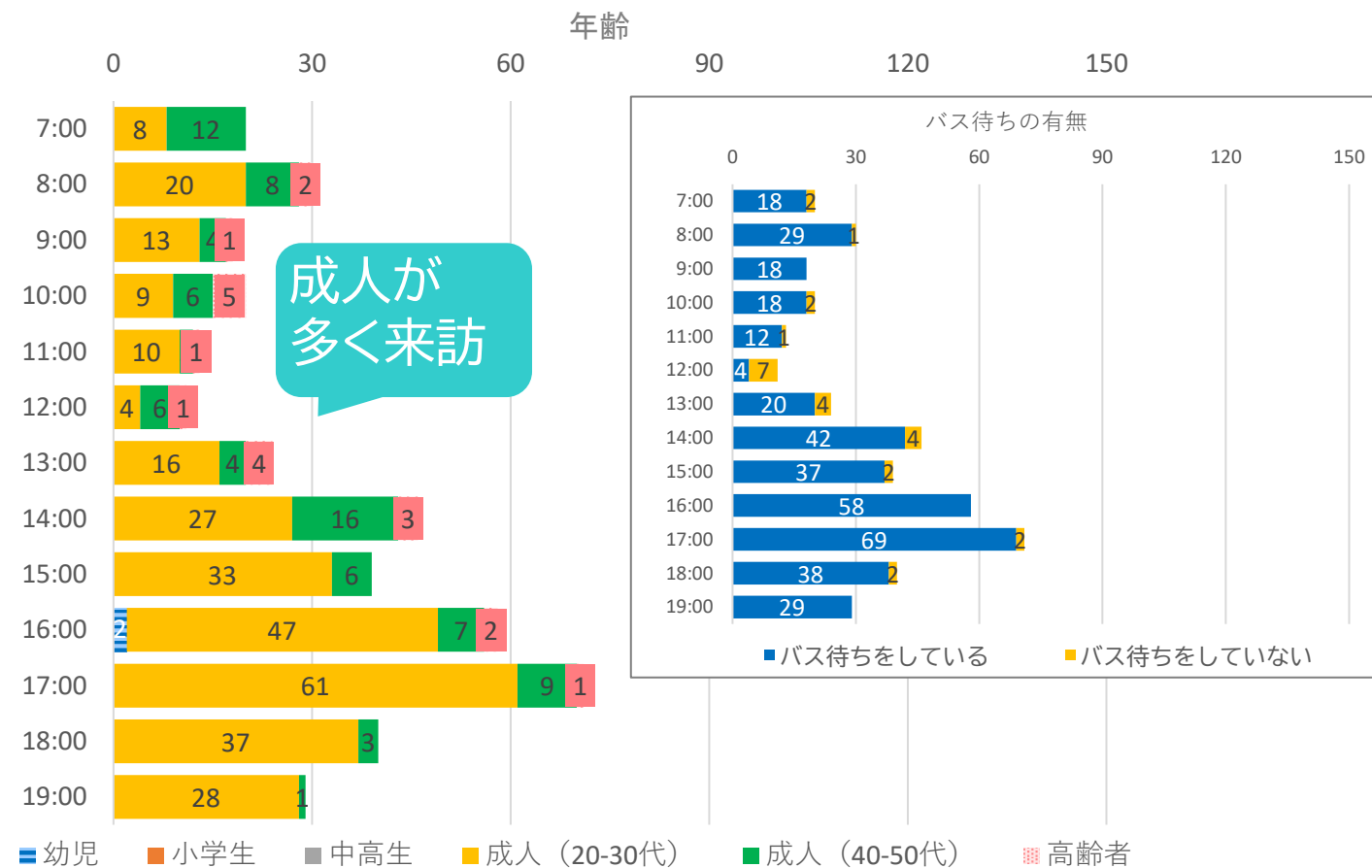
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

目指す姿:〈居心地の良さ〉誰もが使いやすそうに、過ごせる空間とする

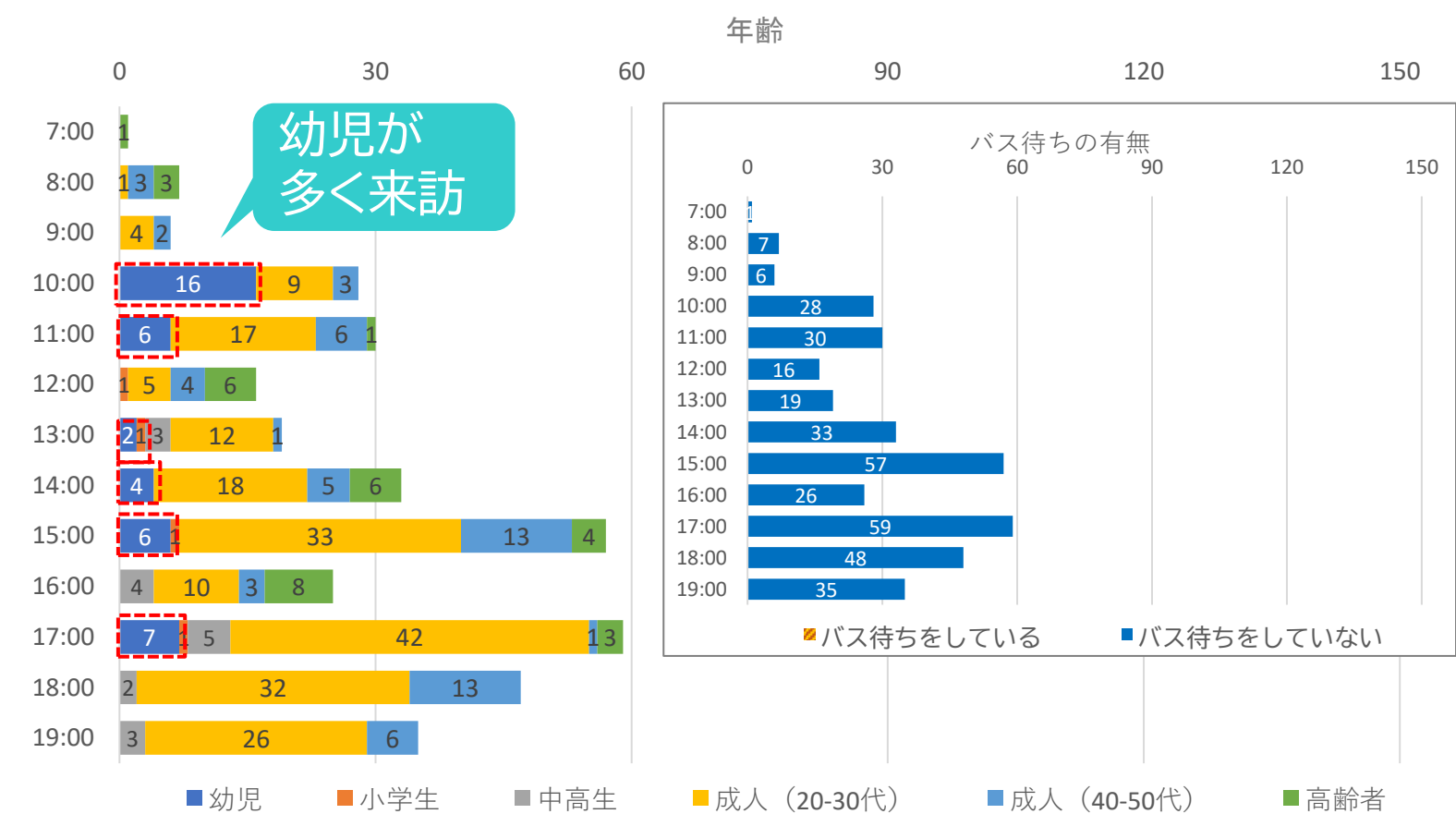
検証①利活用空間での多様な活動種別を時間ごとに抽出(滞在者の把握)

①通常(9月7日(水)):利用者属性



- ・成人が多い。
- ・バス待ちの人が大半を占める。

②社会実験時(10月4日(火)):利用者属性



- ・幼児の来訪が増加。

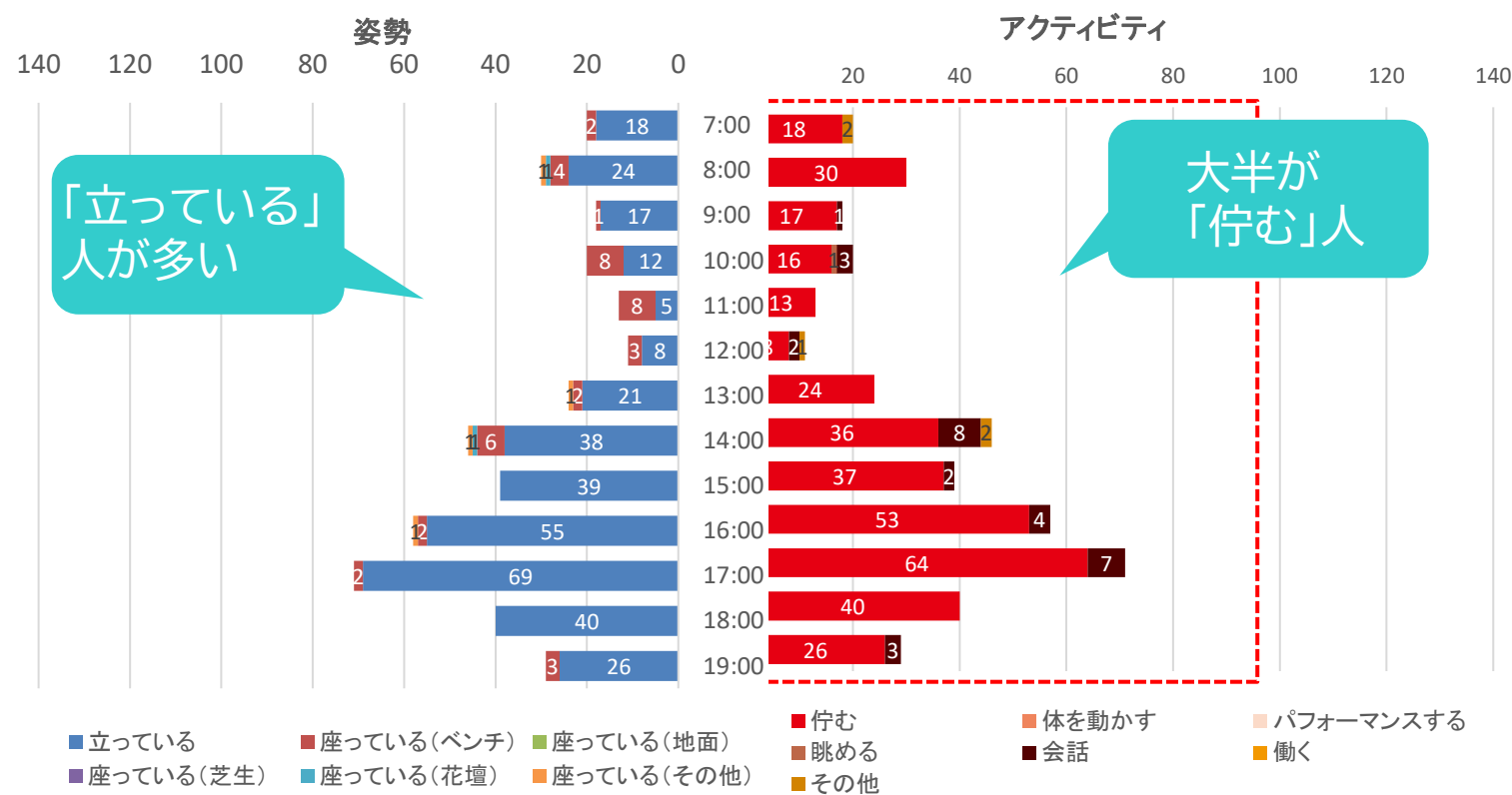
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

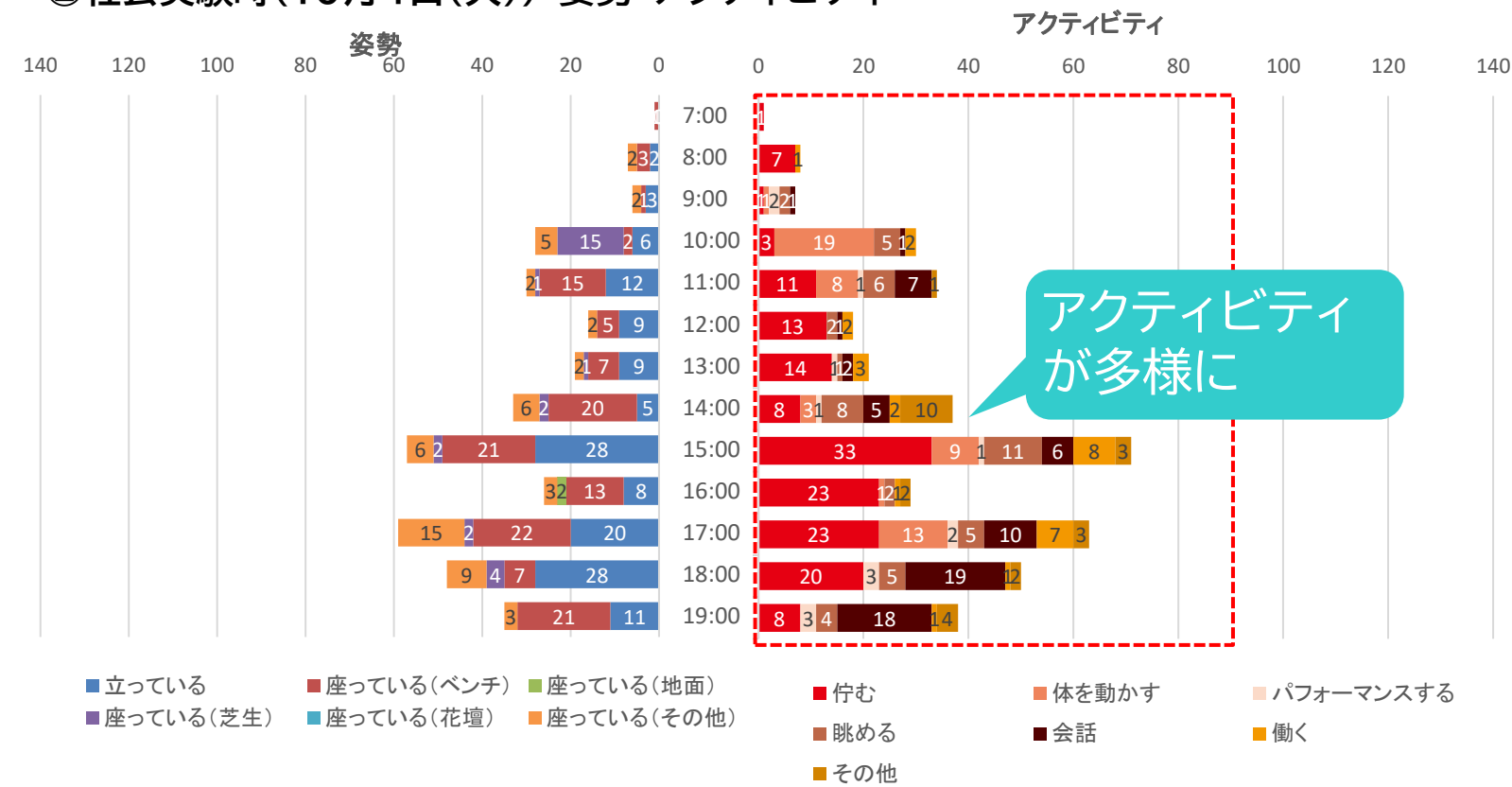
目指す姿:〈居心地の良さ〉誰もが使いやすそうに、過ごせる空間とする

検証① 利活用空間での多様な活動種類を時間ごとに抽出(滞在者の把握)

①通常(9月7日(水)):姿勢-アクティビティ



②社会実験時(10月4日(火)):姿勢-アクティビティ



- ・立っている人が多い。
- ・大半が「佇む」人。

- ・「座っている人」が多い。
- ・アクティビティが多様。

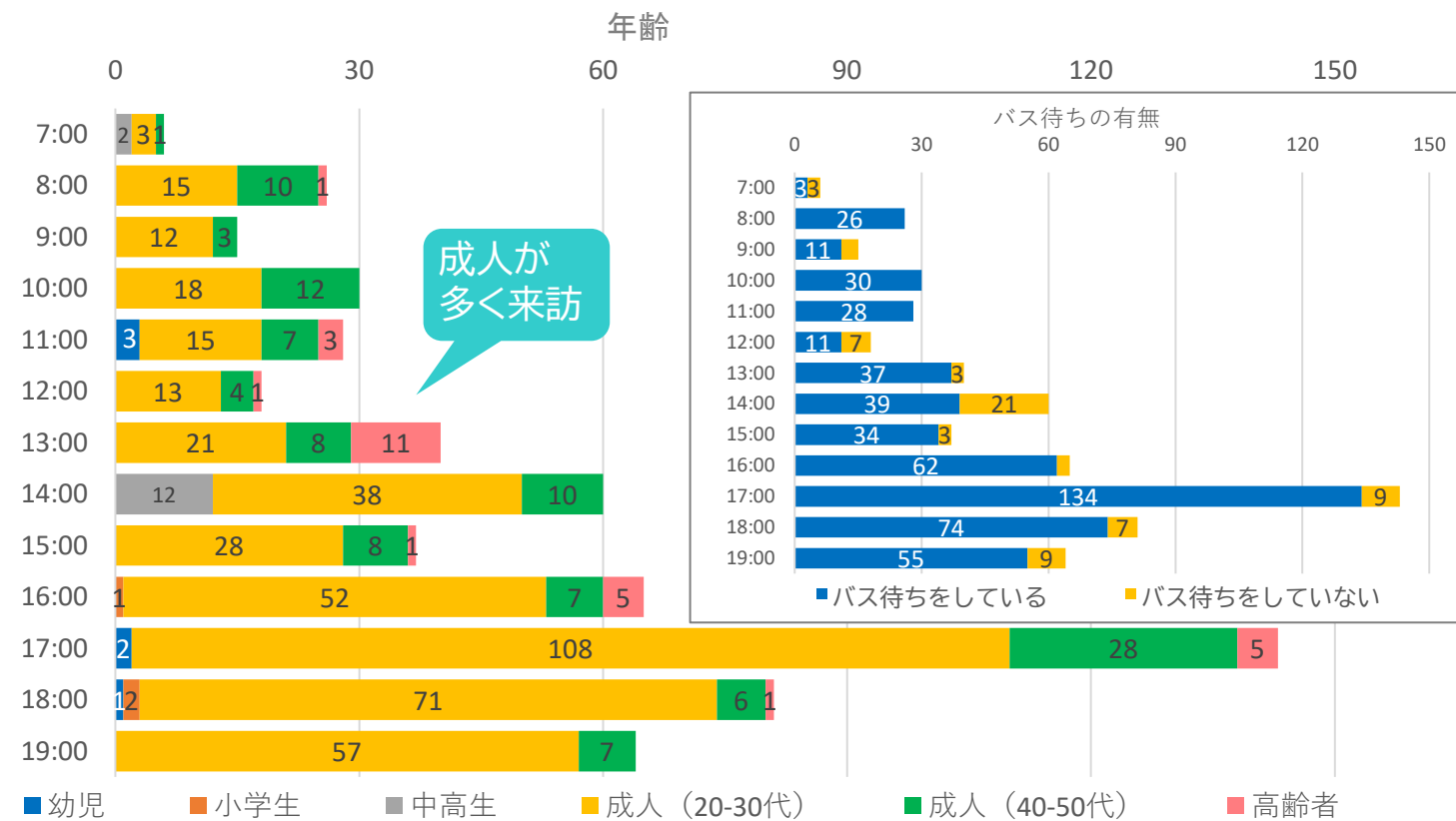
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

目指す姿:〈居心地の良さ〉誰もが使いやすそうに、過ごせる空間とする

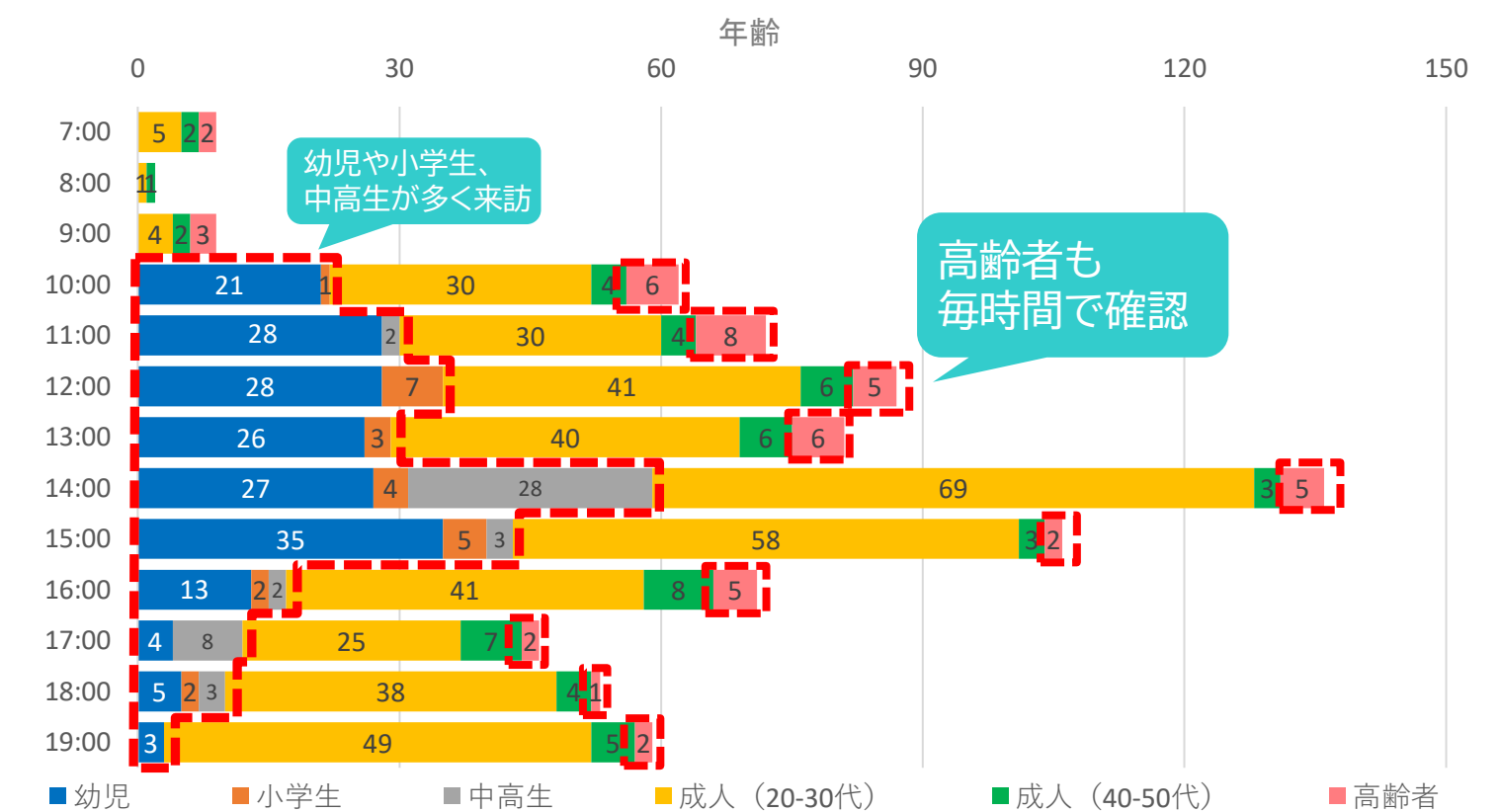
検証①利活用空間での多様な活動種類を時間ごとに抽出(滞在者の把握)

①通常(9月4日(日)):利用者属性



- ・成人が多く来訪。
- ・バス待ちの人が大半を占める。

②社会実験時(10月2日(日)):利用者属性



- ・幼児や小学生、中高生が多く来訪。
- ・高齢者も毎時間で確認。

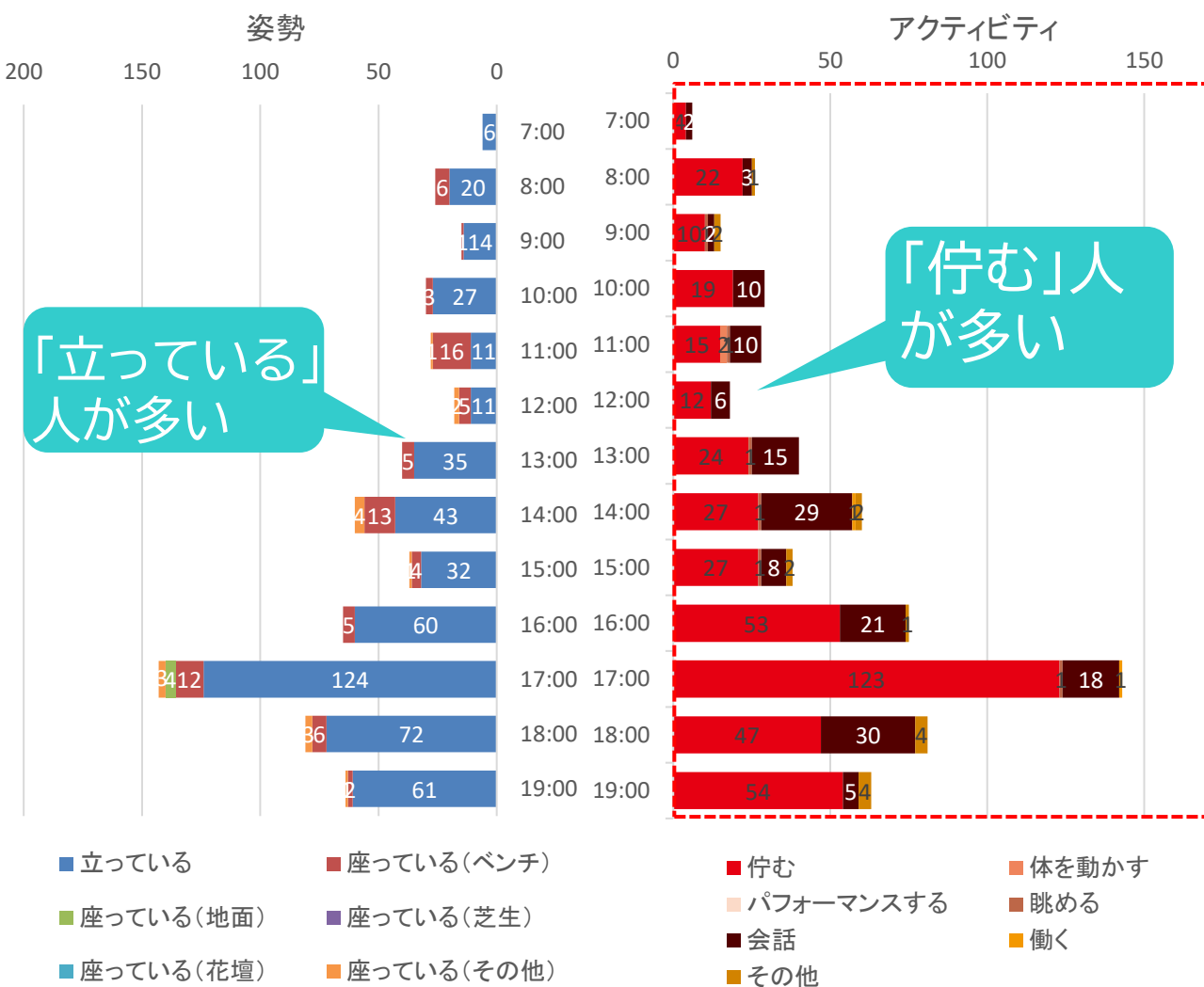
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

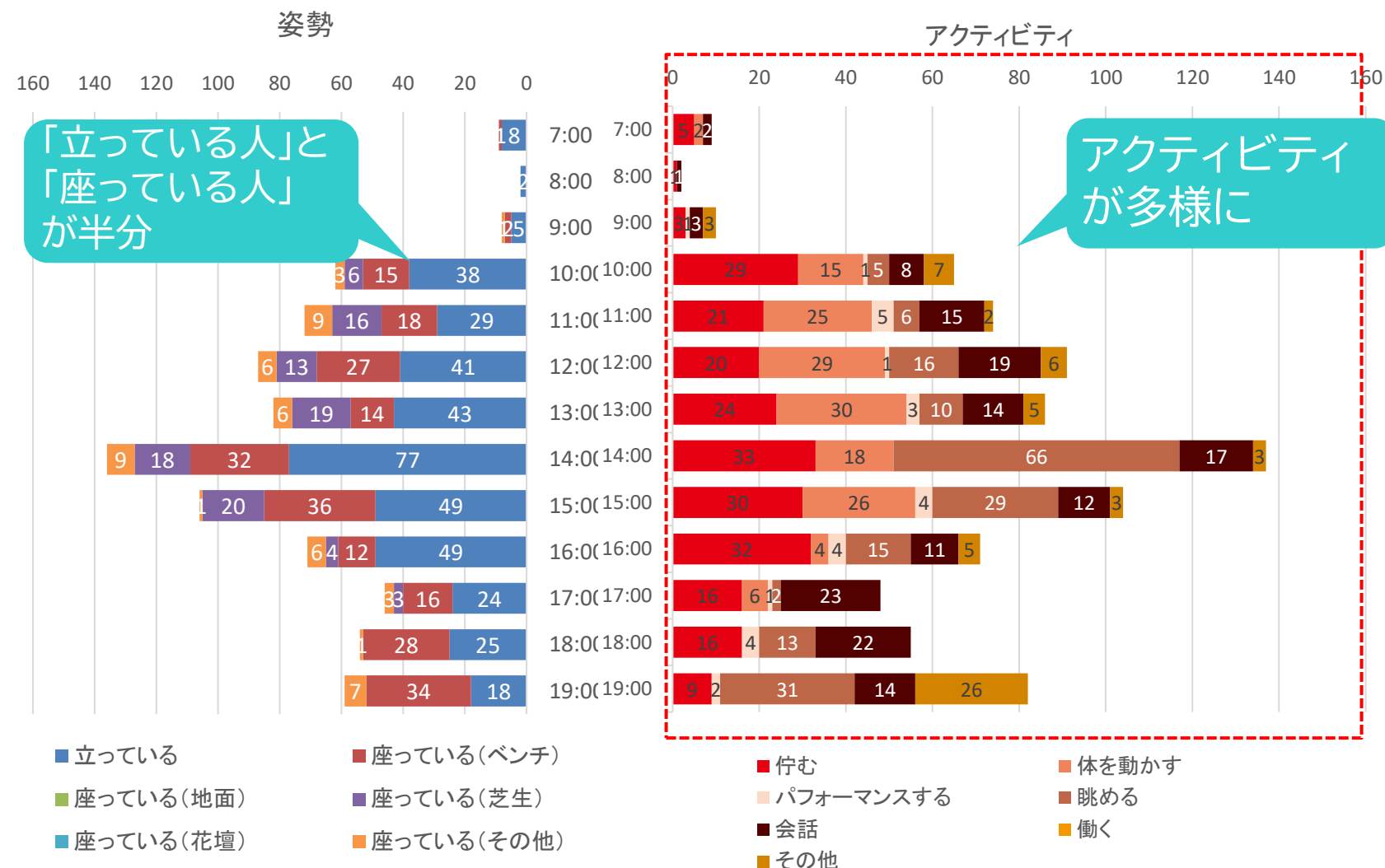
目指す姿:〈居心地の良さ〉誰もが使いやすそうに、過ごせる空間とする

検証①利活用空間での多様な活動種類を時間ごとに抽出(滞在者の把握)

①通常(9月4日(日)):姿勢-アクティビティ



②社会実験時(10月2日(日)):姿勢-アクティビティ



・立っている人が多い。
佇む人の割合が高い。

・「立っている人」と「座っている人」が半分。
・アクティビティが多様。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

② 視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア

・居心地調査によるハード環境や快適性の側面からも、居心地の良さが「朝」から「昼」への変化や居心地の良さが向上していることを確認できた。

→社会実験による居心地の良さ向上に伴い、公共空間の利活用は、居心地向上により人を惹きつけることができると伺える。

・ストリートピアノを中心に、コンテンツによる「人との交流」が生まれており、特に「学生」や「会社員」、「主婦」、「親子連れ」にとって、新たな交流を生むことができ、今回の主なターゲットにとって、満足度の高い社会実験となった。

→ストリートピアノをはじめとするコンテンツの実施により、「学生」「会社員」「主婦」「親子連れ」等を中心に活気・交流を生み、人々の成長・温かさを感じる拠点としての可能性が感じられた。



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

目指す姿:〈居心地の良さ〉誰もが使いやすそうに、過ごせる空間とする

検証②実験前と実験期間中の居心地の良さを定性評価

■快適性総合スコア(各日で最も高かった時間帯とスコア)

	実験前 平日 (9月7日)	実験前 休日 (9月4日)	実験期間中 平日 (9月28日)	実験期間中 休日 (9月25日)	実験期間中 平日 (10月4日)	実験期間中 休日 (10月2日)
北: 旧さくら野側	朝(50.0)	朝(42.6)	夜(45.3)	昼(47.9)	昼・夜 (49.1)	昼(47.7)
南: EDEN側	朝(59.3)	夜(61.1)	昼(65.9)	昼(69.6)	夜(72.5)	昼(73.4)
平均スコア	54.65	51.85	55.6	58.75	60.8	60.55

- ・社会実験前と実験期間中の居心地の良さ(快適性総合スコア)を見ると、実験前は朝が比較的高いスコア(歩きやすい・アクセスしやすい等ストリート環境の評価が高い)となっていたが、実験期間中は主に昼に高いスコア(居心地の良さに関する評価が高い傾向)となっている。
- ・スコア値を見ても、実験期間中の方が平日で最大6.15、休日で最大8.7スコア値が高い。

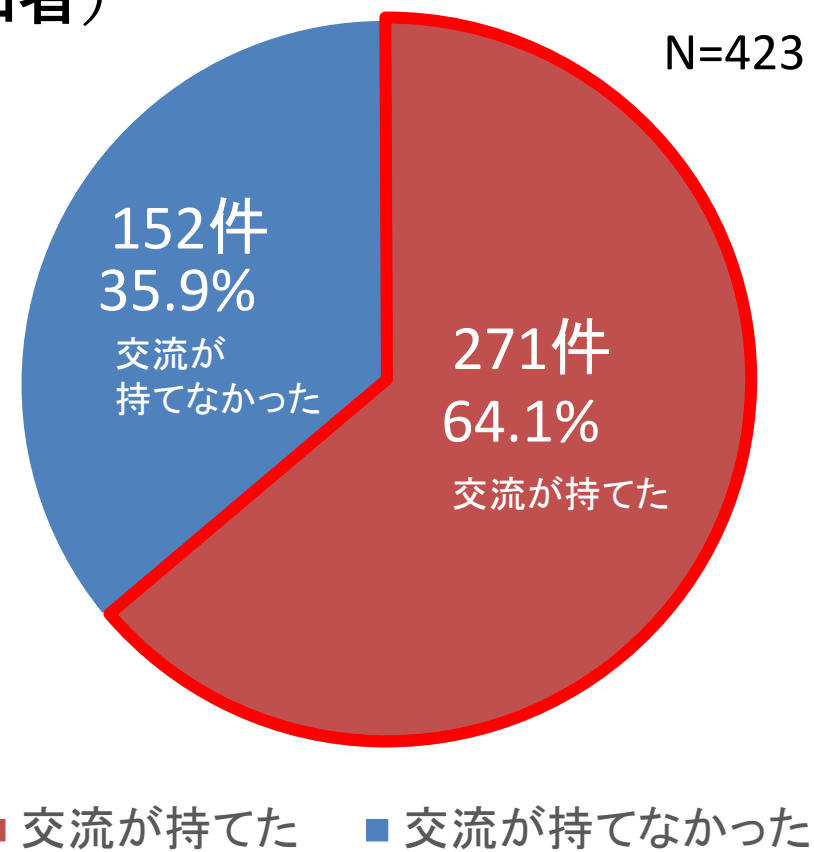
エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点2 多様な活動を生み出していく人中心のエリア ▶ 「多様」を収集・分類化

目指す姿:〈出会い・交流〉コンテンツや利用空間で、人との交流機会を創出する

検証①コンテンツ等の利用により、新たな交流機会を持てたのか、把握

■コンテンツ参加による交流の機会の有無
(コンテンツ参加者)



- ・コンテンツ参加により、交流の機会を持てた人は約6割弱となり、コンテンツ別には「ストリートピアノ(52票)」が最も多く、次いで「焚火(25票)」、「遊び場(15票)」という結果であった。
- ・交流を持てた方のうち、年代・職種別には今回の主ターゲットである「20代以下の学生」や「20代～40代の会社員」が多かった。また一部「主婦層」の方も一定程度回答があった。
- ・一方で、高齢者の方の交流は少数であった。
- ・アンケート回答者1240名のうち、コンテンツ参加者は423名と3割少々と、少数であった。

■交流が持てたコンテンツ ※特に多い回答数(件)のものを赤字で表記

ストリートピアノ	51件	マジック	6件	Sendai Shovel	2件	ボードゲーム	1件
焚き火	25件	子連れ・子ども同士の交流	5件	よさこいイベント	2件	畳コーナー	1件
遊び場	15件	ピクニックパーク 宮城学院女子大学	5件	乗馬	2件	農産物販売ブースで市外の生産者と交流	1件
ボッチャ体験	9件	音楽	4件	縁日	2件	愛犬を連れ同士	1件
スタッフと話した	9件	move move radio	3件	三味線	2件	防災パン作り	1件
南三陸杉のブロック、ジャングルジム	8件	ヨガ	3件	アスレチック	2件		
ONE TOHOKU	6件	コマ回し	3件	Run your own way	1件		

ビジョン策定に向けた示唆

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

2. エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。



③ 視点3 エリア向上のために挑戦するエリア

- ・利活用空間で実現したいアイデアおよび要望は計461件寄せられた。
- ・主なターゲットであるオフィスワーカー・学生ともに、「くつろげる・休憩できる空間」が求められており、特に学生にとっては「イベント開催」や「ストリートピアノ等のパフォーマンスができる場」、「交流できる場」を生み出すことで優位性を高められる可能性を確認できた。
- ・出展者からはより賑わいを創出していくための課題・要望が多数寄せられた。

→社会実験期間中の組織体制・空間演出の評価の高さから、様々なイベント(案)や飲食・休憩・遊び・交流機能等、多岐にわたるコンテンツの要望が挙げられ、能動的な姿勢の創出へとつながる可能性が感じられた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿:〈能動的な姿勢〉利用空間に能動的に係る活動を浮かび上がらせる

検証②能動的な参画意向(コンテンツ企画の協力、イベントの手伝い)を把握

■利活用空間で実施したいこと(自由記述)

＜イベント系＞		＜その他したいこと＞		＜欲しい設備＞	
イベント	69	休める場所・くつろげる場所	64	足湯	5
音楽イベント	34	遊び場	34	歩行者天国	4
大道芸	9	ストリートピアノ	22	自転車道	4
ワークショップ	7	交流機会	16	ハンモック	3
路上ライブ	7	焚き火	5	ペDESTリアンデッキの拡張	3
スポーツイベント	2	キャンプ	4	自転車と歩行者を完全分離	3
ミニ四駆大会	1	アート空間	4	雨を凌げる場所	2
ジャズフェス	1	仕事	4	暖かく過ごせる場所	2
オクトーバーフェス	1	ボッチャ体験会	3	イルミネーション	2
パレード	1	読書	3	トイレ	2
劇場	1	カードゲーム	3	日差しをしのげる場所	1
フラワー展	1	昼寝	2	案内板を増やして欲しい	1
ドックショー	1	ピクニック	2	一般自動車の走行	1
＜飲食・販売＞		ヨガコミュニティ	2	温泉	1
飲食スペース	68	映画	2	授乳スペース	1
売店	11	ストリートバスケット	1	駐車スペース	1
マルシェ	10	勉強	1	保育施設	1
フリーマーケット	9	インスタ	1	無線LANが欲しい	1
直売所	4	ドッグラン	1	＜その他意見＞	
露店	1	ペットをつれてきたい	1	なし	90
ペットOK飲食店	2	将棋大会	1	やめてほしい	52
スナック	1	陸上競技	1	拡大する必要なし	11
コミックマーケット	1	自然とふれあえる場	1	分からない	8
青空市場	1	アクティビティ	2		

・イベント開催、飲食・販売、休める場所・くつろげる場所等のを求める回答が多くを占める。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

出展者ヒアリング

青葉通ならではの

豊かな空間だった		多世代が集まりやすい	休日のみの催事も良さそう
普段より明るかった		若年層が非常に多い	木陰を通る風が幸せ
2台のピアノが非常に良い	車以外のユーザーに刺さる	お金を落としてくれない	緑(植栽)が似合っていた
ピアノに起きる拍手が良い	座る場所がもっと欲しい	周りに配慮しない人がいる	バス停の屋根の清掃が必要
ピアノにすごく立ち止まる	もっと広く使いたい	ドア内に入ってこない	パラソルが似合いそう
通勤前のヨガに便利	自転車レーン侵入が怖い	急ぎ足の人が多い	駅前で会場説明が楽
ヨガするならもっと早朝	自転車レーン利用は少ない	人は多いが素通りも多い	余った空間を有効に使うべき
渋滞が酷い印象は拭えない	もう少し目隠しがあると安心	車ユーザーは寄りづらい	

一時利用
(今回の印象)

常設利用

子どもの声が聞こえ幸せ	明確なスタッフ体制が必要	駐車場が確保できない	雨でも安心して出展したい
大人向けの催しも必要	子ども達の影に隠れてしまう	安い駐車場が欲しい	もっとコンセプトが必要
販売とWSは住み分けが必要		テントを使いたい	企画側のターゲットが不明瞭
		什器貸出をして欲しい	雨天時の集客が厳しい

→自由回答のため、「一時利用の場合／常設利用の場合」
「青葉通ならではの／他会場でも同様」に分けて整理した。

■ …設備環境関連 ■ …客層関連 ■ …コンテンツ関連

- 専用トイレが欲しい
- 水道設備が欲しい
- 電気設備が欲しい
- 倉庫が欲しい
- 屋内休憩所が欲しい
- 通信インフラが欲しい

他会場でも同様

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿：〈能動的な姿勢〉利用空間における活動を意欲を向上させる

検証②能動的な参画意向(コンテンツ企画の協力、イベントの手伝い)を把握

■設備に関する記述

- ・また、**トイレがない**のも課題かと思います。EDEN内や地下鉄のトイレを何度もお借りしましたが、恒久化する場合には**水回りの整備が不可欠**ではないかと考えます。
- ・**柵**をもっと(子供が通り抜けられないように)してほしい。
- ・使える**水道**はあると良いと思いました。
- ・**水道、電気**があればワークショップが便利です。
- ・**電気、給排水、使用が多い備品の倉庫**(テントや屋台、ウエイトetc)
- ・**通信インフラ**の強化、**電源類の利用**の容易性でしょうか。
- ・実験イベントとしては、とても良かった。**電源もあってイスやテーブル**も素敵で、芝生もナイス！ナチュラルで良い感じでした。実際の公園のような環境でみんなが使える**電気コンセントがあるのは良い**ですね！
- ・ヨガを行う場合は**キャリー型のスピーカーとワイヤレスのマイク**などがあると行いやすいと考えます。

■駐車・駐輪に関する記述

- ・近くの駐車場を**業者(出展者)用の駐車場**として用意があると思いました。

■空間に関する記述

- ・**スペースも一つ一つの出展者が広く使えるよう全面通行止めもあり**かと思っています。
- ・**「余ったスペースを有効に使う」**ということを第一に考えるべきだと思った。
- ・**天気の良い日曜日には、スペースがやはり狭いなと感じた**ので、可能であればもう少し広々と使えれば理想ではあります。
- ・**座る場所がもう少しあればいい**なと思いました。
- ・屋外にずっといるのは体力を消耗するため、**屋内の休憩場所**があったらもっと良いと思いました。
- ・**緑が多いことがリラックスにつながる**と思います。スペースが広くイスなど**くつろげる場所**(くつろいでいる方が多くいらっしゃいました)があると良いと思います。

■屋外空間・場所性に関する記述

- ・天候に左右される事もあるかと思うので、**雨の当たらないスペースが多少広がれば常時外での出店も可能になる**のかなと思いました。
- ・今回は**雨を凌げる場所**がバス停でしたが、常時このような環境にある場合は**テント、備品庫(荒天時)などの設備がもっと必要になる**かと思います。
- ・バス停の屋根を使用し雨対策をさせて頂いたのですが、**屋根の清掃などをしていただければ建物からの光が入ってきて美しい**のではないかと思います。
- ・10月の秋晴れ 10/2快晴でかなり西日が照り返し**パラソル**のような物があればと。
- ・今回のような**雨でもイベントが可能なスペース**があると(屋根など)出展する側も参加するお客様もより使いやすく様々な形で集客できる場所になるのではないかと思います。
- ・**屋根(テント)**を使えるようにしてほしい。
 - ・駅前ということもあり、普段活動している場所より**人通りが多く集客につなげることが出来た**。
 - ・人通りが多い。
 - ・それを目的に来た人以外でも、あの場に何かあることで「少し見てみるか」となり、とても良い場所だと感じました。
 - ・**人は多いと思いますが場所的に素通りするかも?**という感じです。遊び場はすごく良い空間だと思います。
 - ・**急ぎ足の人が多い印象**。マーケット(マルシェ)の様にゆっくり見る人は少ない印象。芝生で子供のイベントの週末は芝生で遊んだ人が見てくれる(ワークショップは)参加してくれる形。誰でも分かる場所なので説明は楽で、来る人も公共の地下鉄、JRで来れるが車の人は駐車場が高くてハードルが高い感じ。
 - ・賑やかな人通りはありますが、なかなか**入店して下さるお客様がなく残念**でした。

- ・出展環境として、電気・水・駐車場、雨天時におけるリスク軽減に関する要望が多くみられた。
- ・滞在スペースに関する記述も多く、より多くの方が滞在できる環境が望まれている。
- ・立地特性として、人通りは多いが、素通りする人がほとんどで、引き付ける工夫が求められる。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿：〈能動的な姿勢〉利用空間における活動を意欲を向上させる

検証②能動的な参画意向（コンテンツ企画の協力、イベントの手伝い）を把握

■コンテンツに関する記述

- ・24時間ピアノを設置、解放することは私どもも初めての取り組みであり、苦情等が予想されるかと最初は不安に思いましたが、思いのほか市民の受容性、親和性が高く、**ニーズがある**ということを改めて確信することができました。また、**2台ピアノの相乗効果**もラスト3日間は感じる事ができ、協力しあえる関係が構築できたのではないかと感謝しております。
- ・最高でした。**ストリートピアノに寄せられるかのように人が集まり、またその演奏に自然に拍手が起きたりと。その中でたくさんの方々に畳コースターのワークショップに参加して頂き**、対面での会話などを通して畳の現状やメンテナンス方法、良さなどを伝えることが出来たかと思えます。
- ・**予想以上に立ち止まってピアノを聴いて下さる方が多かったです**。また、弾きに来て下さる方も途切れが無いほどいらっしゃいました。ストリートピアノの需要は思っているより高く感じました。
- ・ランウェイの初青葉通 発展して欲しいと思いました。又ランウェイしたいですね。
- ・**駅前という利便性の高い場所**で、通勤前にヨガができたという声が多く、需要がありそうだと感じました。特別感もありヨガ以外の面でもずっとこのようなエリアがあると街が盛り上がり、他の都市との差別化につながるのではないかと思います。
- ・とても面白かったです。人通りが祭日、休日などは多いので、ヨガではないもので挑戦してみたいと思いました。休日は歩行者天国にしても良いのではないかと思います。ヨガの出展をしましたが、**時間がもっと早い方が静かにできるのかな**と思いました。
- ・自転車道はそれほど通行量が多いわけではなかったため、できれば完全専用道化するよりは「**ここには〇〇〇ゾーン**」にしてゆっくり通行または押して通行として、多少子供が出て大丈夫な前提にしても良いかと思いました。**完全な専用道にするのであれば、境界部は乗り越えたいような高さではない方が良い**かと。(今日は掲示物を置いて対応しましたが)バス停ラインで歩道と車道が区切られている感じになっており、行き来がしにくかったように思います。
- ・**「余ったスペースを有効に使う**」ということを第一に考えるべきだと思った。
- ・**天気の良い日曜日には、スペースがやはり狭いなと感じた**ので、可能であればもう少し広々と使えれば理想ではあります。

・ピアノ・ランウェイ・ヨガといった催しや緑・くつろげる場所の魅力を感じた人が多く、もっとスペースを広くとったほうがいいという要望も見られた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿：〈能動的な姿勢〉利用空間における活動を意欲を向上させる

検証②能動的な参画意向（コンテンツ企画の協力、イベントの手伝い）を把握

■多様性

・**お子様からお若いカップル、御年輩の方**など沢山の方に体験して頂き、こちらも様々な声を聞くことができ大変勉強させて頂きました。是非また駅前ライブもさせて頂きたいなと思います。

・**多くの方々と交流**し、地域の活性化が図れたと感じた。

・「市民との交流」というと、解像度が粗すぎるものの、便宜上使うとするならば、市民との交流の中に、市民の中にこそ眠っている希望、みたいなものを感じずにはいられなかった。場のしつらえもあると思うが、「悪しき顔つき」の方は一人もいなかった。そして、その人達同志が、場の設え次第では、瞬間的に交流できる、ということを感じた。焚き火は、性質上市内ローカルエリアで実施せざるを得ず、結果的に通常、「焚火がしたい」という明確な意図・目的を持った方としか交流しえないが、今回、青葉通では、当然ながら、不特定多数の方が、フラッと立ち寄り、その場で新たな交流や、人によっては人生を変化させた（この期間中に転職の意思決定をされた方が実際にいる）。**こういった偶発性を、「イベント」として**作るとは、難しいか、範囲に限られる。それを、青葉通りでは、いとも簡単にやってのけられたと思っており、そのインパクトも大きい。**特に、中高生、大学生、主婦などに代表される**、車を持たず行動範囲に限られる方、可処分時間が限られる方々に対して大きなインパクトを出せる可能性を感じた。インバン誘致、企業誘致、も良いが、個人的には上述のような、「今いる市民」「生活者としての仙台市民」の心を富まし、そういった方々の輪が広がっていくことが、重要だと思う。重要、というのは、現在の資本主義のオルタナティブの世界観として。青葉通は、そのための象徴として、はっきりとした顔つきを示すべきだと、勝手ながらあらためて感じた。

・**子供の遊ぶ声が聞こえて、幸せな時間を送ることが出来ました。木陰を通る風に癒されて**仙台がいつもこんな所だったらもっと良いのにと思われました。お誘いありがとうございました。

■子ども

・天気のそれほど良くない日や平日も含め、**予想以上に多くの親子が訪れ**、また滞在時間も予想以上に長く、駅前空間は働く人以外のニーズ(?)も結構あるのだと感じました。遊びに来た人も、駅前で遊べるのか?と半信半疑でやって来て、でも街中の喧騒とピアノの音色、遊び場の雰囲気と意外と合っていたと話された方も。そして、さすが杜の都、トンボが飛んできて子供が捕まえたりなど、**想像以上の展開**もありました。買い物、その他色々な目的でまちなかに来る人がいますが、子供連れだとちょっと子供も楽しめるところ(子供が楽しみながら親も休めるようなところ)があるのは、ありがたいようでした。(子供が離れたがらなくて困っていた人もいましたが)親子連れは予想以上に多いと感じました。子供連れでいるのを微笑ましく見守り喜ぶ年配の方も多かった。

・**子供たちの遊び場**としては良いと思った。

・素敵な機会をありがとうございました。ステージ、マイク、テーブル全て整っており、小さな**お子様にも安心して頂ける場**だと感じました。

・素直な感想は、駅前だけあって時間のない市社会人や電車とバスに通われている人しかいなくて、販売かワークショップで新規のお客様を取り込むのは難しく感じた。小さい子供向けイベントを大々的にやると子供にしかみな目がいかず、**まわりのことを考えていない人が多くて販売の人達は困ると思う(スペースや場所を分けてくれたら良い)**。やるなら1日に出られるグループがもう少しほしい。最低8グループくらい。1つだけの日があると辛い。外から見たときも何をやっているのか分からなくなるため。

・**子供だけでなく、大人向けの催しもあっていいかな**と思いました。

■若若い世代(※10代から30代を若い世代とします。)

・**若年層の多さに驚いた**。賑わいは生まれていたが、**どうやってお金を落としてもらうか**が課題と感じた。

・**若い方が集まった時の盛り上がり方が良かった**ので同じく人が集まるのでも若い方を集めるのが良いと思いました(**お金が流れるかはまた別**ですが)。

・社会実験期間中に老若男女問わず、多様な方々が参加していたことに関する驚きの声が多くみられた。
・また子ども連れがいることの良さがある一方で、出展者としてはやりづらさを訴える声も見られた。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿：〈能動的な姿勢〉利用空間における活動を意欲を向上させる

検証②能動的な参画意向（コンテンツ企画の協力、イベントの手伝い）を把握

- 感想
- ・仙台駅前で子供たちが芝生で寝転んで遊んでいたりと、ストリートピアノやミニコンサートを通して空間も豊かになり、ピアノを弾く人々の成長にもつながるなんてことを考えたら、とてもわくわくしました。畳も畳ベンチを通してその心地良さを体験していただけたのではないかと思います。畳コースターワークショップも大好評でした。リピーターやコースター製作のために来店された方もいて、とてもうれしかったです。有難うございました。
 - ・全体的にすごく活気があり、普段よりも明るいなど素直に感じました。もし都合が許されるならば、今後のプロジェクトにも積極的に参加させて頂きたく思いました。職員の方々が優しく、大変救われました。この度はありがとうございました。
 - ・他県の方がとても良いと評価していた。
 - ・出展する側もお客様もとても笑顔になれる場所だなと思います。また是非お声がけ頂ければと思います。
 - ・とても難しい部分もある中、いろいろ調整しながら取り組まれている皆様に頭が下がります。貴重な機会を頂きありがとうございました。ペDESTリアンデッキから眺められて嬉しかったです。手を振ったりしてくれました。
 - ・段取りの細かいところが詰め切れてなかったが、大まかOKだった。
 - ・我々のようなこの馬の骨かもわからん者を使って頂きありがとうございました。またお世話になれたらと思います。よろしく願います。
 - ・子供の遊ぶ声が聞こえて、幸せな時間を送ることが出来ました。木陰を通る風に癒されて仙台がいつもこんな所だったらもっと良いのにと思われました。お誘いありがとうございました。
 - ・色々意見もある中での実施だったと思いますが、市の主催でこのような実験ができたことは本当に素晴らしいことだと感じております。人の交流が生まれ、街が活性化し、魅力的な都市になっていくことを確信したので、今後も是非継続していただけるようお願いしたいと存じます。貴重な機会を作っていただきありがとうございました。
 - ・多くの方にモルックというスポーツを知って頂ける機会を頂きありがとうございました。
 - ・事務局大変だったと思います。お疲れ様でした。次からも、もっと段取り頑張れたら嬉しいです。
 - ・駅周辺でイベントをする場がなかった。そんな空間になってほしい。
 - ・賑わいづくりのために絶対に必要な取り組みです。今後も継続、拡大してほしい。

- 改善
- ・仙台は東北の玄関なので、もう少し盛り上がりもよさそうだけど、思いのほか大変なのだと思います。緑があつて道路も広いので、休日は市民に解放できるスペースを作ったりすると良いと思います。今回の青葉通の社会実験のコンセプトというか目的があまりよく分からなかった。もう少し期間を長くして認知度を高めていくと良いかもしれません。とても良いイベントだと思います。
 - ・休日は芝生付近で出展、子供や親の影に隠れてしまい目立ちにくい。出展するのであれば歩道側がベター。集客力のあるコンテンツと一緒にいけばお客さんも自然と流れてきやすい。9/10、10/11にアーケードで出展したが、若い人は通り過ぎるだけ、数も少ない、駅以外若い人が立ち寄る場所が少ない。シンボルな施設建物＋集客力のあるコンテンツ＋天候に左右されない＋事前告知があると良い、出展しやすい。「いつでも出展している」と思われるとお客さんは来ない。日時指定の方が来てもらえやすい。
 - ・車の交通路について、良かったか？と思いますが実施してみないと判らないことが沢山あると思います。
 - ・もう少しこの場で何をしたいのかはっきりした方が良さそう。少ない期間しかやってないけど、通る人達は慣れてしまっていていつもと変わらなくなっていた。ボランティアなのか仙台を盛り上げたいのかターゲットが絞られていなすぎて分からないイベントになっていた。若い人を呼びたいのであれば流している曲を新しめにしてほしい。流れていたのは良い曲だけど古くて懐かしさしか感じられなくて廃れた商店街みたいだった。センスがない。
 - ・朝、搬入のため早く会場入りいたしました。入りの時間等連絡済みでしたが、どの方がスタッフなのか、どの方に聞けば良いのかが分かりにくく少し困りました。雨のため屋内での開催でしたので、ワークショップや販売の案内をもう少し分かりやすい形ですていただけたらもっと良かったのではと思います。赤いサコッシュが分かりにくかったです。つけていない関係者さんだったり困りました。
 - ・雨天時の会場は集客が難しい(分かりづらいのかも)。知人に助けってもらった感あり。通りと外の会場にはお客様が多かったので残念。次回の9/27(火)は雨天でも出来るだけ外でやりたい。雨天会場内で場所を移動して頂いて感謝です。ありがとうございました。
 - ・どのような目的で実施しているかを各コンテンツのステークホルダーにも説明して頂けるともっと一団になって取り組めたと感じます。
 - ・一般の通行者との壁がなくなってくれば、もっと創造的なアイデアが生まれそうな感じがしました。
 - ・社会実験について知らない方が多かったので、理解を求めるには積極的にアピールが必要かなと思いました。
 - ・交通渋滞が激しくなった感はありませんが、十人十色の考えがあるはずで私自体はあまり困ったことはありませんでした。ただし、人の行き来に伴うトラブルが生まれるのではないかと心配しております。今回の実験で音楽もストリートピアノのニーズの高さは実証されたように思います。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿:〈優位性〉ターゲット(オフィスワーカーや学生)の優位性を高める

検証①沿道のオフィスワーカーの働きたい意向や周辺に通う学生の居場所として活用したい意向を把握

市内会社員が利活用空間で
実施したいことを
(オフィスワーカーアンケートより抽出)

学生が利活用空間で実施したいこと
Web&聞き取り調査の学生意見

アウトドアオフィス
業務中の小休憩
イベント利用
足湯
カフェや飲食店の出展
緑地をいかした憩いの場
交通機関(バス・タクシー・乗用車)の集約化
日常的に休憩できる空間(飲食も含め)
スマホの充電スポット
自転車道の整備
休憩
くつろぎの場
Wi-Fiスポット
様々なキッチンカー

	(件)		(件)
イベント	7	ジャグリング	1
ボッチャ体験会	2	トークショー	1
縁日	2	写真撮影	1
宮城の食のイベント	1	イルミネーション	2
販売イベント	1	ダンスパフォーマンス	1
演奏イベント	2	パフォーマンス	2
フェス	3	演劇	1
ジャズフェス	2	映画の上映	1
ビールフェスト	1	焚火	1
オクトーバーフェス	1	アート制作ワークショップ	1
マルシェ	2	朝市	1
音楽ライブ	1	家具を作るワークショップ	1
路上ライブ	1	設置する椅子を市民で作る	1
ギター等のライブ	1	バザー	1
ストリートピアノ	7	色々な人との交流(老若男女)	12
パレード	1	くつろげる・休憩	13
パブリックアート展示	1	飲食	15
公園オフィス	2	寝転がれる	3

- ・オフィスワーカー・学生ともにくつろげる・休憩が可能な空間が求められている。
- ・学生ではイベントやストリートピアノ等のパフォーマンスができる場、交流の場が求められている。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

R4年度社会実験(コンセプト・コンテンツ・利活用空間)で得られた主な知見

利活用コンセプト 青葉通駅前エリアのひととなりを見出し、新しい流れを生む

様々なひとが出会い、交流するきっかけをつくることで、このエリアが仙台の顔として活気あふれるまちになり、仙台、東北の新しい流れを生み出す。

③ 視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア

- ・沿道の一部店舗(飲食店)では、テイクアウトの増加、休日の家族連れ、若い世代(10代~30代)の来客が増加したことによる売上げの増加、利用者の増加が見られた。

→店舗前での利活用、店舗側による時間帯に合わせた提供(昼間はランチ、飲み物の提供、夕方以降はアルコールを含めた飲食の提供等)など、利活用空間と沿道店舗の連携により、店舗側にとってプラスの効果(売上、利用者増加)を期待できる可能性が分かった。



エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

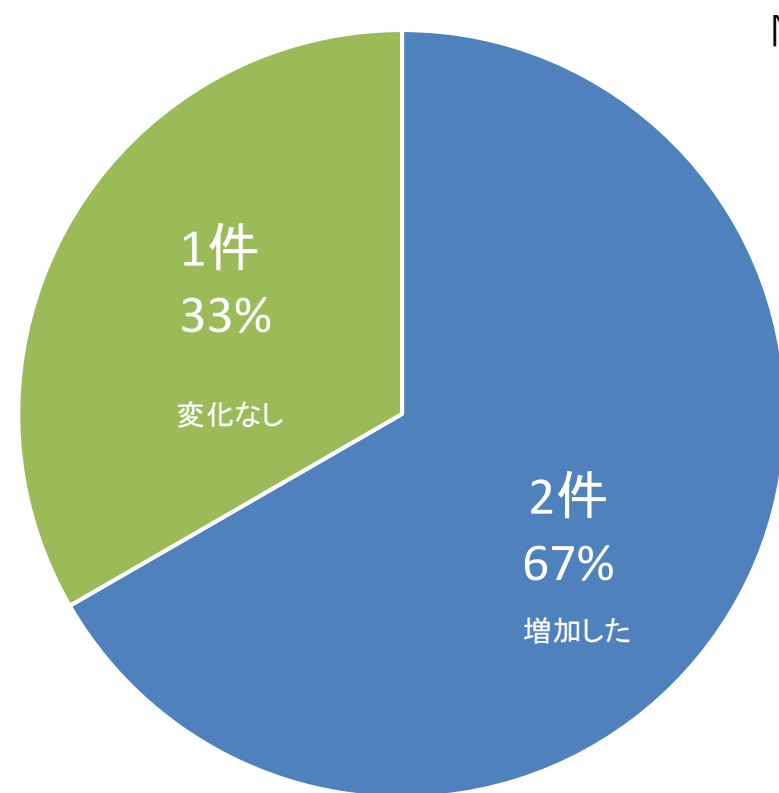
目指す姿：〈隣接建物との関係性〉沿道建物との連携を図る

検証①空間利活用による沿道店舗事業者への効果を把握

■客層の変化

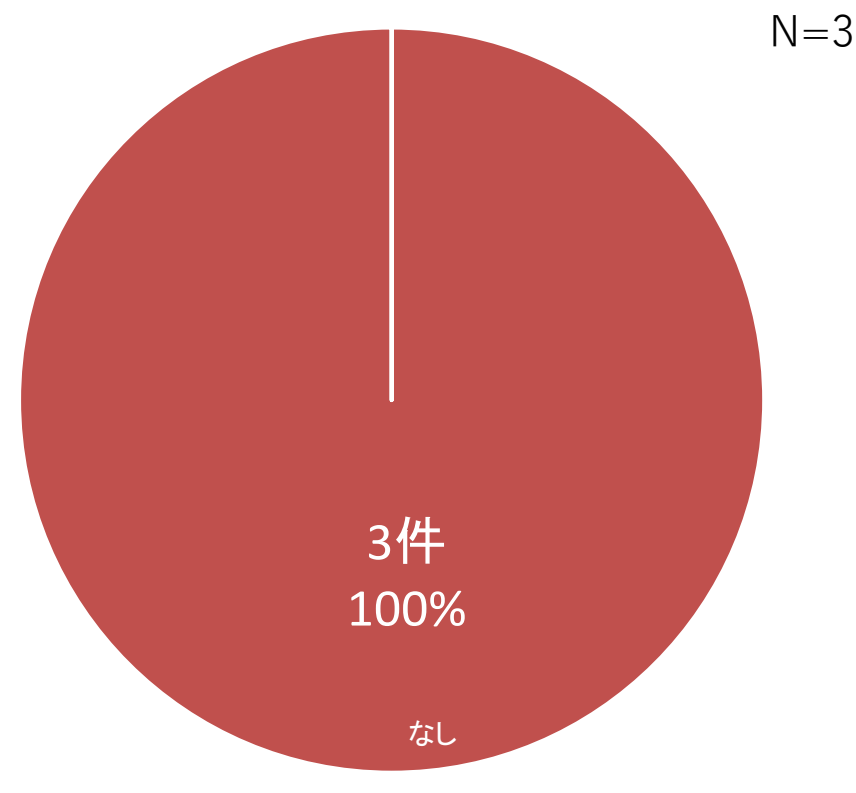
■混雑による来店敬遠

■売上変化



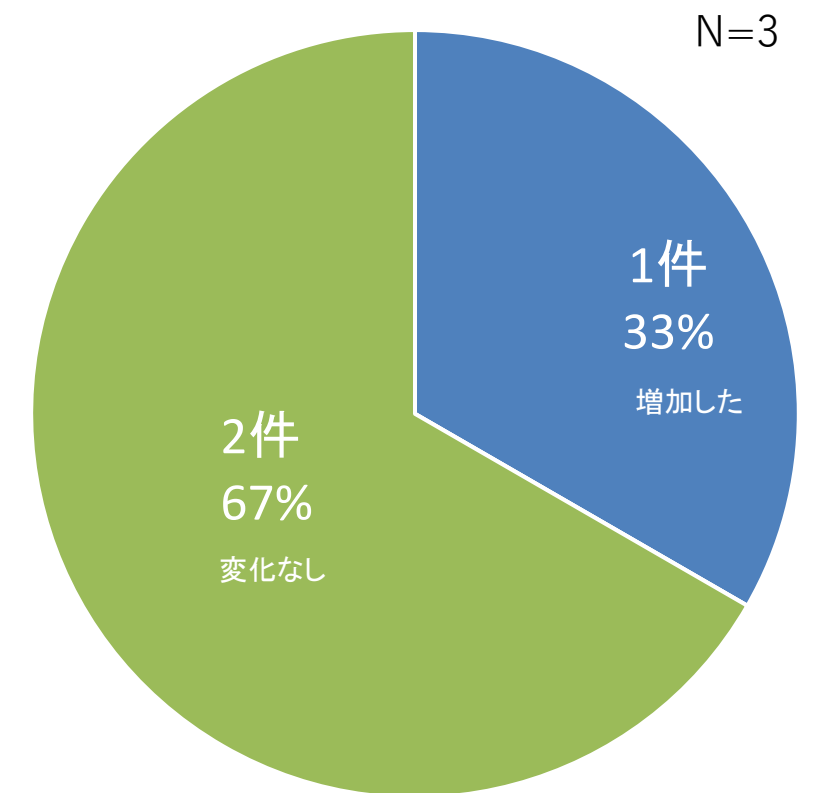
■ 増加した ■ 減少した ■ 変化なし

- ・8月比較で10%程度
- ・開始前と比較し30%



■ ある ■ なし

- ・この場所で交通混雑により来店者が減ることはないと思う。店前に来る人が増えることが重要。社会実験期間中の常連者は「なんかやってるね～」程度の考えであった。



■ 増加した ■ 減少した ■ 変化なし

- (売上増加の要因)
- ・テイクアウトの増加
 - (利活用スペース、歩道から見えるようにテイクアウトの案内を設置。店舗は歩道を挟んで利活用スペースの前にあり、バス停の上屋等隔てるものがなかった)
 - ・ランチタイムも営業しており、休日の家族連れ、若い世代の来客が増加

- ・利用客が増加した店舗や売上げが増加した店舗も見られた。
- ・青葉通仙台駅前エリアのコン冊による来店客の敬遠は見られなかった。

エリアづくりに関する「3つの視点」に対する効果検証結果

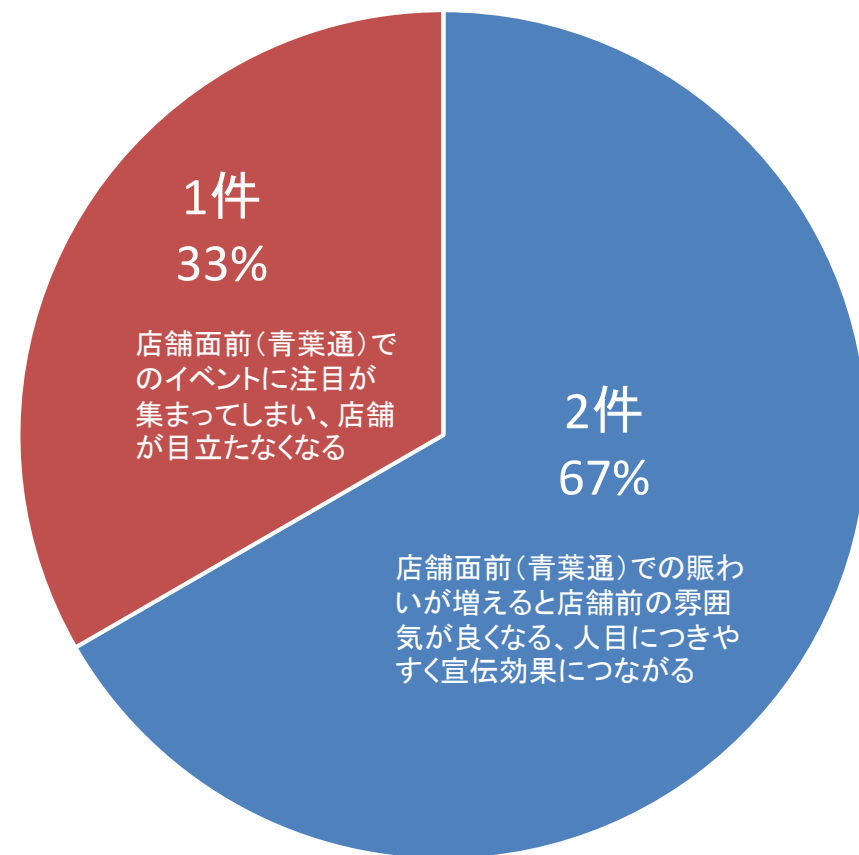
視点3 エリア価値向上のために挑戦するエリア ▶ 「能動的」な活動・認識を収集

目指す姿：〈隣接建物との関係性〉沿道建物との連携を図る

検証①空間利活用による沿道店舗事業者への効果を把握

■売上、客層の変化以外の
メリット、デメリット

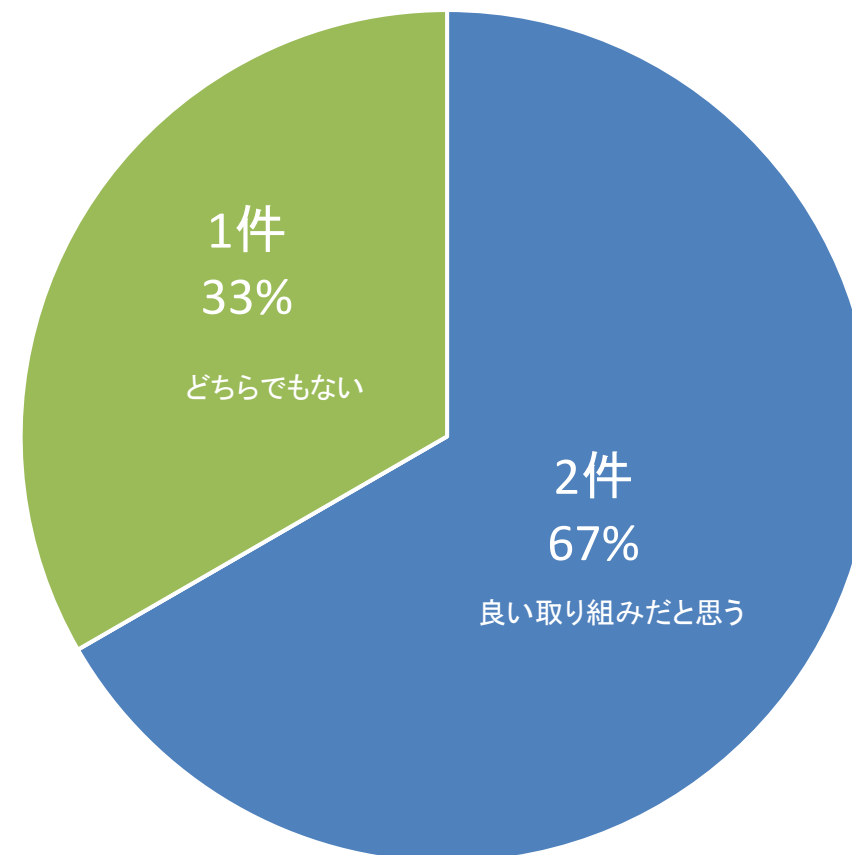
N=3



- 店舗前面(青葉通)での賑わいが増えると店舗前の雰囲気が良くなる、人目につきやすく宣伝効果につながる
- 店舗前面(青葉通)でのイベントに注目が集まってしまい、店舗が目立たなくなる
- その他

■取組みについて

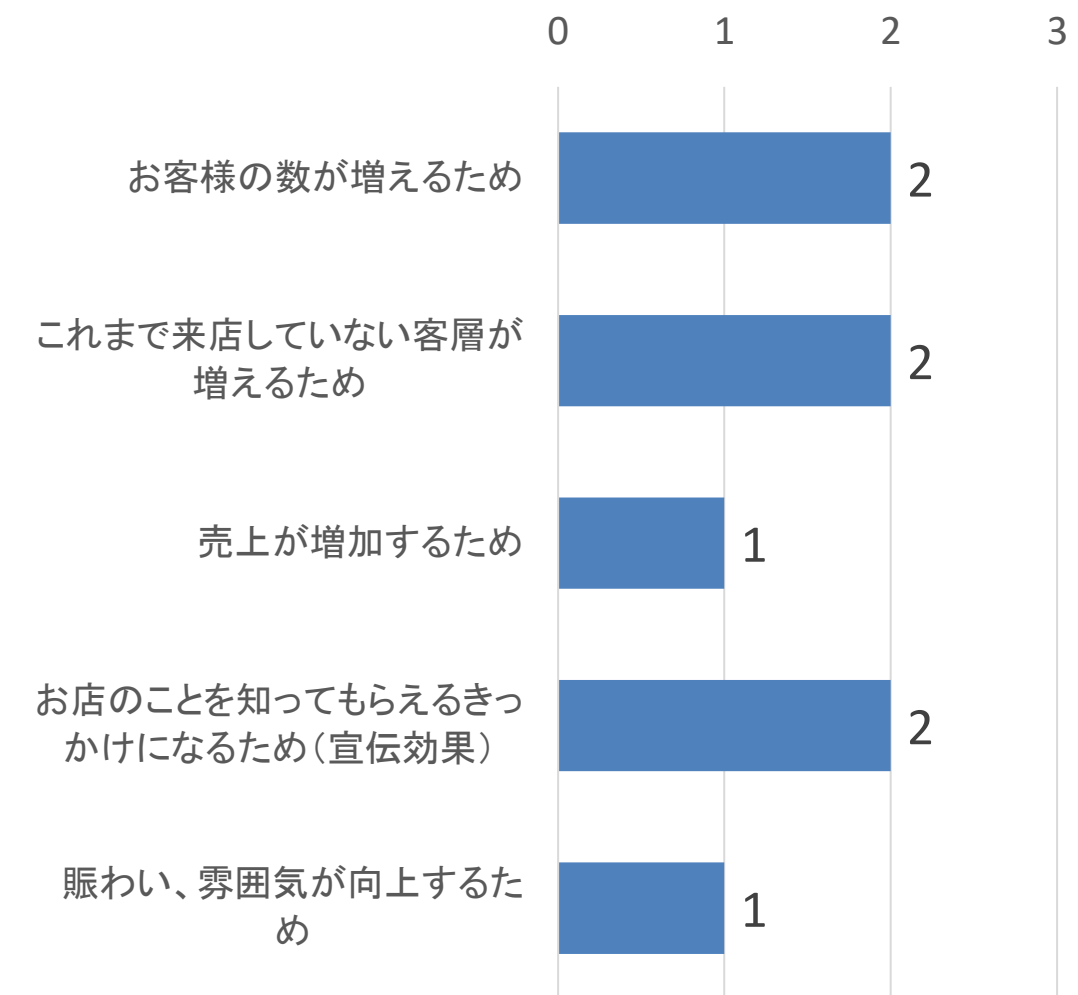
N=3



- 良い取組みだと思う
- 良い取組みだと思わない
- どちらでもない

■良い取組みだと思う理由

N=3



- ・社会実験に関して、店前の雰囲気が良くなり、宣伝効果を感じた店舗もあれば、店舗が、目立たなくなることを危惧する店舗もみられた。
- ・客層の増加や宣伝効果の観点より、取組み評価は2/3店舗が良い取組みと感じている。

社会実験の取組み評価とビジョン策定に向けた今後の検討課題

社会実験の取組み評価とビジョン策定に向けた今後の検討課題

①効果検証結果を踏まえた取組み評価

- ①「交通混雑や実験目的が分かりにくい」という意見もあったが、このエリアの取組みに対する強い関心を引き起こすことができた。
- ②「青葉通のケヤキ並木」の下、仙台の個性、強みである若い世代を中心とした多様な主体の関与による統一したブランディングに基づくデザイン、空間、交流体験に関するコンテンツやストリートピアノ等の音の演出により、多様な活動、交流、滞在等、新しい魅力を生み出すポテンシャルがあることを確認できた。
- ③新しい魅力の創出としてさらなる活動、交流、滞在を生み出すには、時間帯、平休日に変化する来訪者属性を踏まえた利活用、居心地の良い空間等の創出が求められる。
- ④特に若い世代(10代～30代)、市外来訪者を中心に高い評価を得ることができ、「楽しい」、「嬉しい」、「驚き」といった感情により、第一印象として好印象を来訪者に与えたことは、「仙台の顔」となるこのエリアの「表情」を作り出した。
- ⑤幼児や小学生など、普段来訪しない世代が来訪、高齢者は毎時間で確認できた。
- ⑥春、秋など気候の良い時期のみならず、仙台の気候を踏まえ、年間を通して活動、交流、滞在が生み出していく必要がある。
- ⑦このエリアの取組みは回遊性の起点となるポテンシャルはあるが、回遊性創出については、周辺エリアとの連携が必要である。
- ⑧利活用、管理運営を実施するためには、今回のようにプレイヤーだけでなく、プレイヤーをまとめる、プレイヤー間をつなげる等のコーディネートする立場、ブランディングを含めた企画、デザイン、広報等の役割を担う人材、体制を整えることが必要である。

社会実験の取組み評価とビジョン策定に向けた今後の検討課題

②ビジョン策定にあたって必要な検討課題

